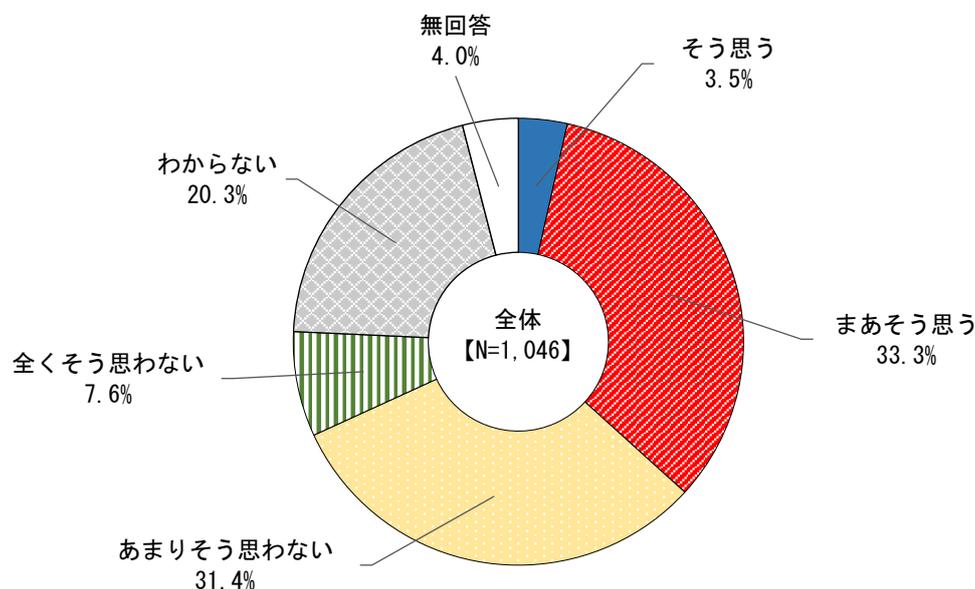


## 子どもを生き育てやすい環境

【問23】あなたは、札幌市が、子どもを生き育てやすい環境にあると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子どもを生き育てやすい環境にあるかについて、「そう思う」(3.5%)と「まあそう思う」(33.3%)を合わせた割合は36.8%となっている。



### 【対象者全体】

「まあそう思う」が33.3%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が31.4%、「わからない」が20.3%、「全くそう思わない」が7.6%、「そう思う」が3.5%となっている。

### 【性別】 ※その他は少数のため参考値とする。

男性では「あまりそう思わない」が33.8%と最も高く、女性では「まあそう思う」が34.0%と最も高くなっている。

### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は、60歳代前半が41.7%と最も高い。一方で、20歳代では、31.3%と最も低い。

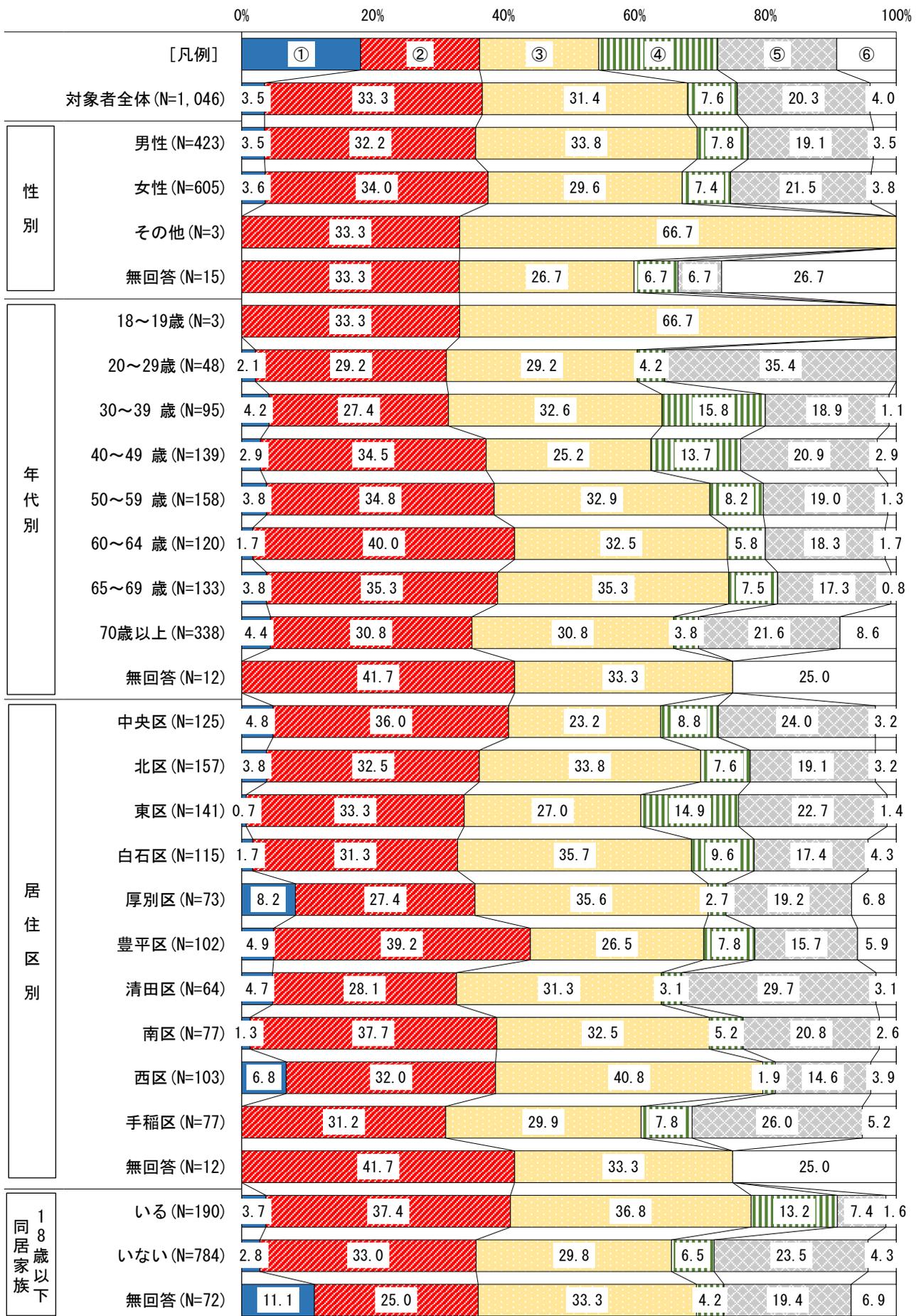
### 【居住区別】

「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は豊平区で44.1%と最も高い。一方で、手稲区では31.2%と最も低い。

### 【18歳以下同居家族】

「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた割合は、18歳以下の同居家族がいる方(50.0%)では、いない方(36.3%)に比べて13.7ポイント高くなっている。

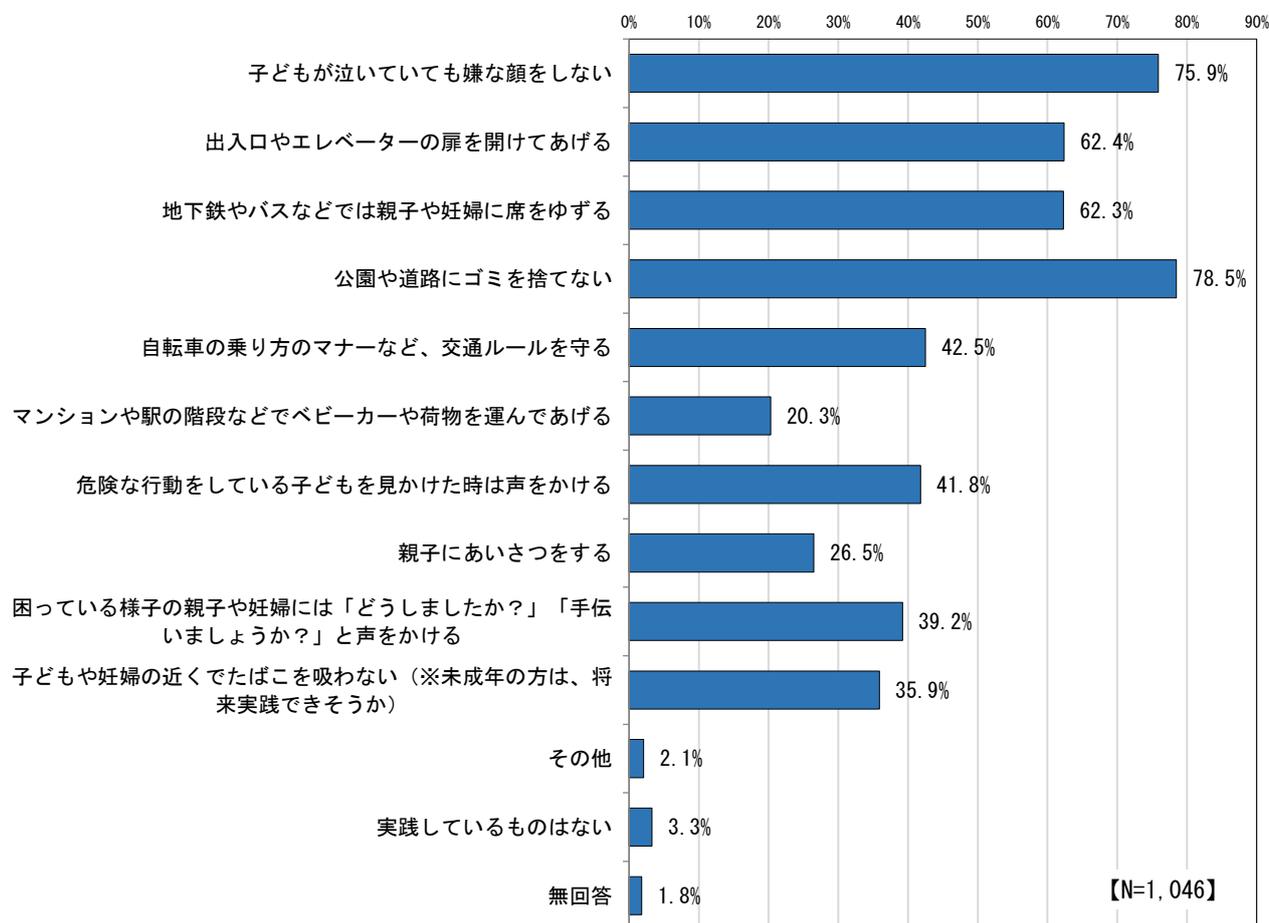
■①そう思う ■②まあそう思う ■③あまりそう思わない ■④全くそう思わない ■⑤わからない □⑥無回答



## 子ども連れを見かけたときに実践していること

【問24】以下のうち、まちなかで子ども連れを見かけたときに、あなたが実践しているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

子ども連れを見かけたときに実践しているものについては、「公園や道路にゴミを捨てない」（78.5%）が最も高く、次いで「子どもが泣いていても嫌な顔をしない」が75.9%である。



### 【対象者全体】

「公園や道路にゴミを捨てない」が78.5%と最も高く、次いで「子どもが泣いていても嫌な顔をしない」が75.9%、「エレベーターの扉を開けてあげる」が62.4%、「地下鉄やバスなどでは親子や妊婦に席をゆずる」が62.3%となっている。

### 【性別】 ※その他は少数のため参考値とする。

全体的に女性の方が実践率の高い傾向にある。

### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

「エレベーターの扉を開けてあげる」は、30～40歳代では70%以上と高くなっている。一方「危険な行動をしている子どもを見かけた時は声をかける」は70歳以上では55.3%と高くなっている。20歳代では全体的に実践率が低い傾向となっている。

### 【居住区別】

「自転車の乗り方のマナーなど、交通ルールを守る」では清田区が56.3%と最も高く、南区で27.3%と最も低くなっている。

【18歳以下同居家族】

18歳以下の同居家族がいる方では、「出入口やエレベーターの扉を開けてあげる」(81.1%)、「地下鉄やバスなどでは親子や妊婦に席をゆずる」(74.7%)が特に高くなっている。

	回答者数 (%)	子どもが泣いていても嫌な顔をしない	出入口やエレベーターの扉を開けてあげる	地下鉄やバスなどでは親子や妊婦に席をゆずる	公園や道路にゴミを捨てない	自転車の乗り方のマナーなど、交通规则を守る	マンションや駅の階段などでベビーカーや荷物を運んであげる	危険な行動をしている子どもを見かけた時は声をかける	親子にあいさつをする	困っている様子の親子や妊婦には「どうしましたか？」と声をかける	子どもや妊婦の近くでたばこを吸わない※未成年の方は、将来実践できそうか)	その他	実践しているものはない	無回答	
全体	1,046	75.9	62.4	62.3	78.5	42.5	20.3	41.8	26.5	39.2	35.9	2.1	3.3	1.8	
性別	男性	423	71.9	56.7	61.0	76.4	40.2	20.8	41.6	24.3	36.4	40.9	1.9	5.0	1.7
	女性	605	78.8	66.3	63.3	80.3	44.1	20.0	42.0	28.1	41.5	32.2	2.1	2.1	1.5
	その他	3	66.7	100.0	100.0	100.0	66.7	-	33.3	-	33.3	66.7	-	-	-
	無回答	15	73.3	60.0	53.3	60.0	40.0	20.0	40.0	26.7	26.7	40.0	6.7	-	20.0
年代別	18～19歳	3	100.0	100.0	-	66.7	33.3	-	33.3	-	-	66.7	-	-	-
	20～29歳	48	85.4	68.8	54.2	66.7	47.9	12.5	14.6	10.4	22.9	39.6	2.1	-	-
	30～39歳	95	73.7	72.6	65.3	72.6	52.6	20.0	18.9	17.9	32.6	41.1	1.1	7.4	1.1
	40～49歳	139	78.4	77.0	69.8	74.8	45.3	18.7	35.3	22.3	33.1	40.3	-	3.6	0.7
	50～59歳	158	76.6	65.2	63.3	77.8	44.3	24.7	40.5	26.6	38.6	39.2	3.2	4.4	0.6
	60～64歳	120	78.3	60.0	65.8	81.7	45.0	21.7	40.8	25.8	44.2	34.2	3.3	2.5	1.7
	65～69歳	133	80.5	52.6	58.6	82.0	39.8	15.8	43.6	25.6	42.1	30.1	1.5	2.3	1.5
	70歳以上	338	71.3	55.9	60.4	81.7	36.7	21.9	55.3	33.4	43.8	32.8	2.1	2.7	3.0
	無回答	12	66.7	58.3	50.0	66.7	58.3	8.3	33.3	33.3	33.3	50.0	16.7	-	16.7
居住区別	中央区	125	75.2	66.4	63.2	77.6	44.8	17.6	40.0	23.2	41.6	31.2	0.8	4.8	1.6
	北区	157	76.4	65.6	59.9	82.2	41.4	15.3	43.9	25.5	39.5	38.2	2.5	-	1.3
	東区	141	75.2	63.1	65.2	82.3	44.7	22.7	39.7	25.5	36.9	35.5	2.8	3.5	2.1
	白石区	115	75.7	62.6	58.3	75.7	48.7	21.7	34.8	25.2	38.3	37.4	4.3	1.7	1.7
	厚別区	73	82.2	54.8	63.0	76.7	37.0	23.3	47.9	20.5	41.1	37.0	-	2.7	4.1
	豊平区	102	72.5	59.8	58.8	76.5	40.2	23.5	42.2	30.4	41.2	33.3	2.0	2.9	2.9
	清田区	64	71.9	64.1	59.4	81.3	56.3	17.2	43.8	25.0	43.8	34.4	-	3.1	1.6
	南区	77	71.4	54.5	59.7	74.0	27.3	16.9	42.9	28.6	31.2	35.1	2.6	9.1	1.3
	西区	103	77.7	66.0	64.1	75.7	39.8	22.3	36.9	31.1	36.9	36.9	1.0	3.9	-
	手稲区	77	83.1	61.0	75.3	81.8	41.6	26.0	53.2	29.9	44.2	39.0	1.3	3.9	-
	無回答	12	66.7	58.3	50.0	66.7	58.3	8.3	33.3	33.3	33.3	50.0	16.7	-	16.7
18歳以下	いる	190	85.8	81.1	74.7	83.2	50.0	24.7	38.9	30.0	41.1	42.6	1.6	-	1.1
	いない	784	73.9	58.4	59.3	77.3	40.4	19.6	42.3	25.1	38.9	34.7	2.2	4.3	1.5
	無回答	72	72.2	56.9	62.5	79.2	45.8	15.3	43.1	31.9	37.5	31.9	2.8	-	6.9

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い  
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

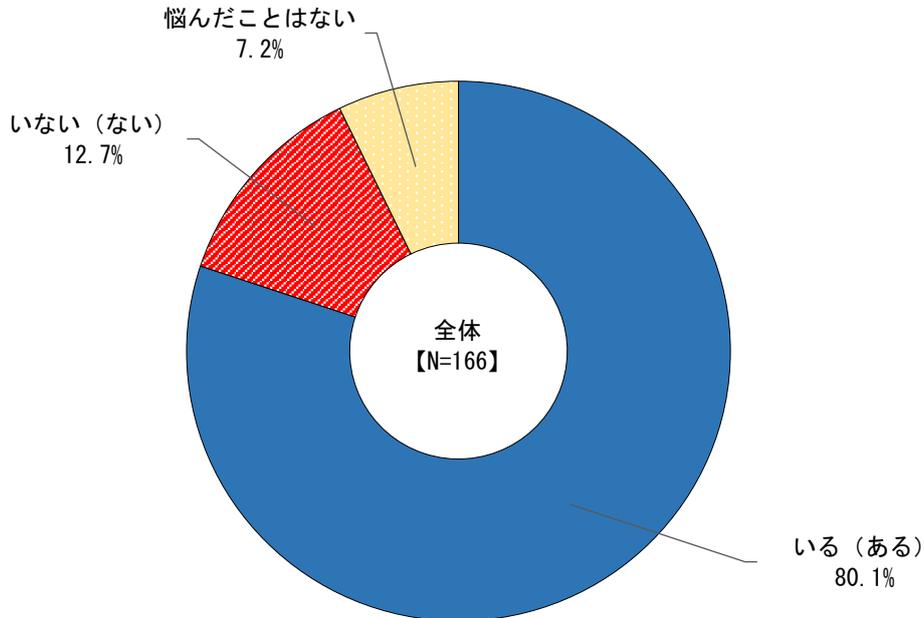
## 相談相手や情報収集手段の有無

<この設問は18歳以下のお子さんがある方のみお聞きします。>

【問25】各項目についてお答えください。

- (1) 妊娠・出産や子育てについて悩んだとき、あなたには、家族や友人・知人、各種子育て相談窓口などの相談相手や情報収集手段がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

相談相手や情報収集手段の有無について、「いる（ある）」が61.3%となっている。



### 【対象者全体】

「いる（ある）」が80.1%と最も高く、次いで「いない（ない）」が12.7%、「悩んだことはない」が7.2%となっている。

### 【性別】 ※その他は少数のため参考値とする。

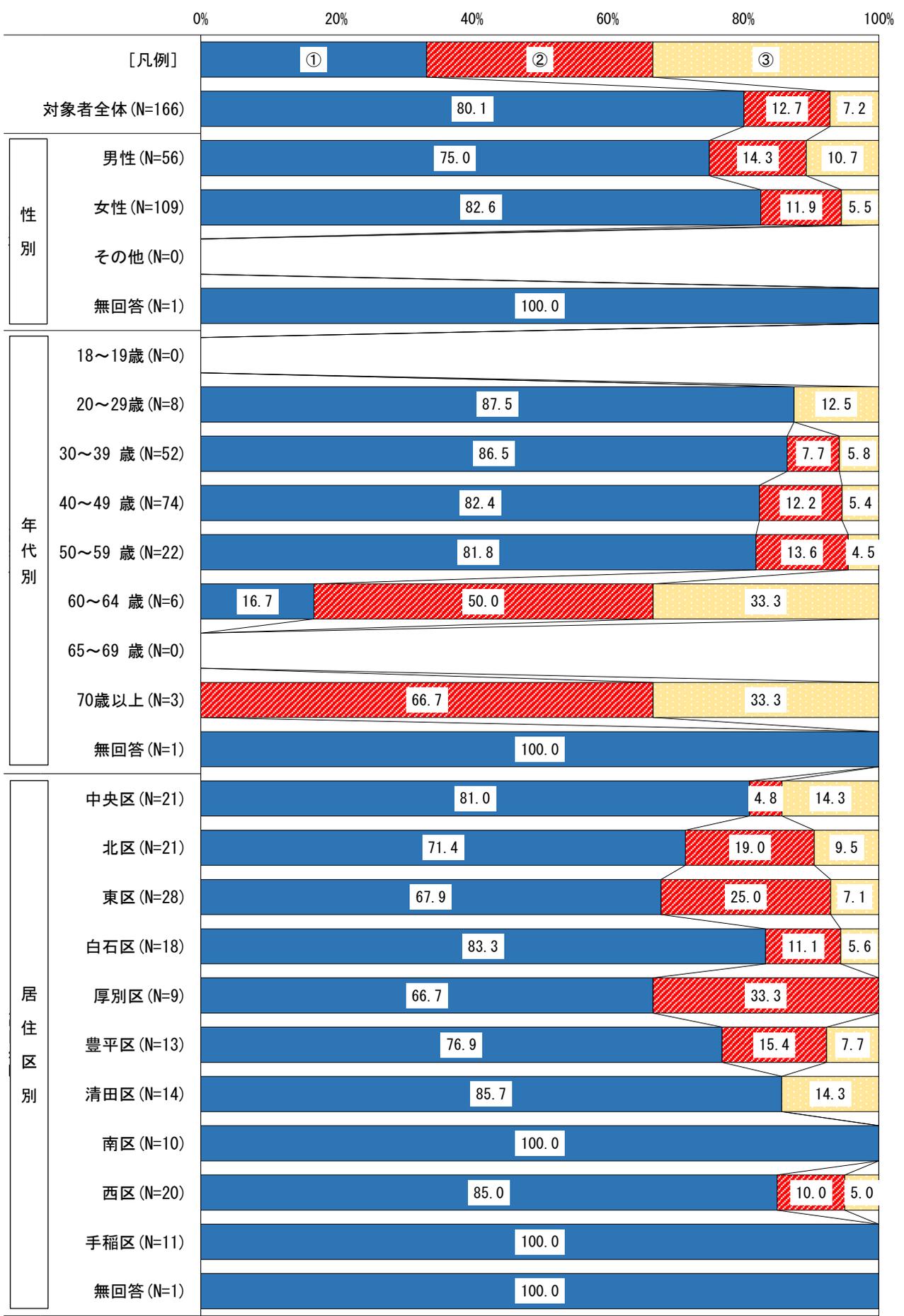
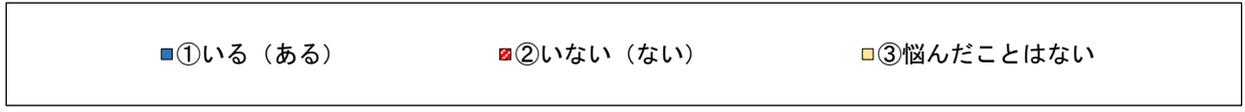
男女ともに「いる（ある）」が最も高く、男性が75.0%、女性が82.6%と、女性の方が7.6ポイント高くなっている。

### 【年代別】 ※10歳代、20歳代、60歳代、70歳以上は少数のため参考値とする。

30歳代から50歳代のいずれも「いる（ある）」が最も高いが、年代が上がるにつれて値が減少する傾向にあり、30歳代では86.5%だが、50歳代では81.8%となっている。

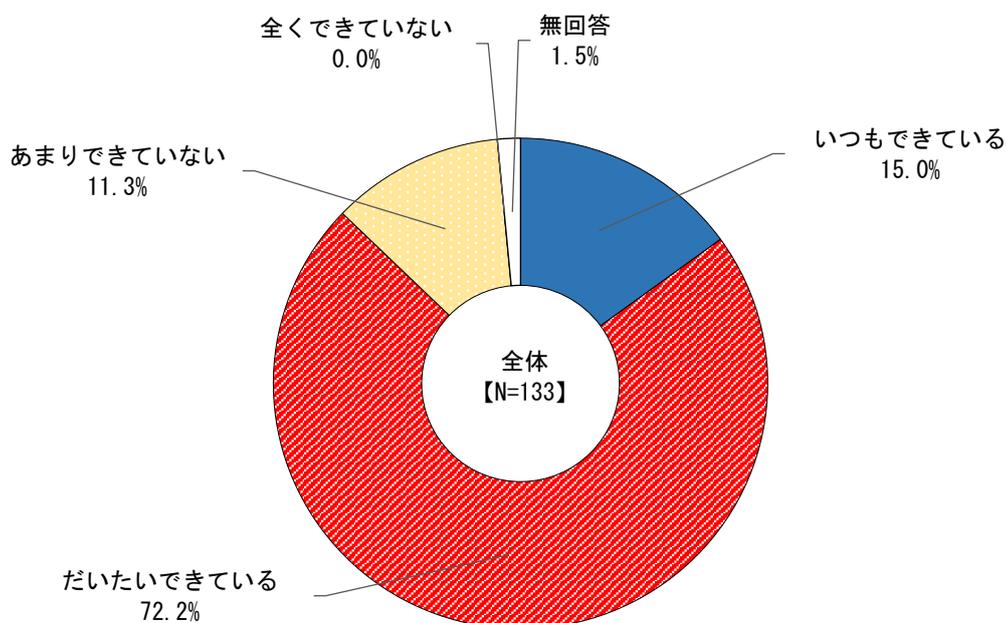
### 【居住区別】 ※いずれの区も少数のため参考値とする。

南区・手稲区では「いる（ある）」が100.0%となっている。一方で、厚別区では66.7%と最も低くなっている。



(2) (1)で「1.いる(ある)」と答えた方にお聞きします。あなたは、妊娠・出産や子育てについて悩んだとき、相談や情報収集したことにより不安や負担を軽減することができていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子育てに関する不安や負担の軽減については、「いつもできている」(17.2%)と「だいたいできている」(72.6%)を合わせた割合は89.8%となっている。



【対象者全体】

「だいたいできている」が72.2%と最も高く、次いで「いつもできている」が15.0%、「あまりできていない」が11.3%、「全くできていない」が回答者なしとなっている。

【性別】※その他は少数のため参考値とする。

男女ともに「だいたいできている」が最も高く、男性が75.2%、女性が71.5%となっている。

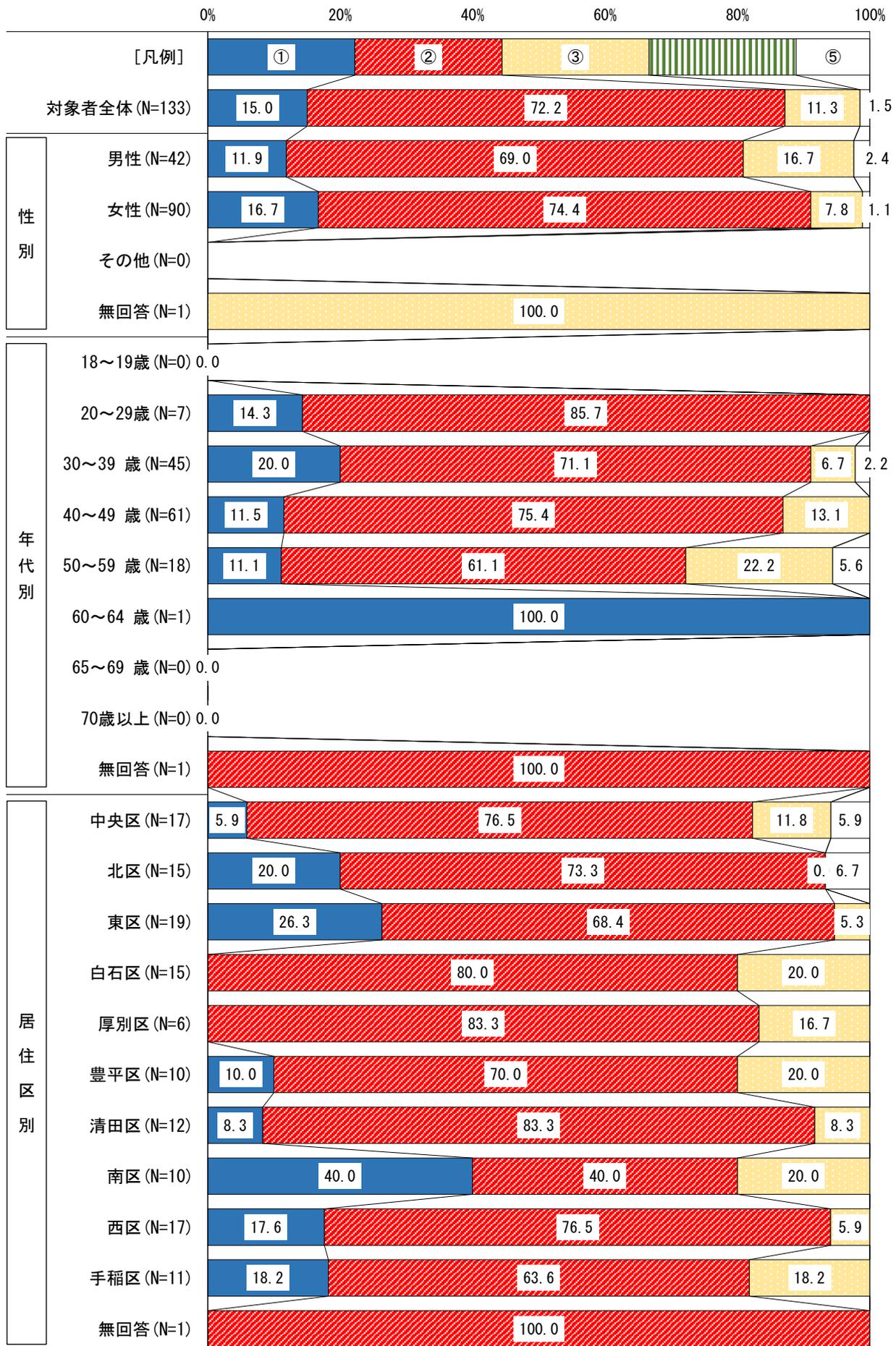
【年代別】※10歳代、20歳代、60歳代、70歳以上は少数のため参考値とする。

「いつもできている」は30歳代で23.4%と最も高くなっている。

【居住区別】※厚別区、清田区、南区、手稲区は少数のため参考値とする。

「いつもできている」は白石区で30.0%と最も高くなっている。一方で、東区では3.0%と最も低くなっている。

■①いつもできている ■②だいたいできている ■③あまりできていない ■④全くできていない ■⑤無回答



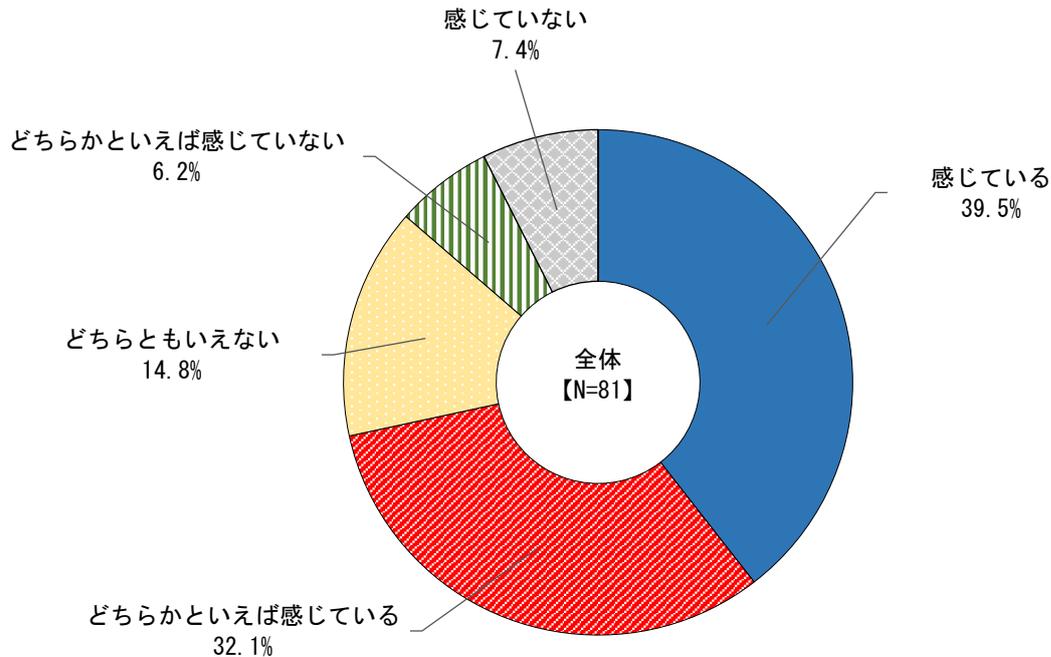
## ひとり親家庭の生活に対する不安

<この設問は20歳未満のお子さんがあるひとり親家庭の方にのみお聞きします。>

【問26】各項目についてお答えください。

(1) あなたは、今後の生活に対して不安を感じていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

ひとり親家庭の生活に対する不安については、「感じている」(39.5%)と「どちらかといえば感じている」(32.1%)を合わせた割合は71.6%となっている。



### 【対象者全体】

「感じている」が39.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば感じている」が32.1%、「どちらともいえない」が14.8%、「感じていない」が7.4%、「どちらかといえば感じていない」が6.2%となっている。

### 【性別】 ※その他は少数のため参考値とする。

「感じている」は、男性では37.9%だが、女性では42.0%となっている。

### 【年代別】

※40歳代を除く年代は少数のため参考値とする。

### 【居住区別】

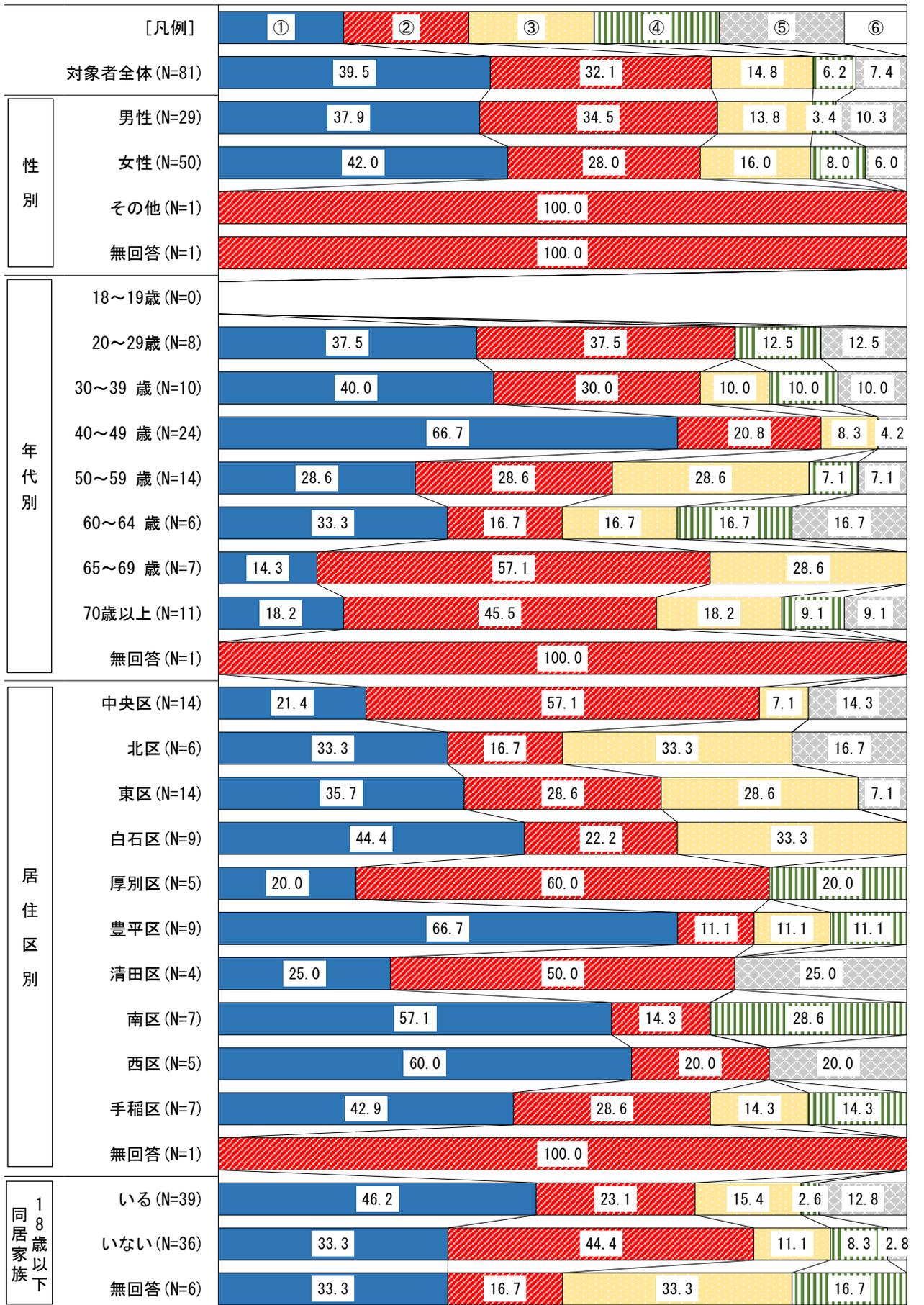
※いずれの区も少数のため参考値とする。

### 【18歳以下同居家族】

18歳以下の同居家族がいる方は「感じている」が46.2%と、いない方(33.3%)に比べて12.9ポイント高くなっている。一方、「感じている」と「どちらかといえば感じている」を合わせた割合になると、いる方(69.3%)に比べて、いない方(77.7%)が高くなっている。

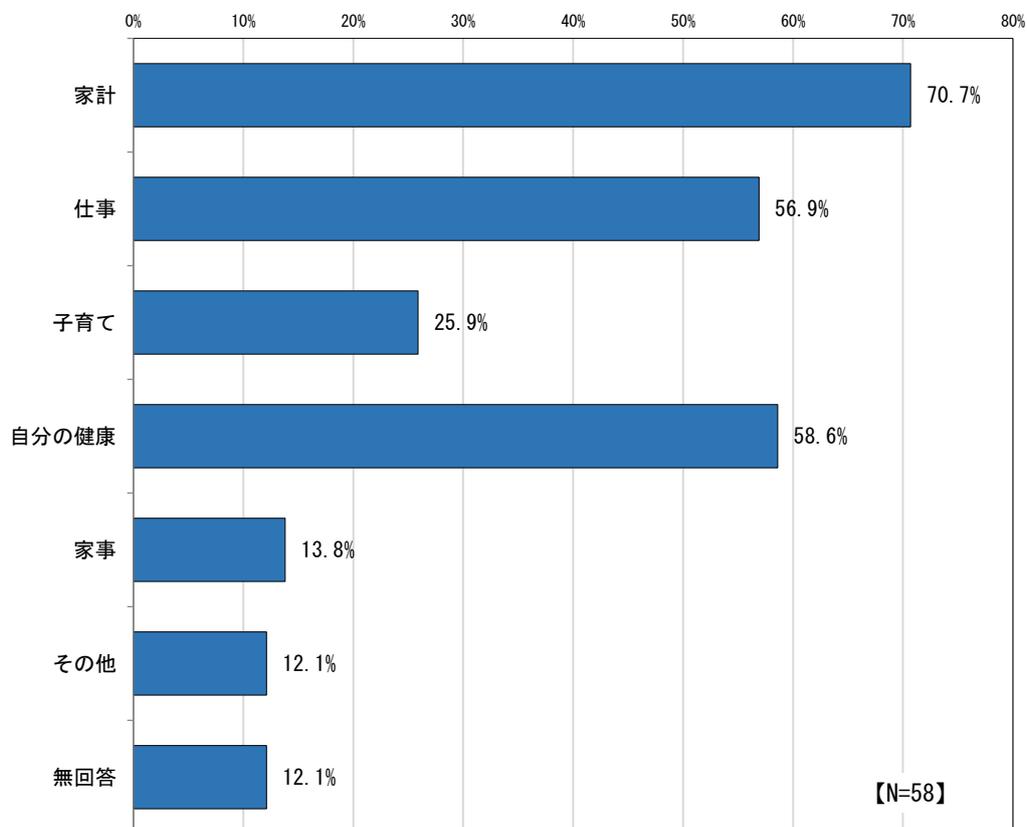
■①感じている      ■②どちらかといえば感じている      □③どちらともいえない  
 ■④どちらかといえば感じていない      □⑤感じていない      □⑥無回答

0%      20%      40%      60%      80%      100%



(2) (1) で「1. 感じている」または「2. どちらかといえば感じている」を回答した方のみにお聞きします。  
あなたは、具体的にどのようなことに不安を感じていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

ひとり親家庭の生活について具体的に不安を感じている事柄については、「家計」が70.7%と最も高く、次いで「自分の健康」が58.6%、「仕事」が56.9%となっている。



【対象者全体】

「家計」が70.7%と最も高く、次いで「自分の健康」が58.6%、「仕事」が56.9%となっている。

【性別】 ※男性、その他は少数のため参考値とする。

男女とも「家計」が最も高く6割を超えている。また、男性よりも女性の方が「子育て」「家事」が5ポイント以上高くなっている。

【年代別】

※いずれの年代も少数のため参考値とする。

【居住区別】

※いずれの区も少数のため参考値とする。

【18歳以下同居家族】

18歳以下の同居家族がいる方は「家計」が88.9%と最も高く、いない方は「仕事」「自分の健康」が各64.3%と最も高くなっている。

		回答者数	家計	仕事	子育て	自分の健康	家事	その他	無回答
		(%)							
全体		58	70.7	56.9	25.9	58.6	13.8	12.1	12.1
性別	男性	21	61.9	57.1	23.8	66.7	14.3	14.3	14.3
	女性	35	77.1	57.1	28.6	51.4	14.3	11.4	11.4
	その他	1	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-
	無回答	1	-	-	-	100.0	-	-	-
年代別	18～19歳	0	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	6	83.3	66.7	50.0	50.0	50.0	-	-
	30～39歳	7	71.4	85.7	14.3	71.4	14.3	-	-
	40～49歳	21	85.7	71.4	42.9	38.1	19.0	4.8	4.8
	50～59歳	8	62.5	37.5	12.5	75.0	-	37.5	12.5
	60～64歳	3	66.7	66.7	-	66.7	-	-	-
	65～69歳	5	40.0	40.0	20.0	80.0	-	20.0	-
	70歳以上	7	57.1	14.3	-	71.4	-	28.6	71.4
	無回答	1	-	-	-	100.0	-	-	-
居住区別	中央区	11	81.8	63.6	-	81.8	9.1	-	9.1
	北区	3	100.0	100.0	33.3	133.3	-	66.7	66.7
	東区	9	66.7	44.4	33.3	44.4	22.2	11.1	-
	白石区	6	100.0	66.7	50.0	33.3	33.3	16.7	-
	厚別区	4	50.0	25.0	75.0	75.0	25.0	25.0	-
	豊平区	7	57.1	57.1	14.3	57.1	-	14.3	14.3
	清田区	3	100.0	66.7	33.3	33.3	-	-	-
	南区	5	80.0	40.0	20.0	40.0	20.0	-	40.0
	西区	4	50.0	75.0	25.0	50.0	-	-	-
	手稲区	5	40.0	60.0	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0
	無回答	1	-	-	-	100.0	-	-	-
18歳以下	いる	27	88.9	51.9	33.3	51.9	7.4	11.1	3.7
	いない	28	53.6	64.3	21.4	64.3	21.4	14.3	17.9
	無回答	3	66.7	33.3	-	66.7	-	-	33.3

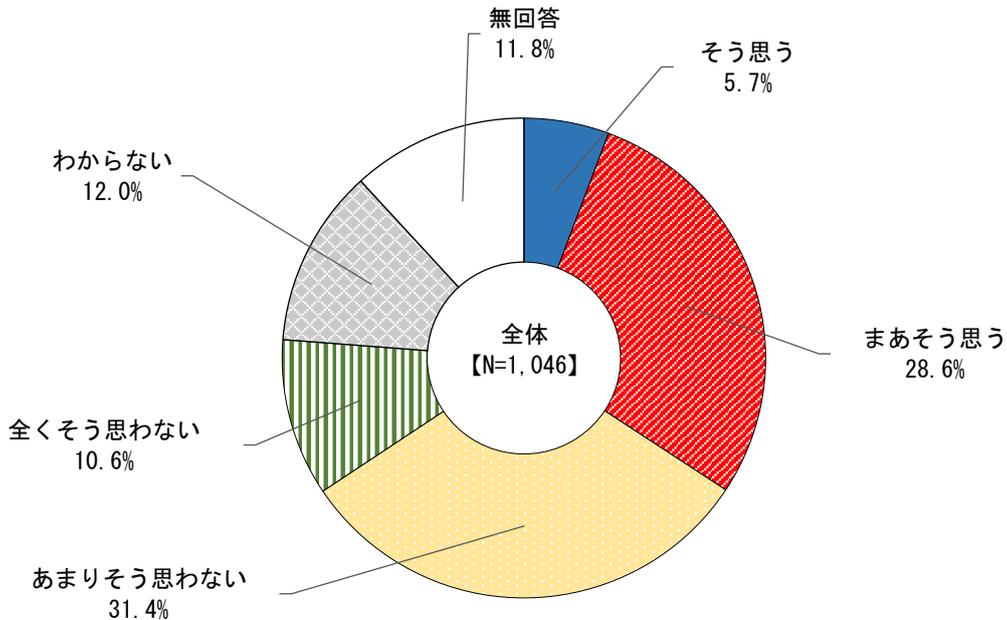
対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い  
 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

## 仕事と生活の調和

【問 27】仕事と生活の調和についてお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) あなたは、「仕事」と「育児、家事、介護、趣味などの生活」の調和がとれていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

「仕事」と「私生活」の調和については、「そう思う」(5.7%)と「まあそう思う」(28.6%)を合わせた割合が34.3%となっている。



### 【対象者全体】

「あまりそう思わない」が31.4%と最も高い。次いで「まあそう思う」が28.6%、「全くそう思わない」が10.6%、「わからない」が12.0%、「そう思う」が5.7%となっている。

### 【性別】 ※その他は少数のため参考値とする。

男性では「まあそう思う」が31.4%と最も高く、女性では「あまりそう思わない」が32.9%と最も高くなっている。

### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合は、30歳代で39.6%と最も高く、70歳以上で29.3%と最も低くなっている。

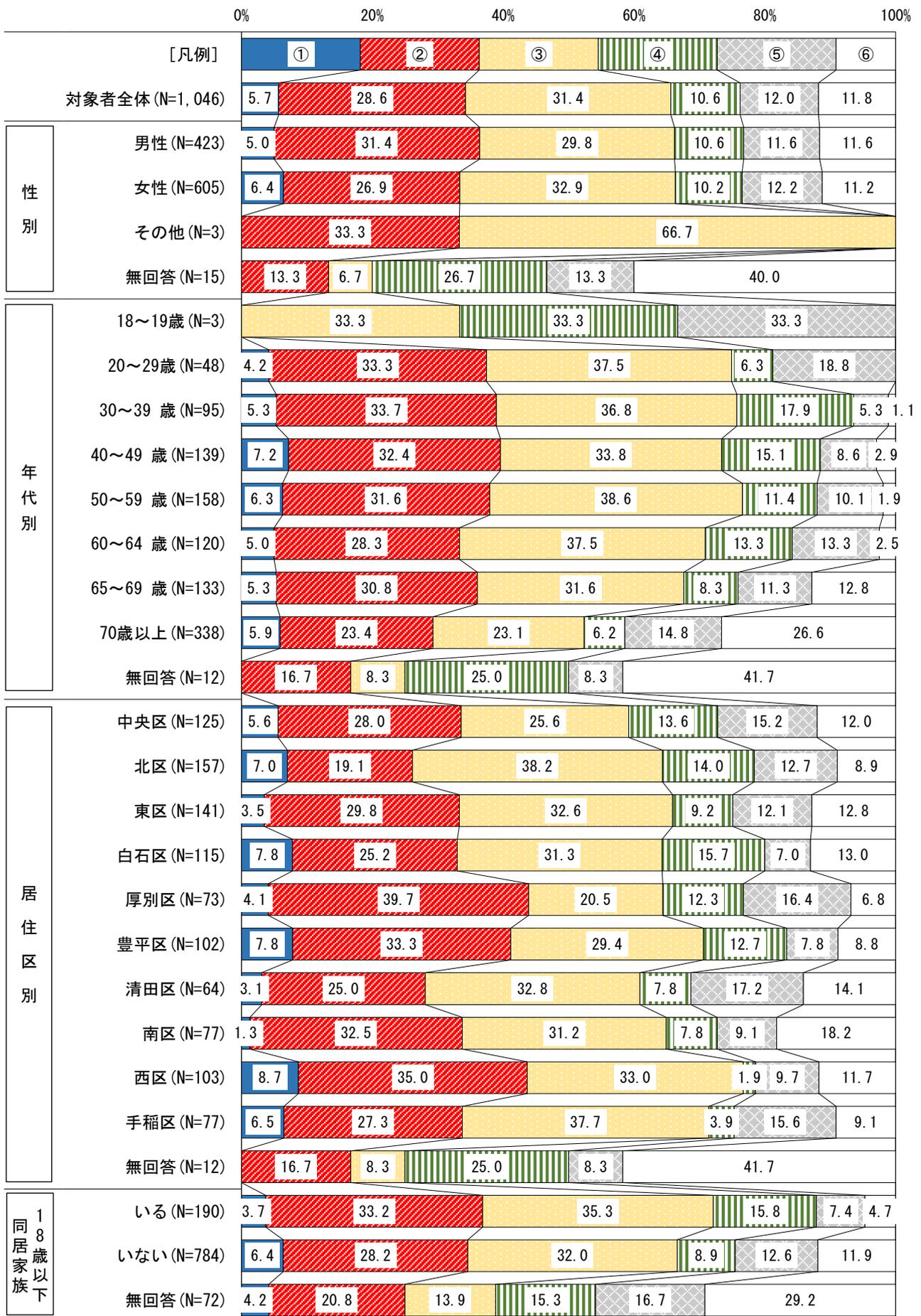
### 【居住区別】

「そう思う」「まあそう思う」の合計は厚別区で43.8%と最も高く、北区で26.1%と最も低くなっている。

### 【18歳以下同居家族】

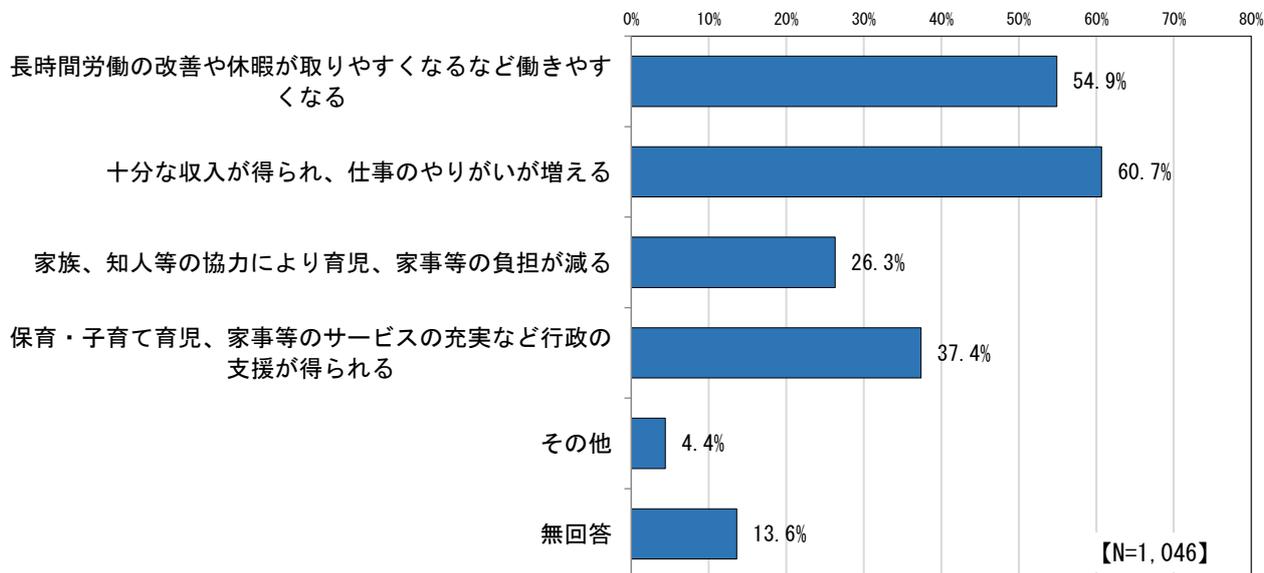
「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた割合は、18歳以下の同居家族がいる方(51.1%)では、いない方(40.9%)に比べて10.2ポイント高くなっている。

■①そう思う ■②まあそう思う ■③あまりそう思わない ■④全くそう思わない ■⑤わからない □⑥無回答



(2) あなたはどうしたら、「仕事」と「育児、家事、介護、趣味などの生活」の調和がよりとれるようになると思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「仕事」と「私生活」の調和がよりとれるようになると思う要素については、「十分な収入が得られ、仕事のやりがいが増える」が60.7%と最も高く、次いで「長時間労働の改善、休暇が取りやすくなるなど働きやすくなる」が54.9%となっている。



#### 【対象者全体】

「長時間労働の改善、休暇が取りやすくなるなど働きやすくなる」が60.9%と最も高く、次いで「十分な収入が得られ、仕事のやりがいが増える」が59.8%、「保育・子育て育児、家事等のサービスの充実など行政の支援が得られる」が38.8%、「家族、知人等の協力により育児、家事等の負担が減る」が24.7%となっている。

#### 【性別】 ※その他は少数のため参考値とする。

女性では「家族、知人等の協力により育児、家事等の負担が減る」と「保育・子育て育児、家事等のサービスの充実など行政の支援が得られる」が男性に比べて9ポイント前後上回っている。

#### 【年代別】

「長時間労働の改善、休暇が取りやすくなるなど働きやすくなる」は10歳代～30歳代と50歳代において高く、「保育・子育て育児、家事等のサービスの充実など行政の支援が得られる」は10歳代と30歳代において他の年代よりも高い。

#### 【居住区別】

「家族、知人等の協力により育児、家事等の負担が減る」は厚別区で36.3%と、他の居住区よりも高くなっている。

#### 【18歳以下同居家族】

18歳以下の同居家族がいる方では、全体と比べて高い傾向となっている。

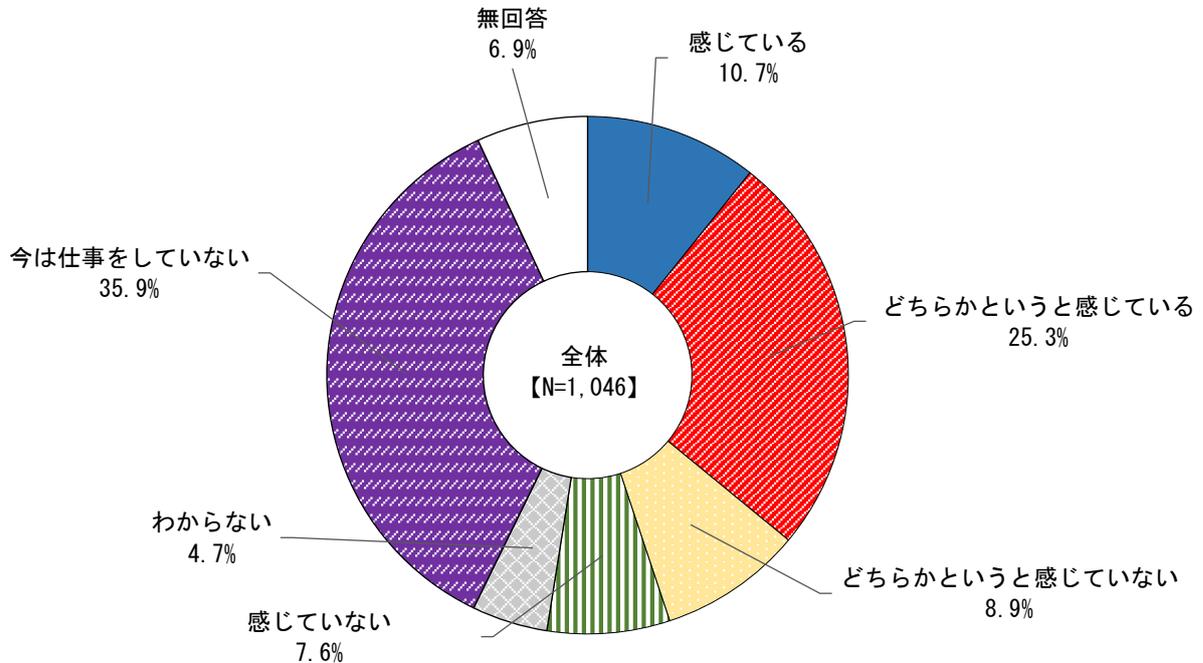
		回答者数	長時間労働の改善や休暇が取りやすくなるなど働きやすくなる	十分な収入が得られ、仕事のやりがいが増える	家族、知人等の協力により育児、家事等の負担が減る	保育・子育て育児、家事等のサービスの充実など行政の支援が得られる	その他	無回答
		(%)						
全体		1,046	54.9	60.7	26.3	37.4	4.4	13.6
性別	男性	423	54.1	63.6	19.9	35.7	4.5	13.7
	女性	605	56.0	59.5	30.9	38.8	4.5	12.6
	その他	3	66.7	100.0	33.3	66.7	-	-
	無回答	15	26.7	20.0	20.0	20.0	-	53.3
年代別	18～19歳	3	100.0	66.7	66.7	33.3	33.3	-
	20～29歳	48	70.8	85.4	35.4	45.8	8.3	-
	30～39歳	95	69.5	72.6	28.4	48.4	5.3	2.1
	40～49歳	139	60.4	79.9	30.2	45.3	2.9	2.2
	50～59歳	158	67.7	70.9	25.9	28.5	2.5	3.2
	60～64歳	120	54.2	65.8	33.3	44.2	5.0	3.3
	65～69歳	133	47.4	58.6	21.8	38.3	3.0	15.8
	70歳以上	338	43.8	41.7	22.2	32.2	5.3	29.6
	無回答	12	33.3	16.7	16.7	8.3	-	58.3
居住区別	中央区	125	52.0	64.0	24.0	37.6	6.4	12.0
	北区	157	56.7	65.0	24.8	45.9	1.9	8.3
	東区	141	57.4	56.7	25.5	29.1	4.3	17.0
	白石区	115	52.2	63.5	22.6	33.9	7.0	13.9
	厚別区	73	53.4	53.4	27.4	35.6	4.1	12.3
	豊平区	102	56.9	66.7	30.4	35.3	2.0	9.8
	清田区	64	48.4	53.1	29.7	34.4	4.7	23.4
	南区	77	53.2	57.1	31.2	40.3	11.7	11.7
	西区	103	54.4	58.3	23.3	39.8	2.9	14.6
	手稲区	77	64.9	68.8	31.2	45.5	1.3	11.7
	無回答	12	33.3	16.7	16.7	8.3	-	58.3
	18歳以下	いる	190	61.6	71.6	37.4	51.6	5.3
いない		784	54.7	60.1	24.1	35.1	4.1	14.2
無回答		72	38.9	38.9	20.8	25.0	5.6	36.1

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い  
■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

## 仕事のやりがいと充実感

【問 28】あなたは、今の仕事にやりがいと充実感を感じていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

仕事のやりがいと充実感については、「感じている」(10.7%)と「どちらかというと感じている」(25.3%)を合わせた割合が36.0%となっている。



### 【対象者全体】

今は仕事をしていない(35.9%)を除くと、「どちらかというと感じている」が25.3%と最も高く、次いで「感じている」が10.7%、「どちらかというと感じていない」が8.9%、「感じていない」が7.6%、「わからない」が4.7%となっている。

### 【性別】 ※その他は少数のため参考値とする。

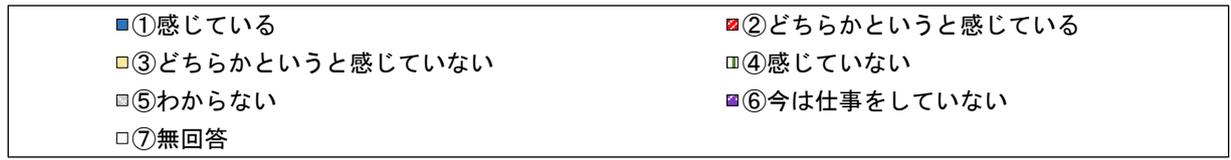
「感じている」と「どちらかというと感じている」を合わせた割合は、男性では42.1%、女性は32.1%であり、男性の方が10ポイント高くなっている。

### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

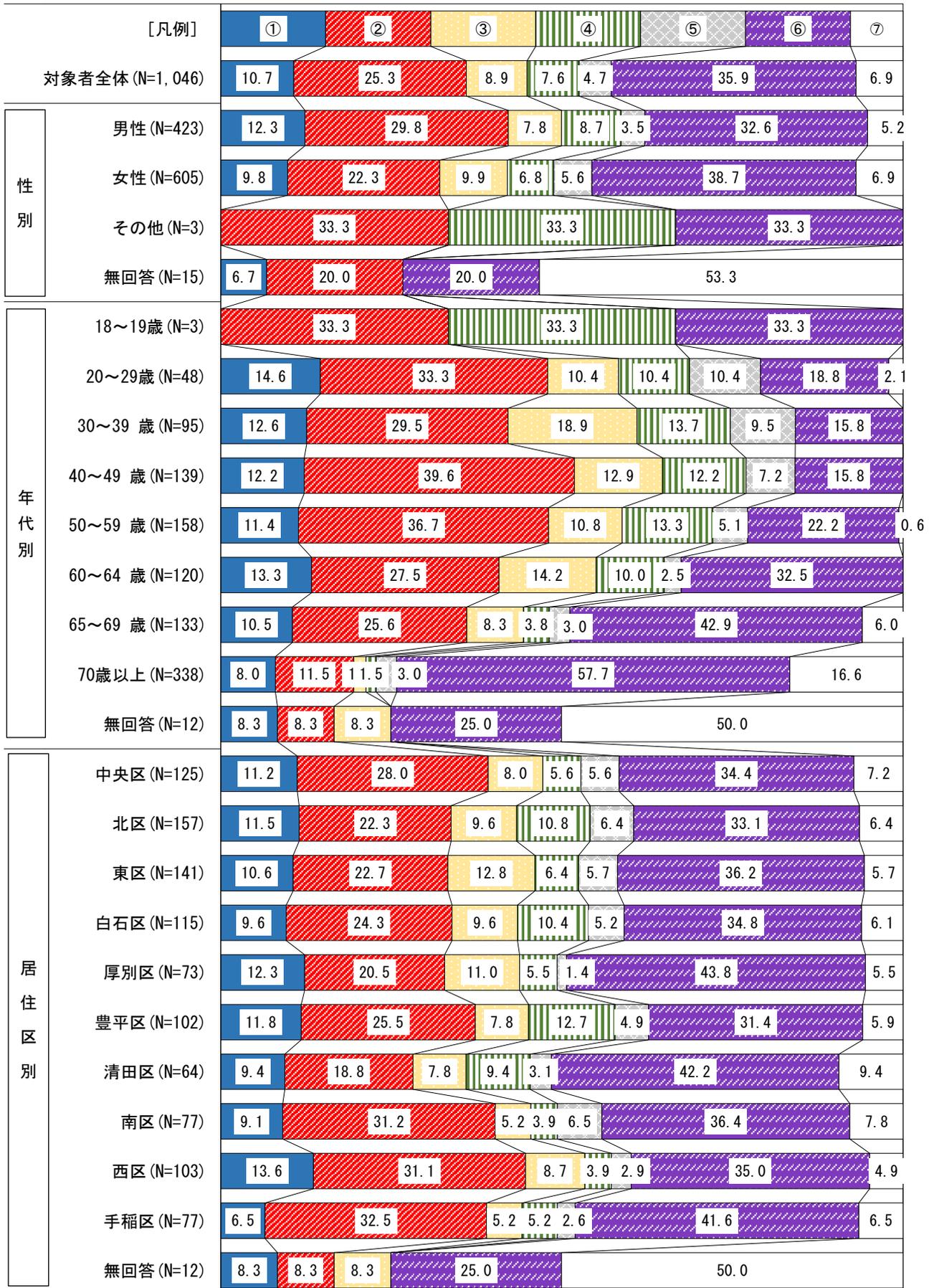
「感じている」と「どちらかというと感じている」を合わせた割合は、40歳代において51.8%と他の年代よりも高く、50%を超えている。

### 【居住区別】

「感じている」と「どちらかというと感じている」を合わせた割合は、西区で44.7%と最も高く、清田区で28.2%と最も低くなっている。



0% 20% 40% 60% 80% 100%



## 行ったスポーツ(運動)

【問 29】 スポーツについてお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) あなたは、この1年間に運動・スポーツを行いましたか。行った場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。

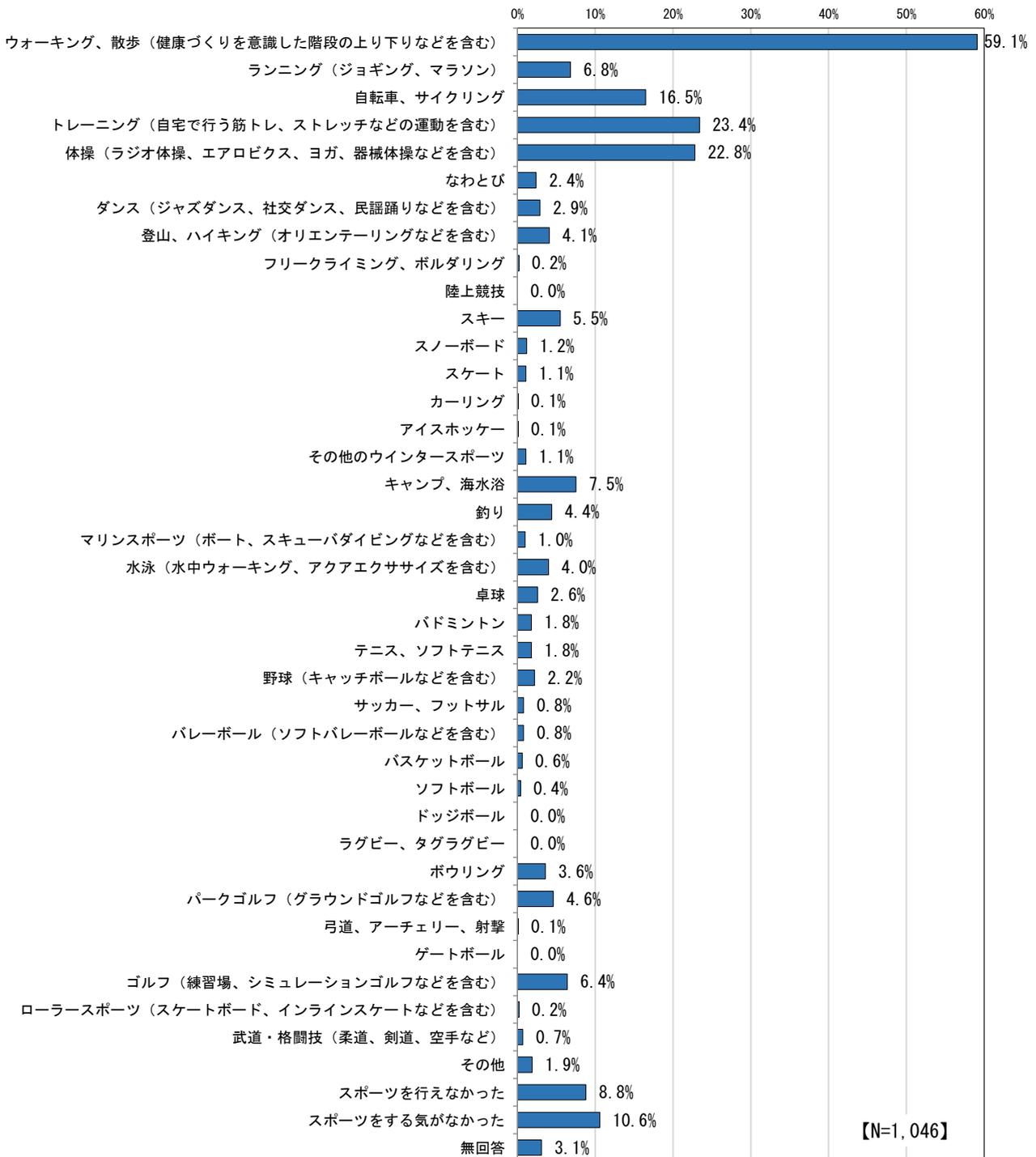
※運動・スポーツには、健康づくりを意識して日常生活で行う軽い運動（徒歩通勤、自転車通勤、階段の積極的な利用など）も含まれます。運動・スポーツを行わなかった場合は、「39」または「40」のいずれかに○をつけてください。

※ 障がいに応じた用具やルールの変更などがある競技はもとの競技に含まれます。

例：車いすマラソン → 2. ランニング（ジョギング、マラソン）

ブラインドサッカー → 25. サッカー、フットサル

行ったスポーツ（運動）については、「ウォーキング、散歩」が59.1%と最も高くなっている。次いで、「トレーニング」が23.4%、「体操」が22.8%、「自転車・サイクリング」が16.5%となっている。



**【対象者全体】**

行ったスポーツ（運動）については、「ウォーキング、散歩」が59.1%と最も高くなっている。次いで、「トレーニング」が23.4%、「体操」が22.8%、「自転車・サイクリング」が16.5%となっている。

**【性別】 ※その他は少数のため参考値とする。**

男性では「ゴルフ」（13.0%）と「釣り」（8.0%）が、女性では「体操」（28.8%）が、それぞれ異性よりも大幅（6ポイント以上）に上回っている。

**【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。**

20歳代では「ランニング」「トレーニング」「野球」が、30歳代では「ランニング」「キャンプ・海水浴」が、40歳代では「スキー」「キャンプ・海水浴」が全体よりも高くなっている。

**【居住区別】**

全居住区で「ウォーキング、散歩」が最も高くなっている。

		回答者数	ウォーキング、散歩（健康づくりを意識した段階の上り下りなどを含む）	ランニング（ジョギング、マラソン）	自転車、サイクリング	トレニング（自宅で行う筋トレ、ストレッチなどの運動を含む）	体操（ラジオ体操、エアロビクス、ヨガ、器械体操などを含む）	なわとび	ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、民謡踊りなどを含む）	登山、ハイキング（オリエンテーリングなどを含む）	フリークライミング、ボルダリング	陸上競技
		(%)										
全体		1,046	59.1	6.8	16.5	23.4	22.8	2.4	2.9	4.1	0.2	-
性別	男性	423	58.4	9.2	14.9	22.2	14.9	1.7	1.2	4.7	0.5	-
	女性	605	60.0	5.3	17.9	24.0	28.8	3.0	4.1	3.8	-	-
	その他	3	66.7	-	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-
	無回答	15	40.0	-	6.7	26.7	6.7	-	-	-	-	-
年代別	18～19歳	3	66.7	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-	-
	20～29歳	48	60.4	18.8	22.9	41.7	12.5	-	2.1	6.3	2.1	-
	30～39歳	95	58.9	16.8	24.2	28.4	24.2	6.3	6.3	2.1	-	-
	40～49歳	139	61.2	10.1	20.9	23.0	15.1	5.0	1.4	7.2	0.7	-
	50～59歳	158	57.0	8.9	20.9	25.9	18.4	3.2	1.3	4.4	-	-
	60～64歳	120	67.5	5.8	17.5	20.8	26.7	1.7	3.3	3.3	-	-
	65～69歳	133	58.6	3.0	15.8	20.3	25.6	1.5	1.5	3.0	-	-
	70歳以上	338	56.2	2.1	9.5	20.4	26.6	0.6	3.8	3.8	-	-
	無回答	12	58.3	-	16.7	33.3	16.7	-	-	-	-	-
居住区別	中央区	125	63.2	8	17.6	27.2	28	0.8	1.6	5.6	0.8	0
	北区	157	54.8	5.7	15.9	22.3	28	1.9	1.9	5.7	0.6	0
	東区	141	52.5	7.1	22.7	22	22.7	2.1	3.5	4.3	0	0
	白石区	115	65.2	6.1	18.3	24.3	13.9	2.6	4.3	0.9	0	0
	厚別区	73	58.9	2.7	13.7	21.9	27.4	1.4	1.4	4.1	0	0
	豊平区	102	62.7	9.8	16.7	28.4	20.6	4.9	5.9	5.9	0	0
	清田区	64	56.3	9.4	14.1	25	21.9	3.1	1.6	4.7	0	0
	南区	77	57.1	5.2	7.8	20.8	20.8	2.6	3.9	2.6	0	0
	西区	103	61.2	8.7	13.6	23.3	19.4	1.9	2.9	3.9	0	0
	手稲区	77	61	5.2	19.5	15.6	23.4	3.9	1.3	2.6	0	0
	無回答	12	58.3	0	16.7	33.3	16.7	0	0	0	0	0

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い  
■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

		回答者数	スキー	スノーボード	スケート	カーリング	アイスホッケー	その他のウィンタースポーツ	キャンプ、海水浴	釣り	マリンスポーツ（ボート、スキューバダイビングなどを含む）	水泳（水中ウォーキング、アクアエクササイズを含む）
（％）												
全体		1,046	5.5	1.2	1.1	0.1	0.1	1.1	7.5	4.4	1.0	4.0
性別	男性	423	6.1	0.7	0.7	-	-	1.7	5.7	8.0	0.7	3.1
	女性	605	5.3	1.5	1.5	0.2	0.2	0.8	8.6	2.0	1.2	4.8
	その他	3	-	33.3	-	-	-	-	66.7	-	-	-
	無回答	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	18～19歳	3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	48	6.3	6.3	4.2	-	-	2.1	12.5	6.3	2.1	4.2
	30～39歳	95	8.4	7.4	2.1	1.1	-	1.1	20.0	8.4	4.2	7.4
	40～49歳	139	17.3	2.2	5.0	-	0.7	0.7	20.9	5.8	1.4	7.9
	50～59歳	158	5.7	-	-	-	-	0.6	5.7	3.8	1.3	0.6
	60～64歳	120	2.5	-	0.8	-	-	1.7	4.2	1.7	-	5.0
	65～69歳	133	3.0	-	-	-	-	-	3.8	5.3	0.8	3.0
	70歳以上	338	1.5	-	-	-	-	1.8	1.5	3.6	-	3.3
	無回答	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居住区別	中央区	125	5.6	0.8	1.6	0	0	0	7.2	2.4	0.8	2.4
	北区	157	5.7	1.9	1.3	0	0	0	8.3	5.7	0.6	6.4
	東区	141	5	2.1	2.8	0	0	0	8.5	7.8	0.7	5.7
	白石区	115	2.6	0.9	0.9	0	0.9	1.7	10.4	1.7	0.9	4.3
	厚別区	73	8.2	0	0	0	0	1.4	4.1	5.5	0	1.4
	豊平区	102	2.9	1	0	1	0	2	6.9	2.9	2	3.9
	清田区	64	7.8	1.6	1.6	0	0	4.7	7.8	7.8	1.6	4.7
	南区	77	7.8	1.3	0	0	0	2.6	6.5	1.3	0	2.6
	西区	103	4.9	1	1	0	0	0	5.8	2.9	1.9	2.9
	手稲区	77	9.1	1.3	1.3	0	0	2.6	7.8	6.5	1.3	3.9
	無回答	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

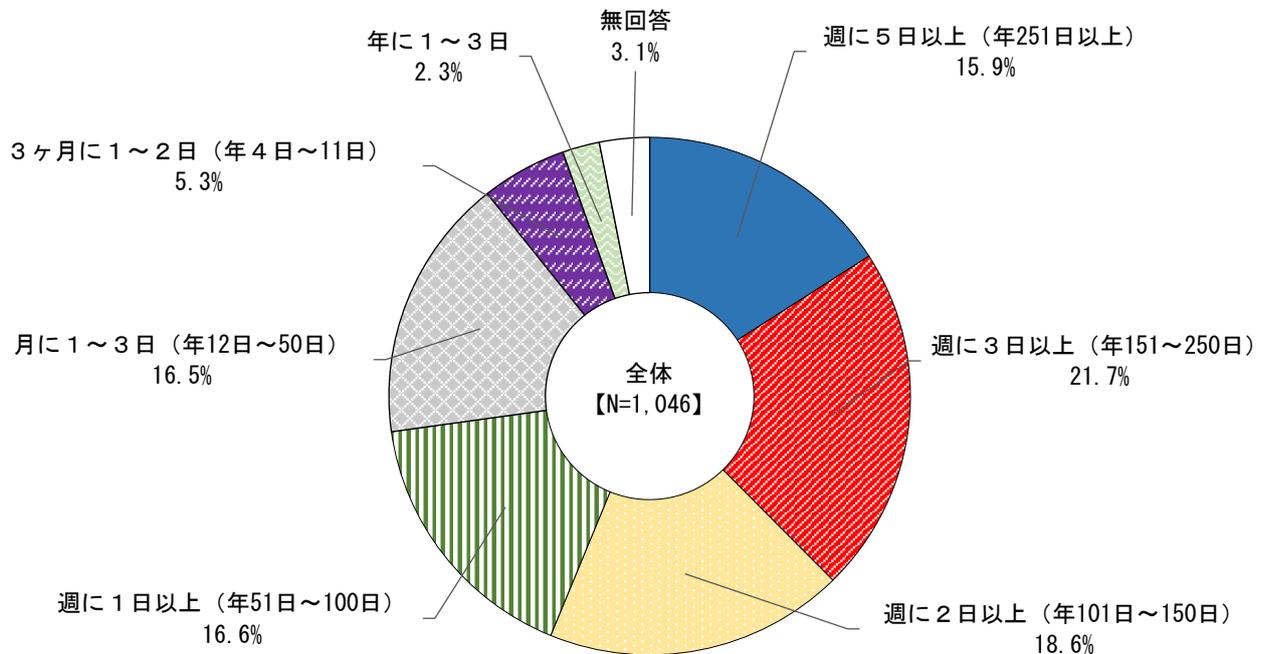
		回答者数	卓球	バドミントン	テニス、ソフトテニス	野球（キャッチボールなどを含む）	サッカー、フットサル	バレーボール（ソフトバレーボールなどを含む）	バスケットボール	ソフトボール	ドッジボール	ラグビー、タグラグビー
（％）												
全体		1,046	2.6	1.8	1.8	2.2	0.8	0.8	0.6	0.4	-	-
性別	男性	423	2.6	1.2	1.9	3.5	1.2	0.7	0.9	0.5	-	-
	女性	605	2.6	2.3	1.8	1.2	0.5	0.8	0.3	0.2	-	-
	その他	3	-	-	-	33.3	-	-	-	33.3	-	-
	無回答	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	18～19歳	3	66.7	-	66.7	-	-	66.7	33.3	-	-	-
	20～29歳	48	4.2	6.3	6.3	14.6	2.1	4.2	2.1	2.1	-	-
	30～39歳	95	2.1	6.3	4.2	3.2	5.3	1.1	-	-	-	-
	40～49歳	139	2.2	6.5	0.7	3.6	1.4	-	2.2	0.7	-	-
	50～59歳	158	3.2	-	1.9	1.3	-	0.6	-	0.6	-	-
	60～64歳	120	0.8	0.8	0.8	0.8	-	0.8	-	-	-	-
	65～69歳	133	2.3	-	1.5	-	-	-	0.8	-	-	-
	70歳以上	338	2.7	-	0.9	1.2	-	0.3	-	0.3	-	-
	無回答	12	-	-	-	8.3	-	-	-	-	-	-
居住区別	中央区	125	2.4	2.4	1.6	2.4	0	0	0	1.6	0	0
	北区	157	5.1	1.9	1.3	0.6	0	1.9	0.6	0	0	0
	東区	141	4.3	2.1	2.1	2.1	0	2.8	0.7	0	0	0
	白石区	115	1.7	0	1.7	3.5	2.6	0	2.6	0.9	0	0
	厚別区	73	2.7	1.4	1.4	1.4	0	0	0	0	0	0
	豊平区	102	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0
	清田区	64	4.7	1.6	3.1	1.6	1.6	0	0	0	0	0
	南区	77	1.3	0	2.6	2.6	1.3	1.3	1.3	0	0	0
	西区	103	0	1.9	1.9	2.9	1	0	0	0	0	0
	手稲区	77	2.6	5.2	2.6	2.6	2.6	0	0	1.3	0	0
	無回答	12	0	0	0	8.3	0	0	0	0	0	0

		回答者数 (%)	ボウリング	パークゴルフ（グラウンドゴルフなどを含む）	弓道、アーチェリー、射撃	ゲートボール	ゴルフ（練習場、シミュレーションゴルフなどを含む）	ローラースケート（スケートボード、インラインスケートなどを含む）	武道・格闘技（柔道、剣道、空手など）	その他	スポーツを行えなかった	スポーツをする気がなかった	無回答
全体		1,046	3.6	4.6	0.1	-	6.4	0.2	0.7	1.9	8.8	10.6	3.1
性別	男性	423	4.3	7.6	-	-	13.0	0.2	1.4	1.2	8.5	9.9	2.1
	女性	605	3.3	2.6	0.2	-	2.0	0.2	0.2	2.5	9.1	11.1	3.0
	その他	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-
	無回答	15	-	-	-	-	-	-	-	-	6.7	6.7	33.3
年代別	18～19歳	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-
	20～29歳	48	2.1	-	-	-	8.3	-	-	4.2	6.3	4.2	-
	30～39歳	95	5.3	2.1	1.1	-	2.1	-	1.1	2.1	12.6	9.5	-
	40～49歳	139	7.9	4.3	-	-	5.0	0.7	0.7	1.4	6.5	7.2	-
	50～59歳	158	4.4	3.2	-	-	6.3	-	0.6	1.9	7.6	16.5	-
	60～64歳	120	2.5	-	-	-	5.0	-	-	1.7	9.2	7.5	1.7
	65～69歳	133	1.5	3.8	-	-	7.5	-	-	1.5	8.3	15.8	2.3
	70歳以上	338	2.7	8.9	-	-	8.3	0.3	1.2	2.1	10.1	9.8	7.1
	無回答	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0
居住区別	中央区	125	3.2	2.4	0	0	4.8	0	2.4	0.8	8.8	9.6	0
	北区	157	3.8	5.7	0	0	8.3	0	0	1.9	6.4	13.4	2.5
	東区	141	2.8	3.5	0	0	6.4	0.7	0	2.8	10.6	11.3	5
	白石区	115	6.1	1.7	0	0	7	0	0	1.7	6.1	9.6	4.3
	厚別区	73	4.1	5.5	0	0	1.4	0	1.4	1.4	9.6	8.2	1.4
	豊平区	102	2	1	0	0	8.8	0	1	2	5.9	11.8	2.9
	清田区	64	6.3	15.6	0	0	7.8	0	1.6	3.1	7.8	10.9	3.1
	南区	77	3.9	3.9	0	0	5.2	0	0	2.6	11.7	11.7	5.2
	西区	103	1.9	3.9	1	0	5.8	0	1	0	14.6	9.7	2.9
	手稲区	77	3.9	9.1	0	0	7.8	1.3	0	3.9	9.1	9.1	0
	無回答	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25

## スポーツの頻度

(2) (1)で「1」から「38」までのいずれかに○をつけた方にのみお聞きします。あなたが、(1)で答えた運動・スポーツを行った日数を全部合わせると、1年間で何日くらいになりますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

スポーツの頻度については、「週3日以上」が21.7%で最も高くなっている。次いで「週2日以上」が18.6%となっている。



### 【対象者全体】

「週3日以上」が21.7%と最も高くなっている。次いで、「週2日以上」が18.6%、「週1日以上」が16.6%、「月1~3日」が16.5%、「週5日以上」が15.9%、となっている。

### 【性別】 ※その他は少数のため参考値とする。

男性は「月に1~3日」が20.1%と最も高く、女性は「週3日以上」が23.5%と最も高くなっている。

### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

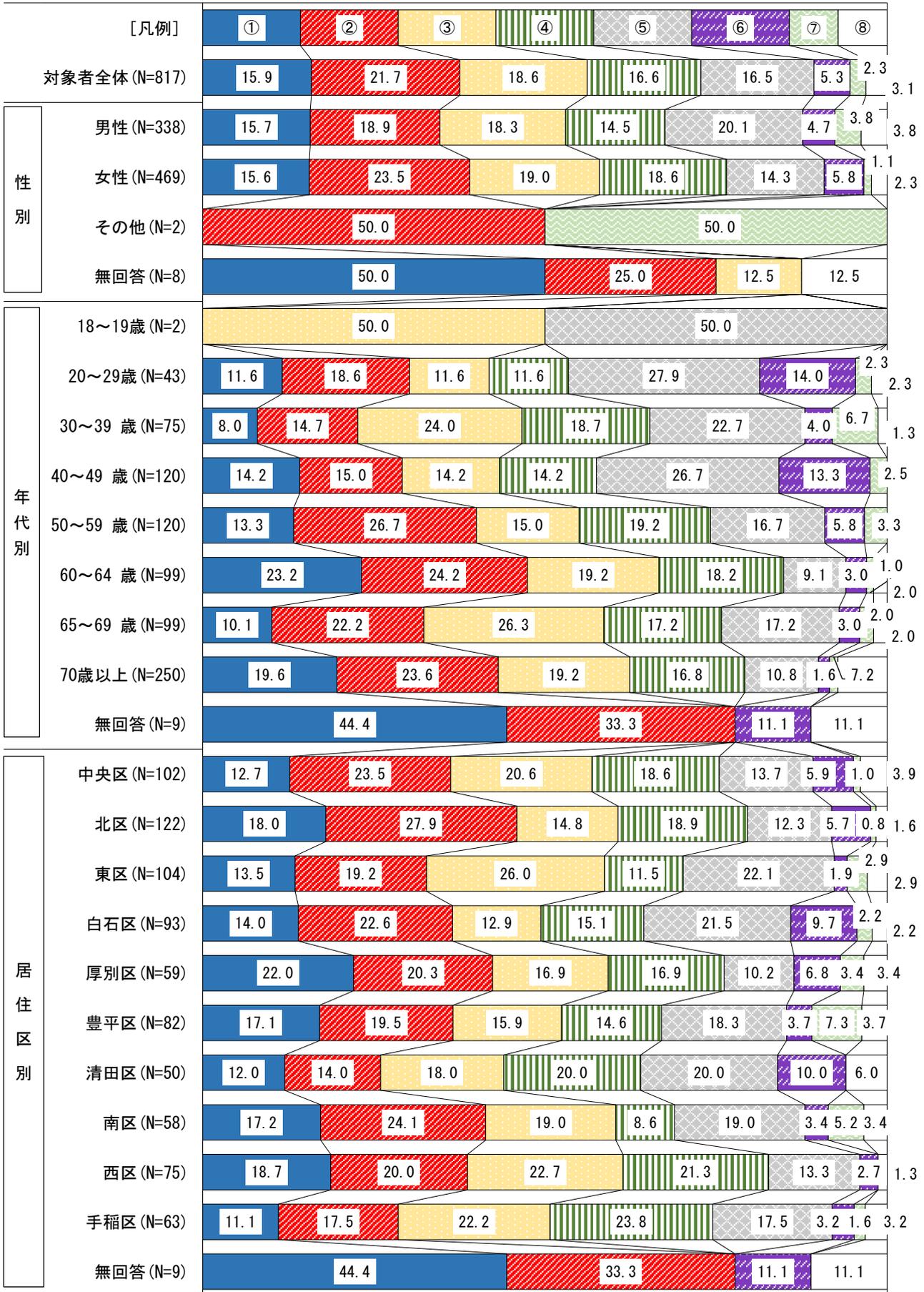
週1~5日以上運動・スポーツをする人は、60歳代前半で84.8%と最も高く、20歳代で53.4%と最も低くなっている。

### 【居住区別】

週1~5日以上運動・スポーツをする人は西区において82.7%と最も高くなっている。



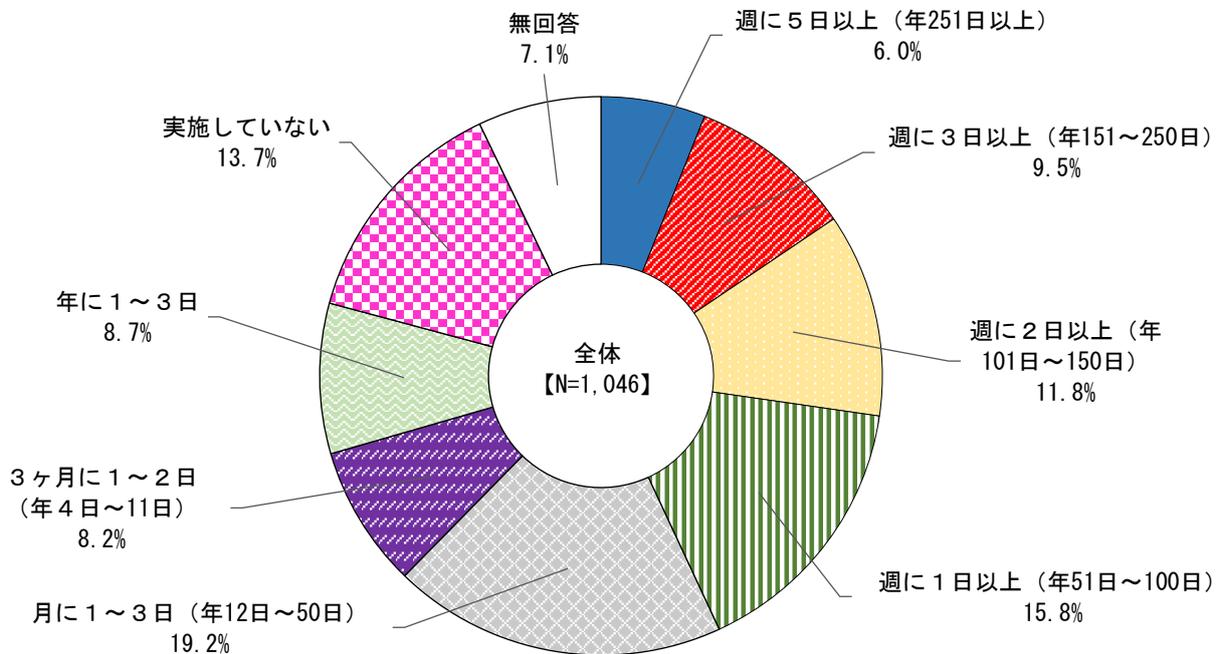
0% 20% 40% 60% 80% 100%



## 汗をかく運動・スポーツの頻度

(3) (1)で「1」から「38」までのいずれかに○をつけた方にのみお聞きします。あなたが、(2)で答えた運動・スポーツを行った日数のうち、「汗をかく運動・スポーツを30分以上実施した日数」は1年間で何日くらいになりますか。

汗をかく運動・スポーツの頻度については、「月に1～3日」が19.2%で最も高くなっている。次いで「週1日以上」が15.8%となっている。



### 【対象者全体】

「月に1～3日」が19.2%と最も高くなっている。次いで、「週1日以上」が15.8%、「週に2日以上」が11.8%、「週に3日以上」が9.5%、「週5日以上」が6.0%となっている。一方、「実施していない」が13.7%となっている。

### 【性別】 ※その他は少数のため参考値とする。

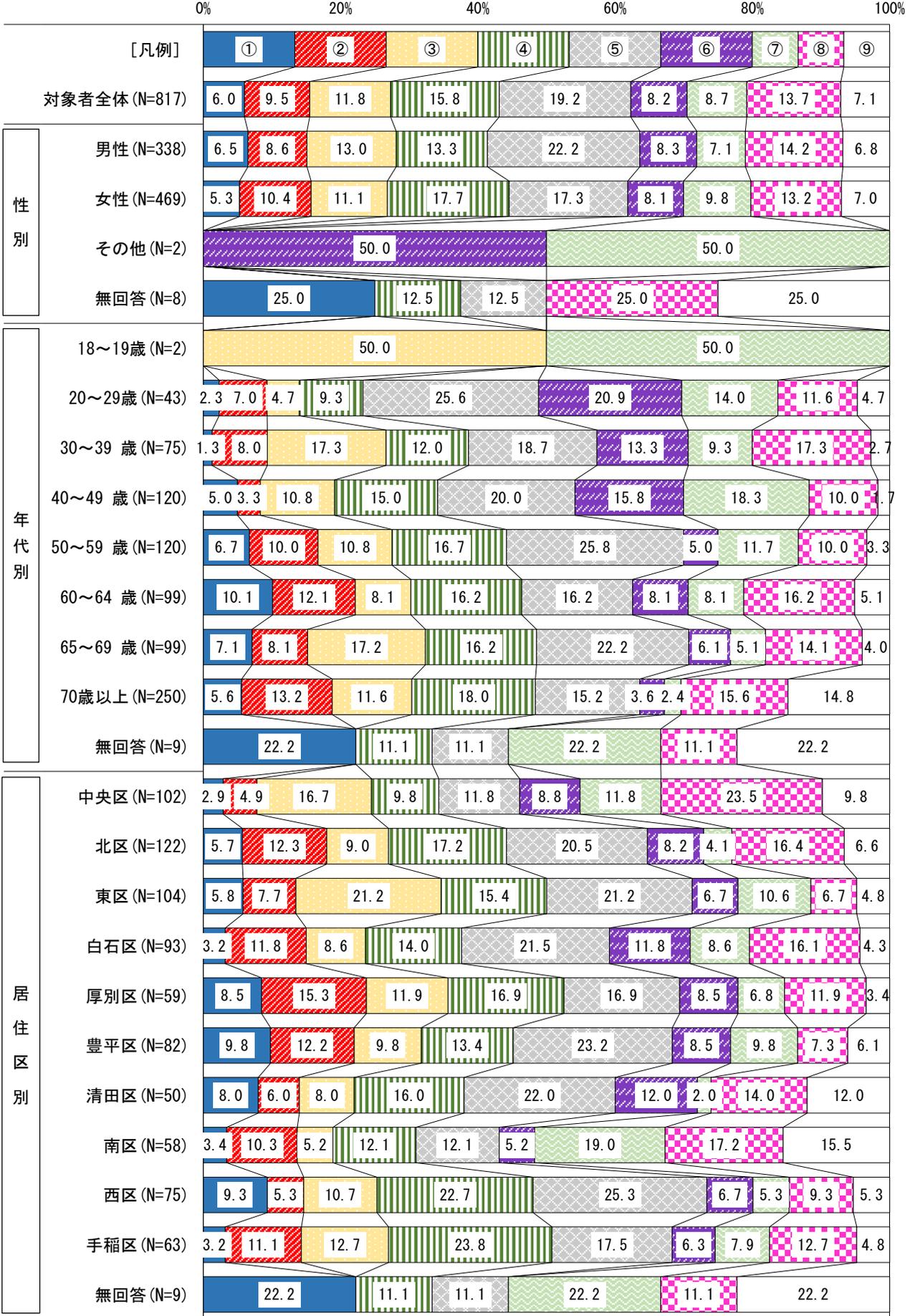
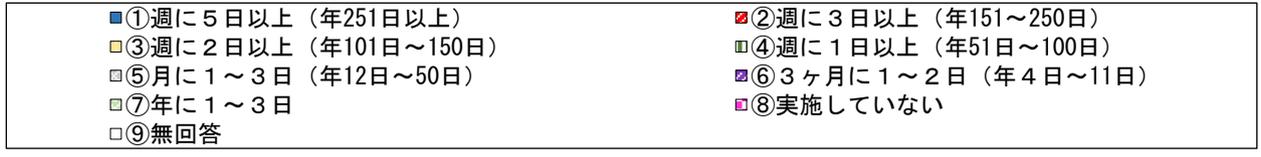
男性は「月に1～3日」が22.2%と最も高く、女性は「週に1日以上」が17.7%と最も高くなっている。

### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

週1～5日以上汗をかく運動・スポーツを30分以上する人は、60歳代後半で48.6%と最も高く、20歳代では23.3%と最も低くなっている。

### 【居住区別】

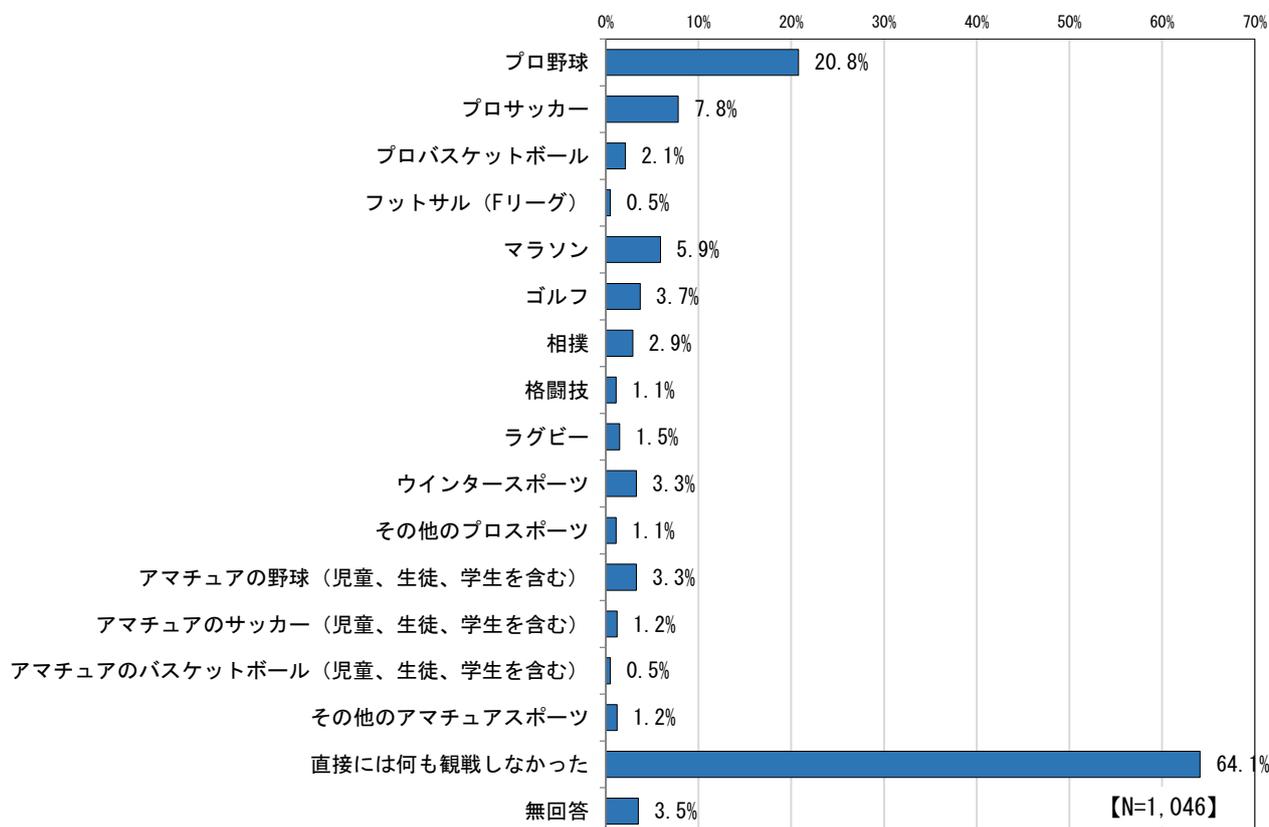
週1～5日以上汗をかく運動・スポーツを30分以上する人は、厚別区において52.6%と最も高くなっている。



## 直接観戦したスポーツ

【問 30】あなたは、この1年間に（テレビなどではなく）直接スポーツを観戦しましたか。観戦した場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。なお、直接には何も観戦しなかった方は「16」だけに○をつけてください。

直接観戦したスポーツについては、「直接には何も観戦しなかった」が64.1%で最も高くなっている。次いで「プロ野球」が20.8%となっている。



### 【対象者全体】

「直接には何も観戦しなかった」が64.1%と最も高くなっている。次いで、「プロ野球」が20.8%、「プロサッカー」が7.8%、「マラソン」が5.9%となっている。

### 【性別】 ※その他は少数のため参考値とする。

全体的に男性の観戦率が高い傾向にある。「直接には何も観戦しなかった」は、男性では57.7%、女性では69.1%となっている。

### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

20歳代では「プロ野球」が33.3%と全体より高くなっている。

### 【居住区別】

「直接には何も観戦しなかった」は、南区で76.6%と最も高く、清田区で56.3%と最も低くなっている。

		回答者数	プロ野球	プロサッカー	プロバスケットボール	フットサル(フリーグ)	マラソン	ゴルフ	相撲	格闘技	ラグビー
		(%)									
全体		1,046	20.8	7.8	2.1	0.5	5.9	3.7	2.9	1.1	1.5
性別	男性	423	27.0	7.8	3.1	0.5	7.8	6.6	4.7	1.7	3.1
	女性	605	16.9	7.8	1.3	0.5	4.8	1.8	1.7	0.7	0.5
	その他	3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	15	6.7	13.3	6.7	-	-	-	-	-	-
年代別	18~19歳	3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-
	20~29歳	48	33.3	6.3	2.1	-	-	-	-	-	-
	30~39歳	95	16.8	11.6	3.2	2.1	2.1	1.1	-	2.1	-
	40~49歳	139	17.3	10.1	3.6	1.4	2.9	-	0.7	0.7	1.4
	50~59歳	158	27.2	7.6	1.3	-	5.1	1.3	2.5	1.3	2.5
	60~64歳	120	19.2	10.0	1.7	0.8	5.0	5.8	3.3	1.7	2.5
	65~69歳	133	21.1	7.5	1.5	-	6.0	3.8	2.3	-	1.5
	70歳以上	338	19.8	5.0	1.8	-	10.1	7.1	5.3	1.2	1.5
	無回答	12	8.3	16.7	8.3	-	-	-	-	-	-
居住区別	中央区	125	20.0	11.2	1.6	-	8.0	1.6	2.4	1.6	-
	北区	157	19.1	4.5	2.5	-	7.6	4.5	2.5	-	0.6
	東区	141	21.3	7.8	3.5	0.7	2.1	4.3	1.4	0.7	-
	白石区	115	20.9	8.7	3.5	-	7.8	2.6	4.3	2.6	2.6
	厚別区	73	21.9	5.5	-	-	5.5	4.1	4.1	-	1.4
	豊平区	102	29.4	5.9	1.0	1.0	7.8	2.9	3.9	1.0	2.9
	清田区	64	26.6	6.3	1.6	1.6	4.7	9.4	1.6	1.6	-
	南区	77	11.7	7.8	-	-	2.6	-	3.9	-	1.3
	西区	103	22.3	11.7	2.9	1.0	7.8	5.8	3.9	2.9	4.9
	手稲区	77	16.9	7.8	1.3	1.3	3.9	3.9	1.3	-	2.6
	無回答	12	8.3	16.7	8.3	-	-	-	-	-	-

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い  
■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

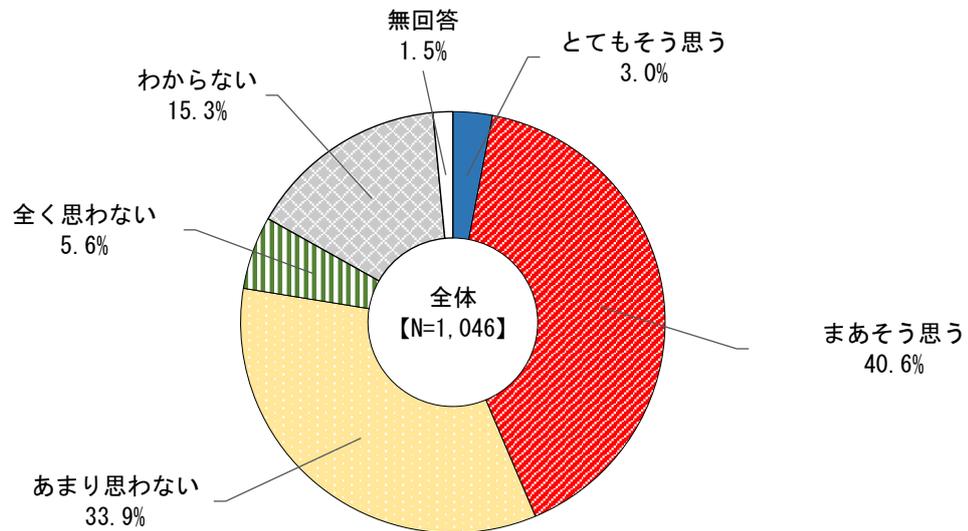
		回答者数	ウィンタースポーツ	その他のプロスポーツ	アマチュアの野球（児童、生徒、学生を含む）	アマチュアのサッカー（児童、生徒、学生を含む）	アマチュアのバスケットボール（児童、生徒、学生を含む）	その他のアマチュアスポーツ	直接には何も観戦しなかった	無回答
（％）										
全体		1,046	3.3	1.1	3.3	1.2	0.5	1.2	64.1	3.5
性別	男性	423	4.7	0.9	6.1	0.9	0.9	1.2	57.7	2.8
	女性	605	2.3	1.2	1.5	1.5	0.2	1.2	69.1	3.3
	その他	3	-	-	-	-	-	-	66.7	-
	無回答	15	-	-	-	-	-	6.7	46.7	33.3
年代別	18～19歳	3	-	-	-	-	-	-	66.7	-
	20～29歳	48	4.2	-	2.1	-	-	-	58.3	-
	30～39歳	95	2.1	1.1	1.1	1.1	-	2.1	70.5	-
	40～49歳	139	2.2	2.2	3.6	2.9	3.6	2.9	66.9	-
	50～59歳	158	5.7	0.6	1.9	0.6	-	-	66.5	-
	60～64歳	120	1.7	2.5	5.0	0.8	-	1.7	65.0	1.7
	65～69歳	133	3.0	-	1.5	0.8	-	-	67.7	2.3
	70歳以上	338	3.6	0.9	5.0	1.5	-	1.2	60.1	8.3
	無回答	12	-	-	-	-	-	8.3	41.7	33.3
居住区別	中央区	125	4.0	1.6	1.6	0.8	0.8	-	64.0	1.6
	北区	157	3.8	-	2.5	0.6	0.6	1.9	66.2	4.5
	東区	141	2.1	0.7	4.3	0.7	0.7	1.4	61.7	2.8
	白石区	115	4.3	2.6	7.0	1.7	0.9	2.6	62.6	3.5
	厚別区	73	2.7	-	1.4	2.7	-	1.4	67.1	2.7
	豊平区	102	3.9	2.0	1.0	1.0	-	2.0	57.8	3.9
	清田区	64	1.6	1.6	-	-	-	-	56.3	6.3
	南区	77	1.3	1.3	1.3	-	-	1.3	76.6	3.9
	西区	103	4.9	1.0	5.8	2.9	-	-	63.1	1.9
	手稲区	77	2.6	-	7.8	2.6	1.3	-	71.4	1.3
	無回答	12	-	-	-	-	-	8.3	41.7	33.3

## 文化芸術について

【問 31】文化芸術についてお聞きします。各項目にお答えください。

- (1) あなたは、札幌市が、誰もが文化芸術に親しむことができる環境であると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

文化芸術に親しめる環境かについては、「そう思う」(3.0%)と「まあそう思う」(40.6%)を合わせた割合が43.6%となっている。



### 【対象者全体】

「まあそう思う」が40.6%と最も高く、次いで「あまり思わない」が33.9%、「わからない」が15.3%、「全く思わない」が5.6%、「そう思う」が3.0%となっている。

### 【性別】 ※その他は少数のため参考値とする。

男女ともに「まあそう思う」が最も高くなっている。男女の差は特にみられない。

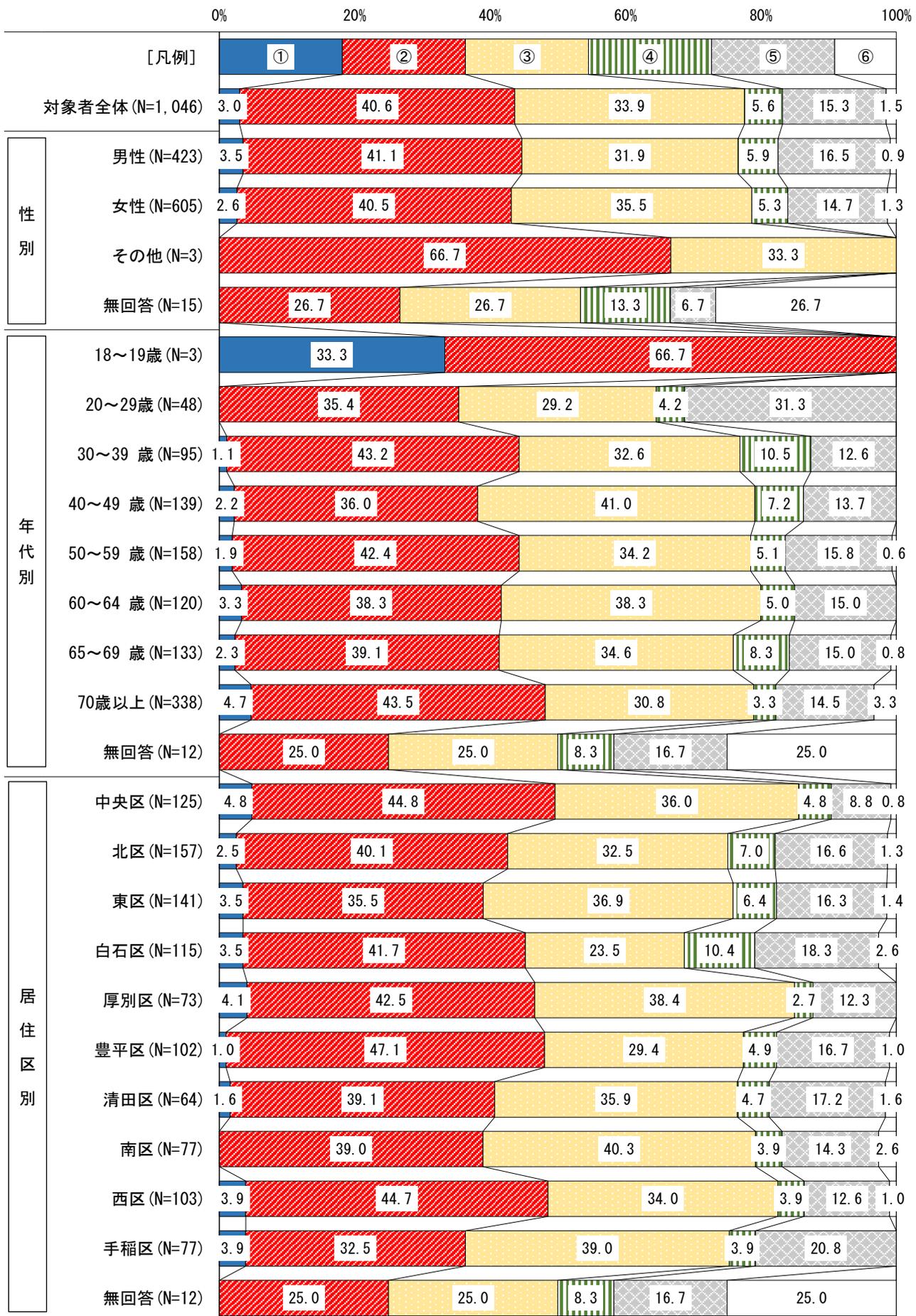
### 【年代別】

「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は、70代以上で48.2%と最も高く、20歳代で35.4%と最も低くなっている。

### 【居住区別】

「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は、中央区で49.6%と最も高く、手稲区では36.4%と最も低くなっている。

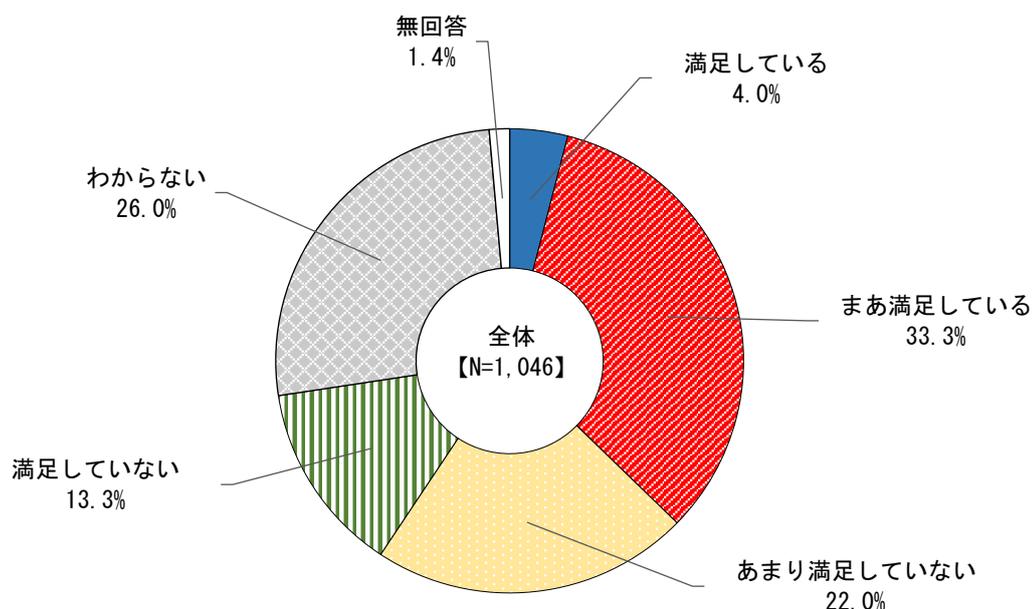
■①とてもそう思う ■②まあそう思う ■③あまり思わない ■④全く思わない ■⑤わからない ■⑥無回答



(2) あなたは、住んでいる地域での文化的な環境※に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※文化的な環境とは、文化芸術を鑑賞したり、習い事など文化芸術活動に参加したりする機会のほか、まちの文化財の保存・整備など、住んでいる地域の文化的な環境のことです。

文化的な環境については、「満足している」(4.0%)と「まあ満足している」(33.3%)を合わせた割合が37.3%となっている。



【対象者全体】

「まあ満足している」が33.3%と最も高く、次いで「わからない」が26.0%、「あまり満足していない」が22.0%、「満足していない」が13.3%、「満足している」が4.0%となっている。

【性別】 ※その他は少数のため参考値とする。

男女共に「まあ満足している」が最も高くなっており、大きな差は見られない。

【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

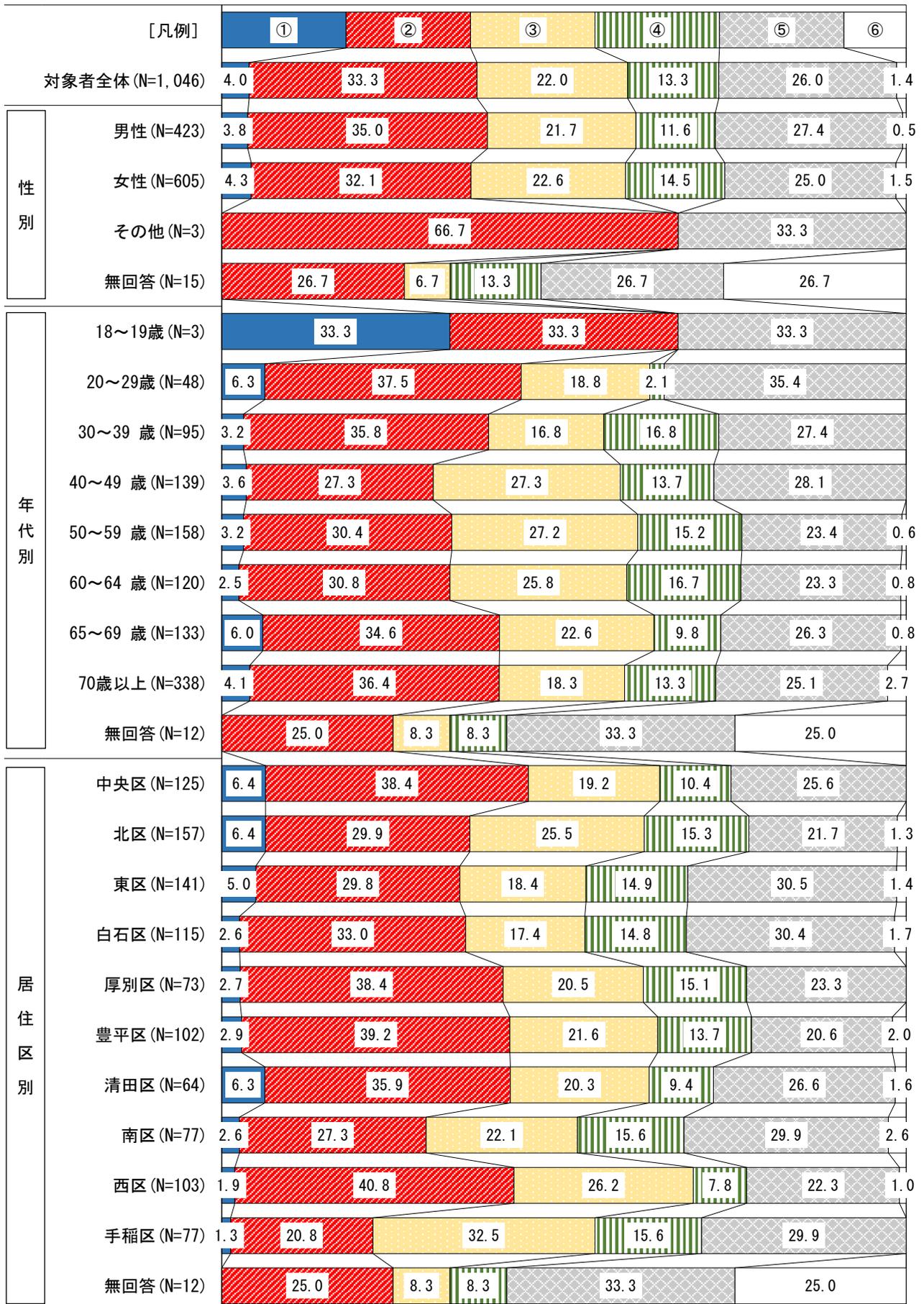
「満足している」と「まあ満足している」を合わせた割合は、20歳代で43.8%と最も高く、40歳代で30.9%と最も低くなっている。

【居住区別】

「満足している」と「まあ満足している」を合わせた割合は、中央区で44.8%と最も高くなっている。また手稲区で22.1%と全体に比べて特に低くなっている。

■①満足している ■②まあ満足している ■③あまり満足していない ■④満足していない ■⑤わからない ■⑥無回答

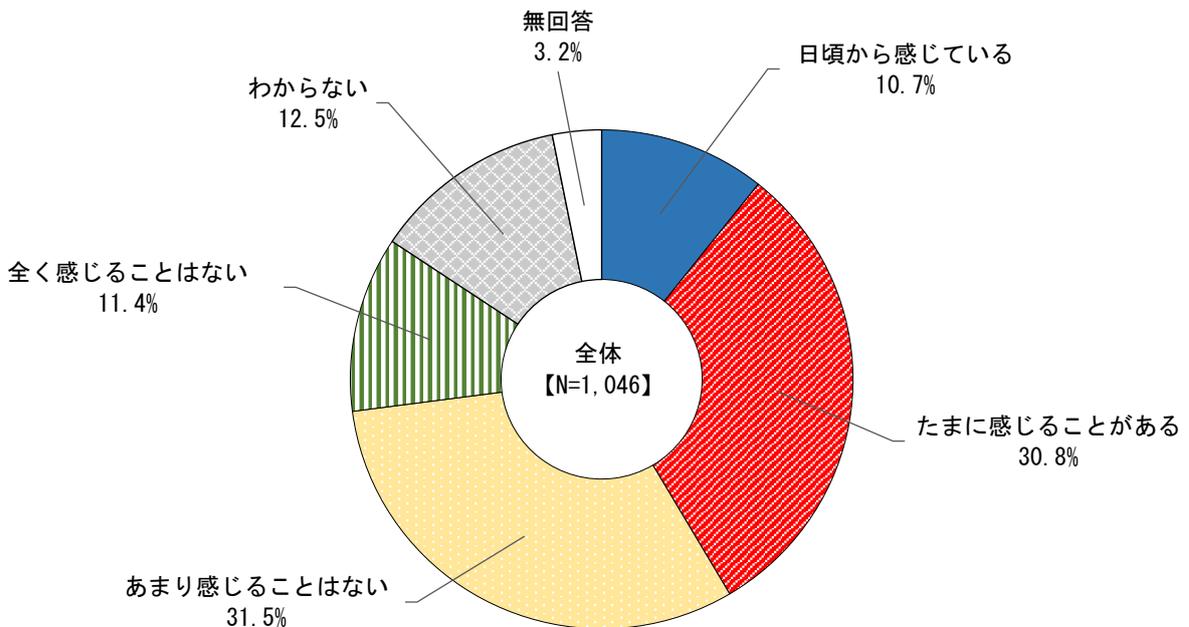
0% 20% 40% 60% 80% 100%



## 社会的役割の実感

【問 32】あなたは、ご自身が「社会や他人の役に立っている」、「社会や他人から必要とされている」など、社会の一員として役割を持っていると感じることがありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

社会的役割の実感については、「日頃から感じている」（10.7%）と「たまに感じることもある」（30.8%）を合わせた割合が 41.5%となっている。



### 【対象者全体】

「あまり感じることはない」が 31.5%と最も高く、次いで「たまに感じることもある」が 30.8%、「全く感じることはない」が 11.4%、「日頃から感じている」が 10.7%となっている。

### 【性別】 ※その他は少数のため参考値とする。

「日頃から感じている」と「たまに感じることもある」を合わせた割合は、男性が 44.7%、女性が 40.0%となっている。

### 【年代別】

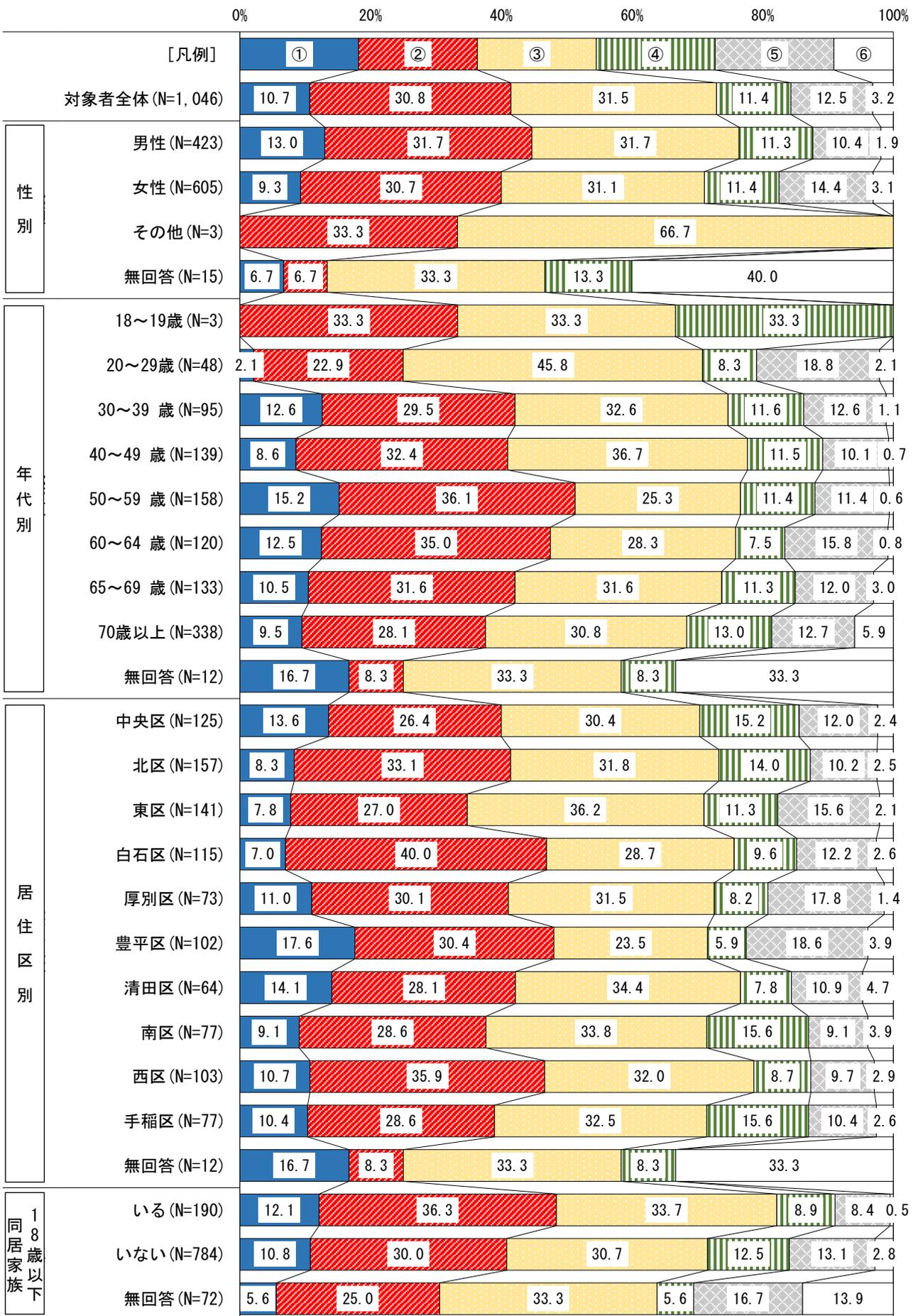
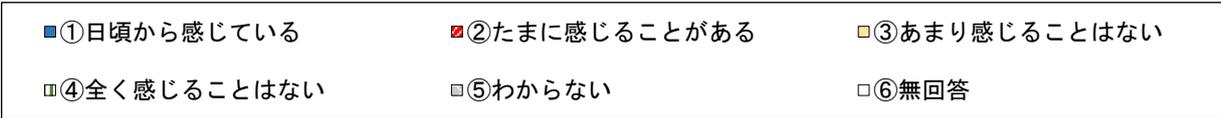
「日頃から感じている」と「たまに感じることもある」を合わせた割合は、50歳代で 51.3%と最も高く、20歳代で 25.0%と最も低くなっている。

### 【居住区別】

「日頃から感じている」と「たまに感じることもある」を合わせた割合は、豊平区で 48.0%と最も高く、東区で 34.8%と最も低くなっている。

### 【18歳以下同居家族】

18歳以下の同居家族がいる方は「たまに感じることもある」が 36.3%と最も高いが、いない方は「あまり感じることはない」が 30.7%と最も高くなっている。

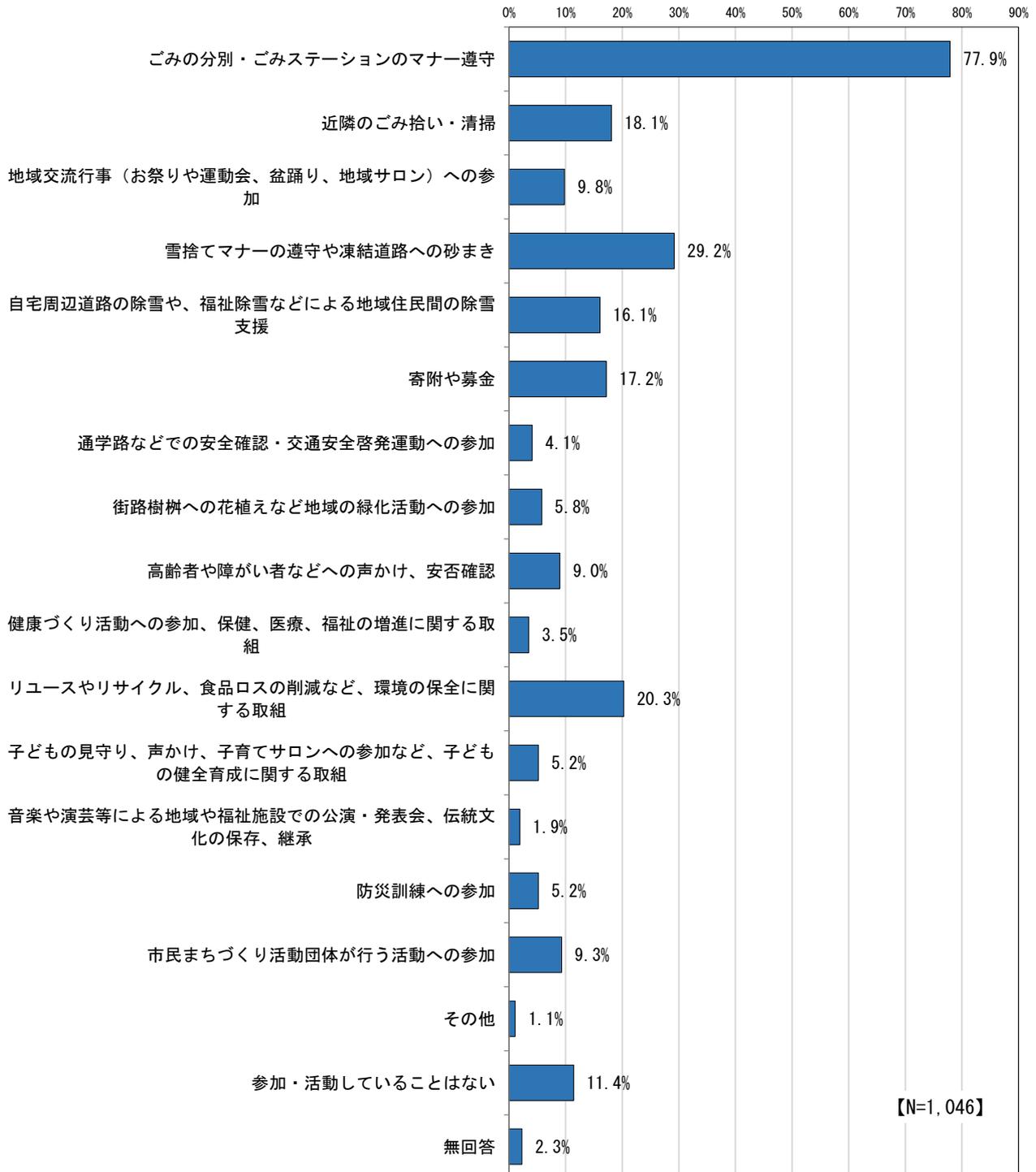


## 継続的に行っているまちづくり活動

【問 33】 次にあげるまちづくり活動\*のうち、あなたが継続的に行っていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

※ まちづくり活動とは、町内会や老人クラブ、PTA、商店街、ボランティア団体、NPO等の市民まちづくり団体が行う活動に参加するなど、快適な生活空間の確保、地域社会における安全及び安心の推進など、暮らしやすいまちを実現するための活動全般を指します。

継続的に行っているまちづくり活動については、「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が77.9%と最も高くなっている。



#### 【対象者全体】

「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が77.9%と最も高くなっている。次いで、「雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき」が29.2%、「リユースやリサイクル、食品ロスの削減など、環境の保全に関する取組」が20.3%、「近隣のごみ拾い・清掃」が18.1%となっている。

#### 【性別】 ※その他は少数のため参考値とする。

男女共に「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が最も高く、男性では74.7%、女性では80.7%となっている。

#### 【年代別】

「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」は50歳代で89.2%と全体に比べて高くなっている。20～30歳代では、「近隣のごみ拾い・清掃」、「雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき」、「寄付や募金」がいずれも全体に比べて低くなっている。

#### 【居住区別】

「近隣のごみ拾い・清掃」は、手稲区(36.4%)、清田区(31.3%)で全体に比べて高くなっている。

		サンプル数	ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守	近隣のごみ拾い・清掃	地域交流行事（お祭りや運動会、盆踊り、地域サロン）への参加	雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき	自宅周辺道路の除雪や、福祉除雪などによる地域住民間の除雪支援	寄附や募金	通学路などでの安全確認・交通安全啓発運動への参加	街路樹柵への花植えなど地域の緑化活動への参加	高齢者や障がい者などへの声かけ、安否確認
		(%)									
全体		1,046	77.9	18.1	9.8	29.2	16.1	17.2	4.1	5.8	9.0
性別	男性	423	74.7	17.7	11.1	30.7	18.7	14.7	5.0	5.9	7.8
	女性	605	80.7	18.5	8.9	28.4	14.2	19.0	3.6	5.8	9.8
	その他	3	100.0	-	-	-	-	33.3	-	-	33.3
	無回答	15	53.3	13.3	6.7	20.0	20.0	13.3	-	6.7	6.7
年代別	18～19歳	3	33.3	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-
	20～29歳	48	79.2	6.3	4.2	14.6	10.4	4.2	2.1	2.1	4.2
	30～39歳	95	73.7	7.4	10.5	17.9	4.2	5.3	4.2	-	4.2
	40～49歳	139	74.1	15.1	11.5	31.7	12.2	7.2	8.6	1.4	6.5
	50～59歳	158	89.2	13.9	7.6	35.4	12.0	18.4	5.1	3.2	10.1
	60～64歳	120	77.5	19.2	5.0	28.3	17.5	20.0	0.8	4.2	13.3
	65～69歳	133	81.2	15.0	5.3	34.6	18.0	22.6	0.8	6.0	6.8
	70歳以上	338	75.1	27.2	14.2	28.7	22.2	23.4	4.7	11.8	10.9
無回答	12	58.3	8.3	8.3	25.0	16.7	8.3	-	-	8.3	
居住区別	中央区	125	76.0	5.6	4.0	17.6	9.6	14.4	6.4	4.0	5.6
	北区	157	83.4	23.6	12.1	37.6	15.3	15.3	4.5	5.1	5.7
	東区	141	75.2	14.2	12.1	24.8	14.9	7.8	2.8	3.5	9.9
	白石区	115	82.6	14.8	7.8	23.5	14.8	18.3	2.6	3.5	7.8
	厚別区	73	78.1	24.7	11.0	35.6	21.9	26.0	1.4	13.7	11.0
	豊平区	102	73.5	13.7	7.8	26.5	11.8	21.6	3.9	3.9	9.8
	清田区	64	79.7	31.3	10.9	39.1	20.3	21.9	6.3	12.5	14.1
	南区	77	76.6	22.1	9.1	36.4	27.3	18.2	5.2	6.5	11.7
	西区	103	75.7	9.7	9.7	20.4	12.6	19.4	3.9	1.9	10.7
	手稲区	77	79.2	36.4	14.3	41.6	22.1	20.8	5.2	13.0	9.1
無回答	12	58.3	8.3	8.3	25.0	16.7	8.3	-	-	8.3	

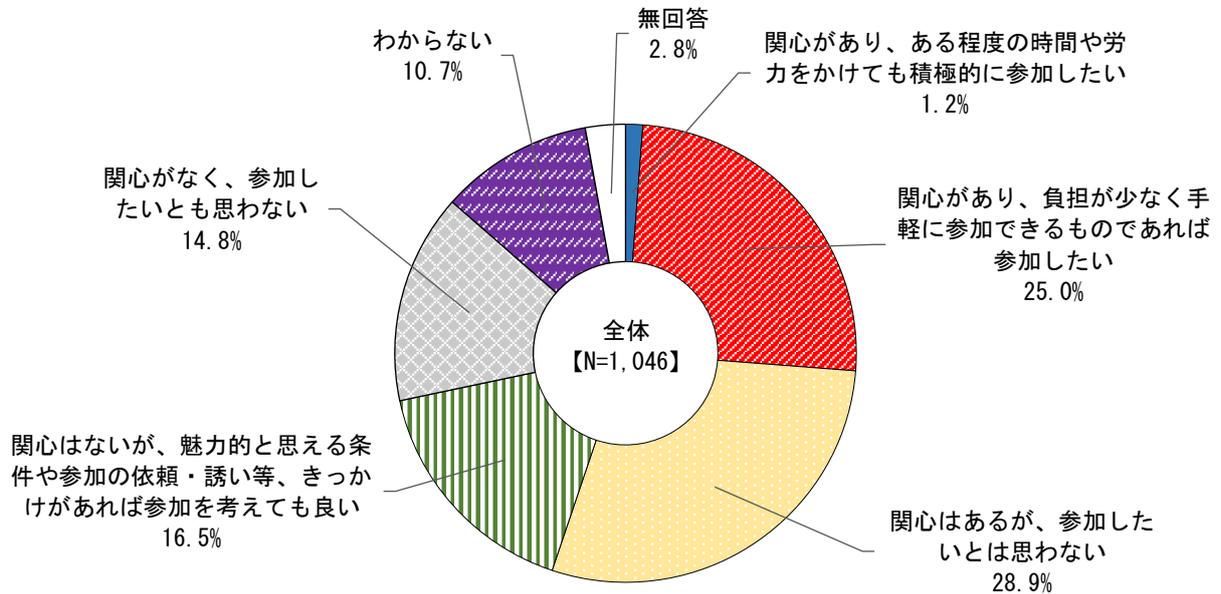
■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い  
■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

	サンプル数	療、健康づくり活動への参加、保健、医療、福祉の増進に関する取組	減リユースやリサイクル、食品ロスの削減など、環境の保全に関する取組	関する取組	子どもの見守り、声かけ、子育てサポートへの参加など、子どもの健全育成に関する取組	承の音楽や演奏等による地域や福祉施設での公演・発表会、伝統文化の保存、継	防災訓練への参加	の市民まちづくり活動団体が行う活動への参加	その他	参加・活動していることはない	無回答
(%)											
全体	1,046	3.5	20.3	5.2	1.9	5.2	9.3	1.1	11.4	2.3	
性別	男性	423	2.1	16.5	4.0	1.4	5.9	11.1	0.7	13.7	1.7
	女性	605	4.6	22.6	6.0	2.3	4.6	8.3	1.3	9.9	2.1
	その他	3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	15	-	26.7	6.7	-	6.7	-	-	6.7	26.7
年代別	18～19歳	3	-	33.3	-	-	33.3	-	33.3	33.3	-
	20～29歳	48	-	18.8	4.2	-	-	4.2	-	14.6	-
	30～39歳	95	3.2	21.1	7.4	2.1	-	6.3	1.1	18.9	2.1
	40～49歳	139	4.3	23.7	8.6	0.7	2.2	5.8	-	18.7	-
	50～59歳	158	2.5	24.7	5.1	1.3	4.4	8.2	1.9	6.3	-
	60～64歳	120	4.2	24.2	3.3	0.8	0.8	3.3	0.8	12.5	0.8
	65～69歳	133	3.8	21.8	3.8	1.5	3.8	4.5	0.8	9.8	0.8
	70歳以上	338	4.1	14.5	4.4	3.6	10.4	17.2	1.2	8.3	5.3
	無回答	12	-	25.0	8.3	-	16.7	-	-	8.3	16.7
居住区別	中央区	125	4.0	19.2	4.0	2.4	6.4	7.2	1.6	14.4	0.8
	北区	157	1.9	14.6	6.4	1.3	1.9	8.3	-	11.5	1.3
	東区	141	2.1	19.9	4.3	1.4	2.1	7.8	2.1	11.3	4.3
	白石区	115	3.5	24.3	7.8	1.7	3.5	7.0	0.9	6.1	1.7
	厚別区	73	6.8	27.4	-	5.5	8.2	12.3	-	13.7	-
	豊平区	102	2.0	22.5	4.9	2.9	4.9	9.8	2.0	9.8	2.0
	清田区	64	3.1	28.1	12.5	1.6	6.3	15.6	1.6	9.4	6.3
	南区	77	1.3	14.3	2.6	-	6.5	10.4	-	15.6	2.6
	西区	103	7.8	17.5	2.9	2.9	8.7	7.8	1.9	11.7	2.9
	手稲区	77	5.2	20.8	6.5	-	6.5	14.3	-	11.7	-
	無回答	12	-	25.0	8.3	-	16.7	-	-	8.3	16.7

## 市政への関心や参加

【問 34】 あなたの市政への関心や参加について、もっともあてはまるもの一つに○をつけてください。

市政への関心や参加については、「関心はあるが、参加したいとは思わない」が 28.9%と最も高く、次いで「関心があり、負担が少なく手軽に参加できるものであれば参加したい」が 25.0%となっている。



### 【対象者全体】

「関心はあるが、参加したいと思わない」が 28.9%と最も高く、次いで、「関心があり、負担が少なく手軽に参加できるものであれば参加したい」が 25.0%、「関心はないが、魅力的と思える条件や参加の依頼・誘い等、きっかけがあれば参加を考えてもいい」が 16.5%、「関心がなく、参加したいとも思わない」が 14.8%、「わからない」が 10.7%、「関心があり、ある程度の時間や労力をかけても積極的に参加したい」が 1.2%となっている。

### 【性別】 ※その他は少数のため参考値とする。

男女とも「関心はあるが、参加したいと思わない」が最も高く、男性 30.0%、女性 28.4%となっている。

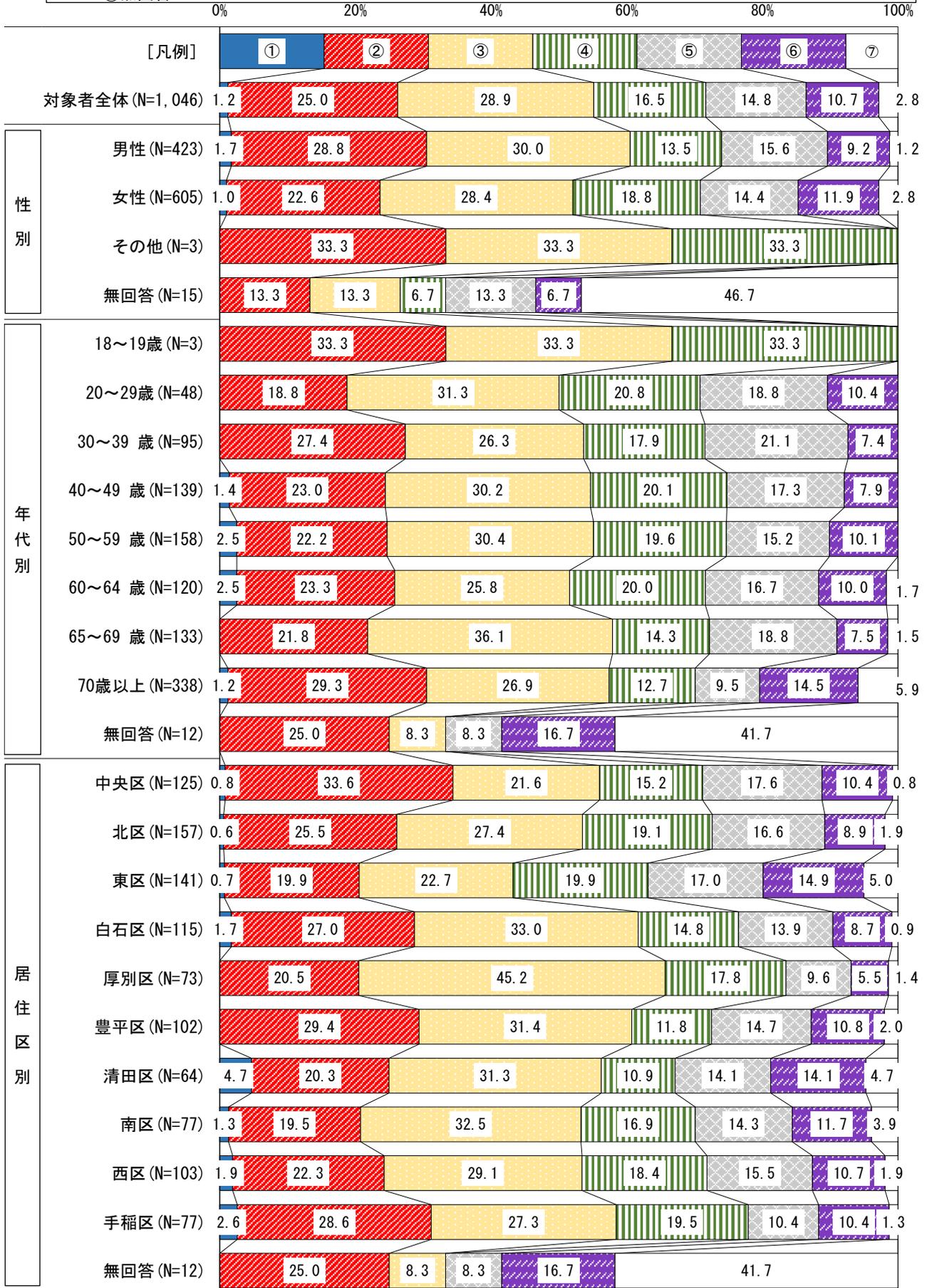
### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

「関心があり、ある程度の時間や労力をかけても積極的に参加したい」と「関心があり、負担が少なく手軽に参加できるものであれば参加したい」を合わせた割合は、70歳代以上で 30.5%と最も高く、20歳代で 18.8%と最も低い。

### 【居住区別】

「関心があり、ある程度の時間や労力をかけても積極的に参加したい」と「関心があり、負担が少なく手軽に参加できるものであれば参加したい」を合わせた割合は、中央区で 34.4%と最も高く、厚別区では 20.5%と最も低い。

- ①関心があり、ある程度の時間や労力をかけても積極的に参加したい
- ②関心があり、負担が少なく手軽に参加できるものであれば参加したい
- ③関心はあるが、参加したいとは思わない
- ④関心はないが、魅力的と思える条件や参加の依頼・誘い等、きっかけがあれば参加を考えても良い
- ⑤関心がなく、参加したいとも思わない
- ⑥わからない
- ⑦無回答

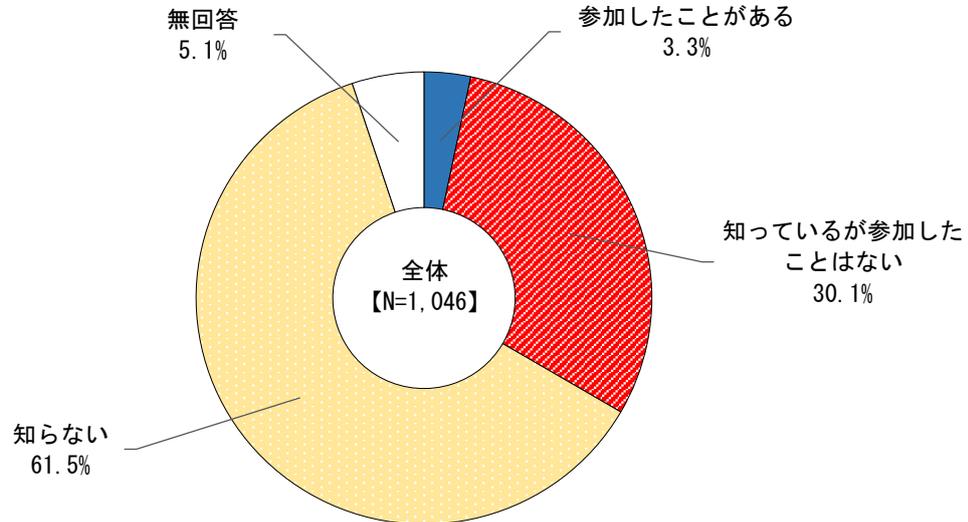


## 市民参加の機会

【問 35】札幌市が設けている市民参加の機会※について、それぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。

(1) あなたは、説明会・意見交換会に参加したことがありますか。

説明会・意見交換会への参加については、「知らない」が61.5%となっている。



### 【対象者全体】

「知らない」が61.5%と最も高くなっている。次いで、「知っているが参加したことはない」が30.1%、「参加したことがある」が3.3%となっている。

### 【性別】 ※その他は少数のため参考値とする。

男女ともに「知らない」が最も高く、男性が58.2%、女性が64.3%となっている。

### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

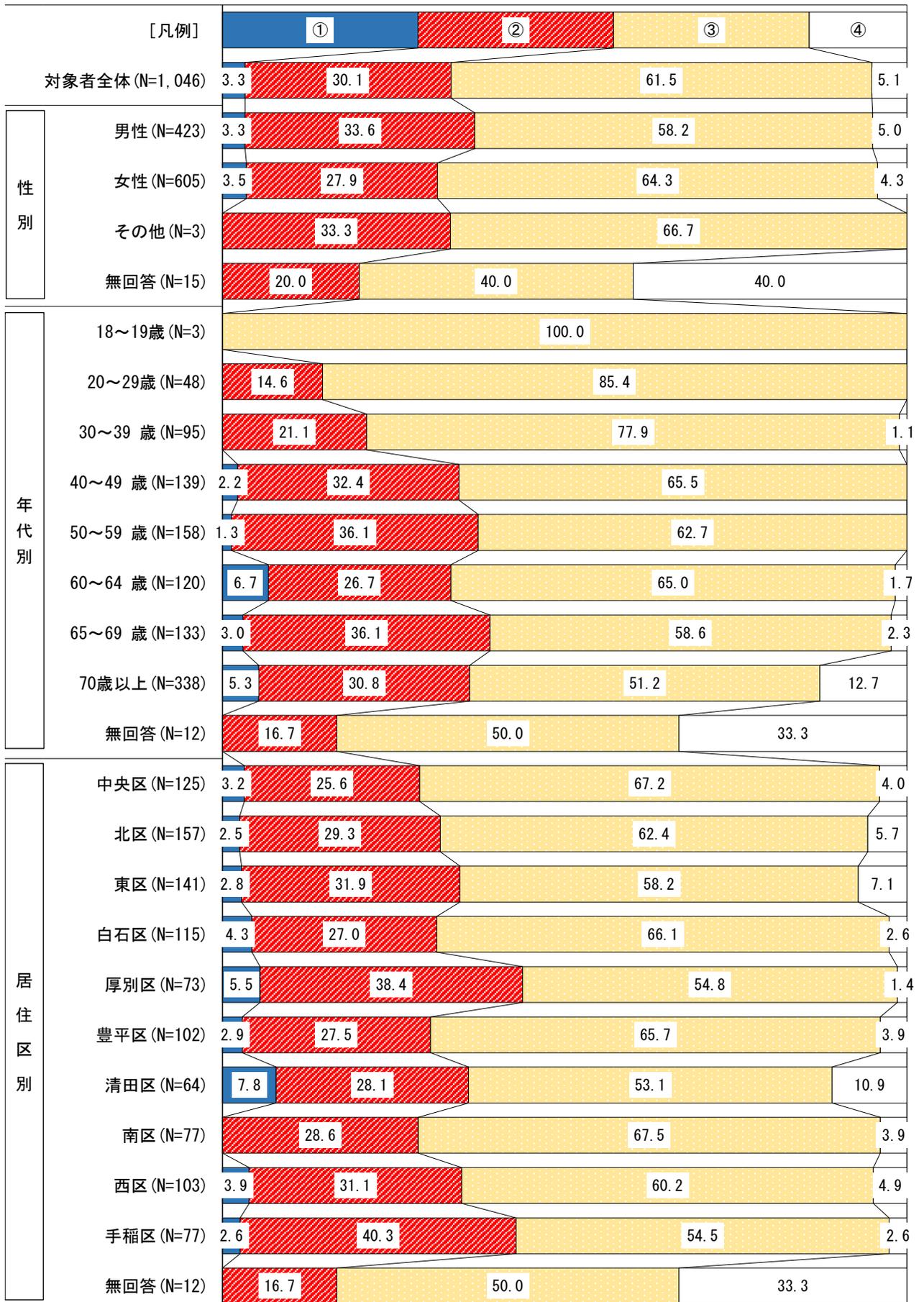
「知らない」は20歳代で85.4%と最も高くなっている。70歳以上では51.2%と最も低く、20歳代に比べ34.2ポイントの差となっている。

### 【居住区別】

居住区による大きな差は少ないが、「参加したことがある」は清田区が7.8%と最も高く、南区が0.0%と最も低くなっている。

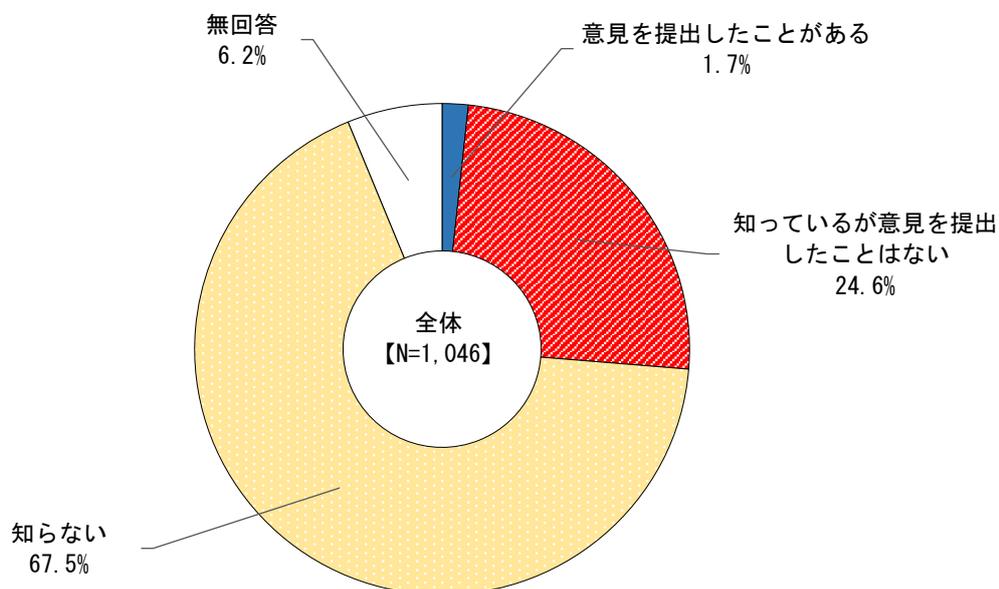
■①参加したことがある    ■②知っているが参加したことはない    □③知らない    □④無回答

0%      20%      40%      60%      80%      100%



(2) あなたは、パブリックコメントに意見を提出したことがありますか。

パブリックコメントの提出については、「知らない」が67.5%となっている。



**【対象者全体】**

「知らない」が67.5%と最も高くなっている。次いで、「知っているが意見を提出したことはない」が24.6%、「意見を提出したことがある」が1.7%となっている。

**【性別】** ※その他は少数のため参考値とする。

男女ともに「知らない」が最も高く、男性が62.2%、女性が71.9%となっている。男性では「知っているが意見を提出したことはない」が31.0%と、女性（20.5%）よりも10.5ポイント高くなっている。

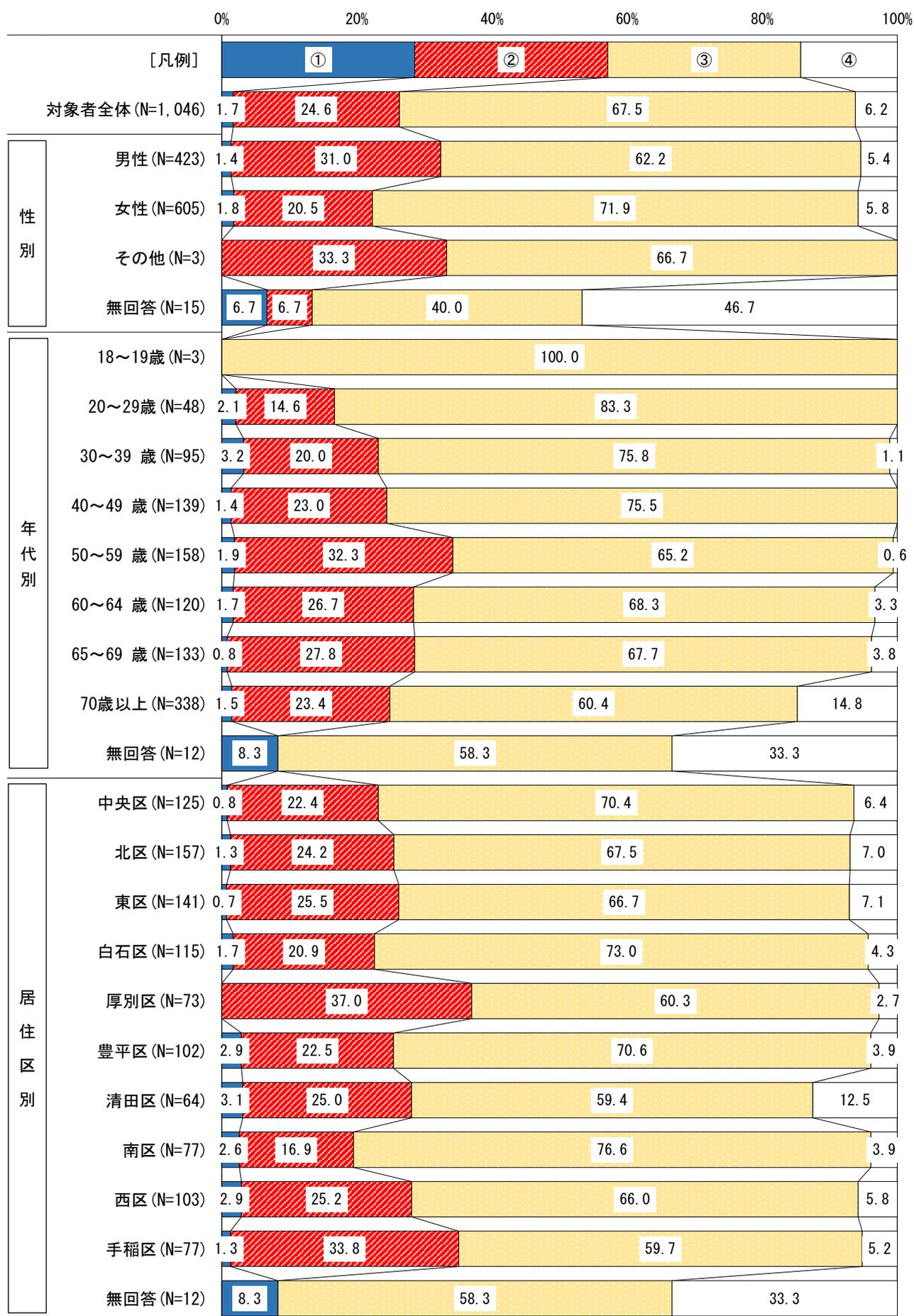
**【年代別】**

「知らない」は20歳代で83.3%と最も高くなっている。

**【居住区別】**

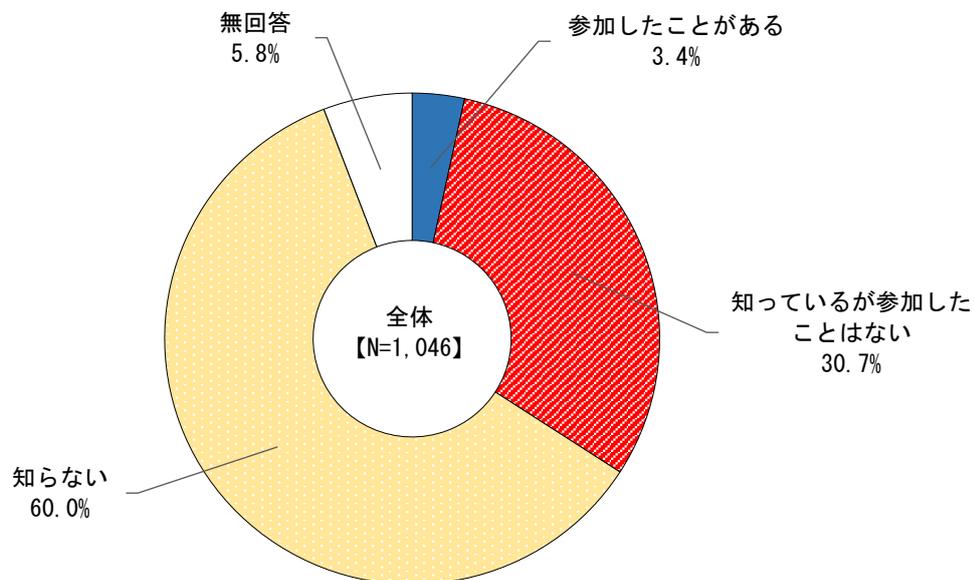
「知っているが意見を提出したことはない」は、厚別区では27.0%と全体に比べて高く、南区では16.9%と最も低い。

■①意見を提出したことがある ■②知っているが意見を提出したことはない □③知らない □④無回答



(3) あなたは、シンポジウム・フォーラムに参加したことがありますか。

シンポジウム・フォーラムの参加については、「知らない」が60.0%となっている。



【対象者全体】

「知らない」が60.0%と最も高くなっている。次いで、「知っているが参加したことはない」が30.7%、「参加したことがある」が3.4%となっている。

【性別】 ※その他は少数のため参考値とする。

男女ともに「知らない」が最も高く、男性が58.2%、女性が62.0%となっている。

【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

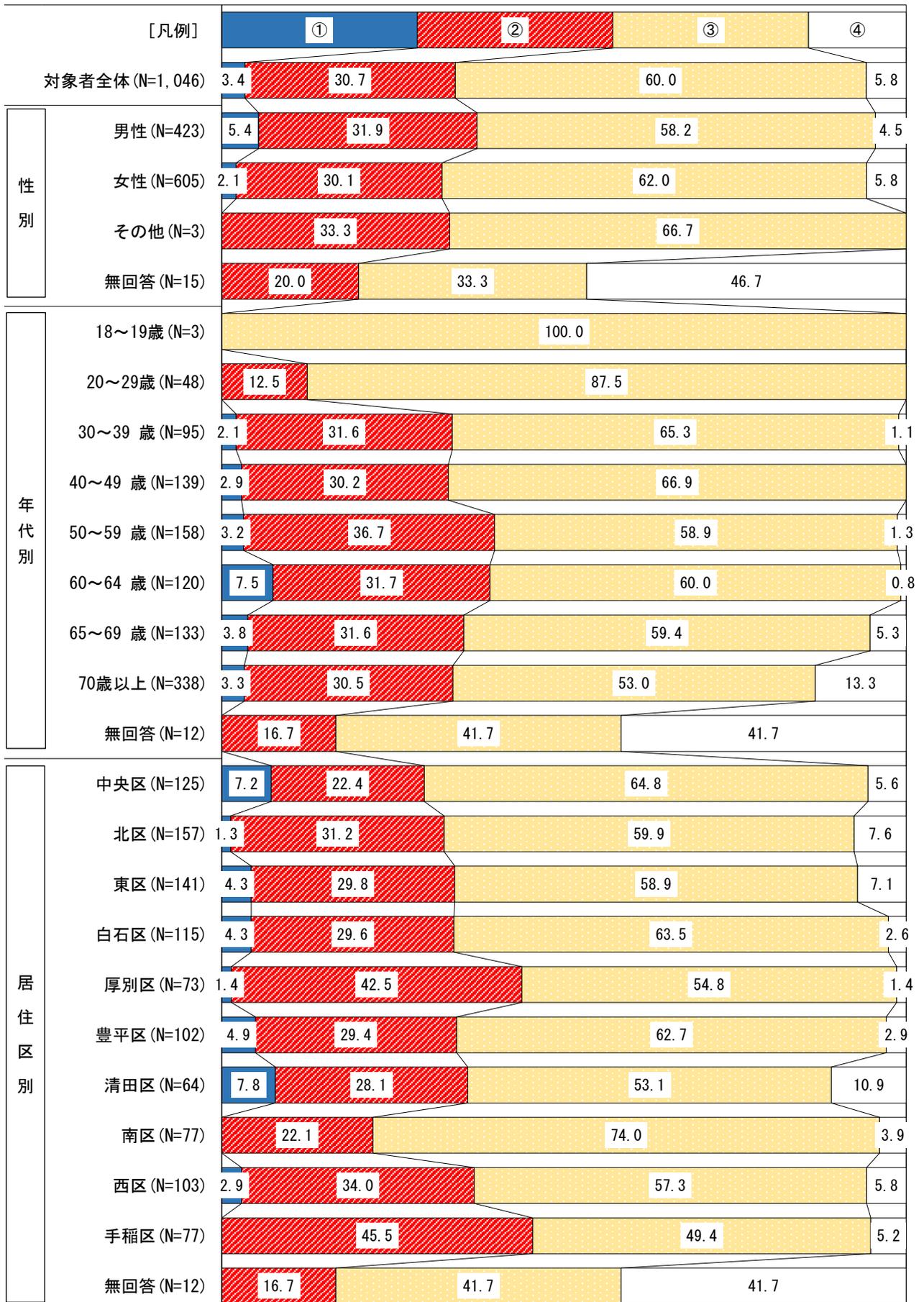
「知っているが参加したことはない」は50歳代で36.7%と最も高く、20歳代で12.5%と最も低い。

【居住区別】

「参加したことがある」は清田区で7.8%と最も高く、南区、手稲区では0.0%と最も低い。

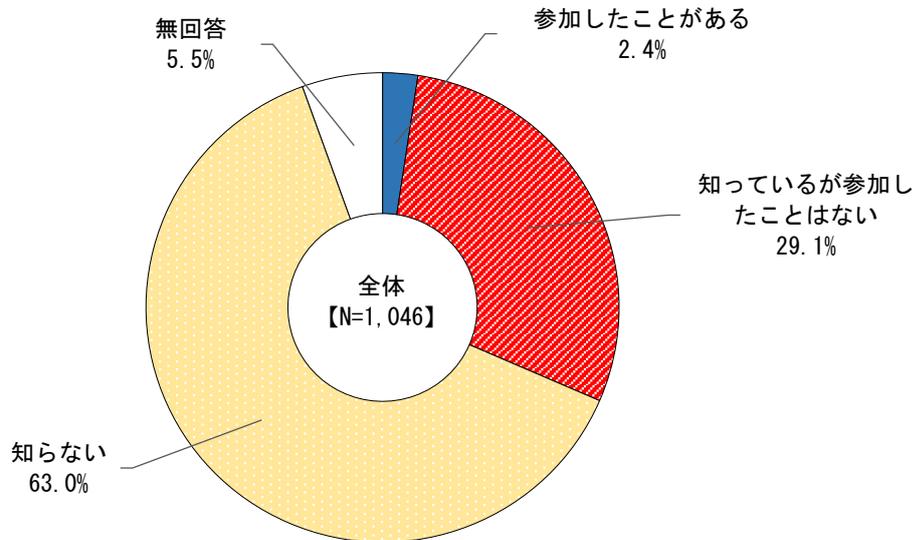
■①参加したことがある    ■②知っているが参加したことはない    □③知らない    □④無回答

0%      20%      40%      60%      80%      100%



(4) あなたは、ワークショップに参加したことがありますか。

ワークショップの参加については、「知らない」が63.0%となっている。



**【対象者全体】**

「知らない」が63.0%と最も高くなっている。次いで、「知っているが参加したことはない」が29.1%、「参加したことがある」が2.4%となっている。

**【性別】 ※その他は少数のため参考値とする。**

男女ともに「知らない」が最も高く、男性では65.5%、女性では62.0%となっている。

**【年代別】**

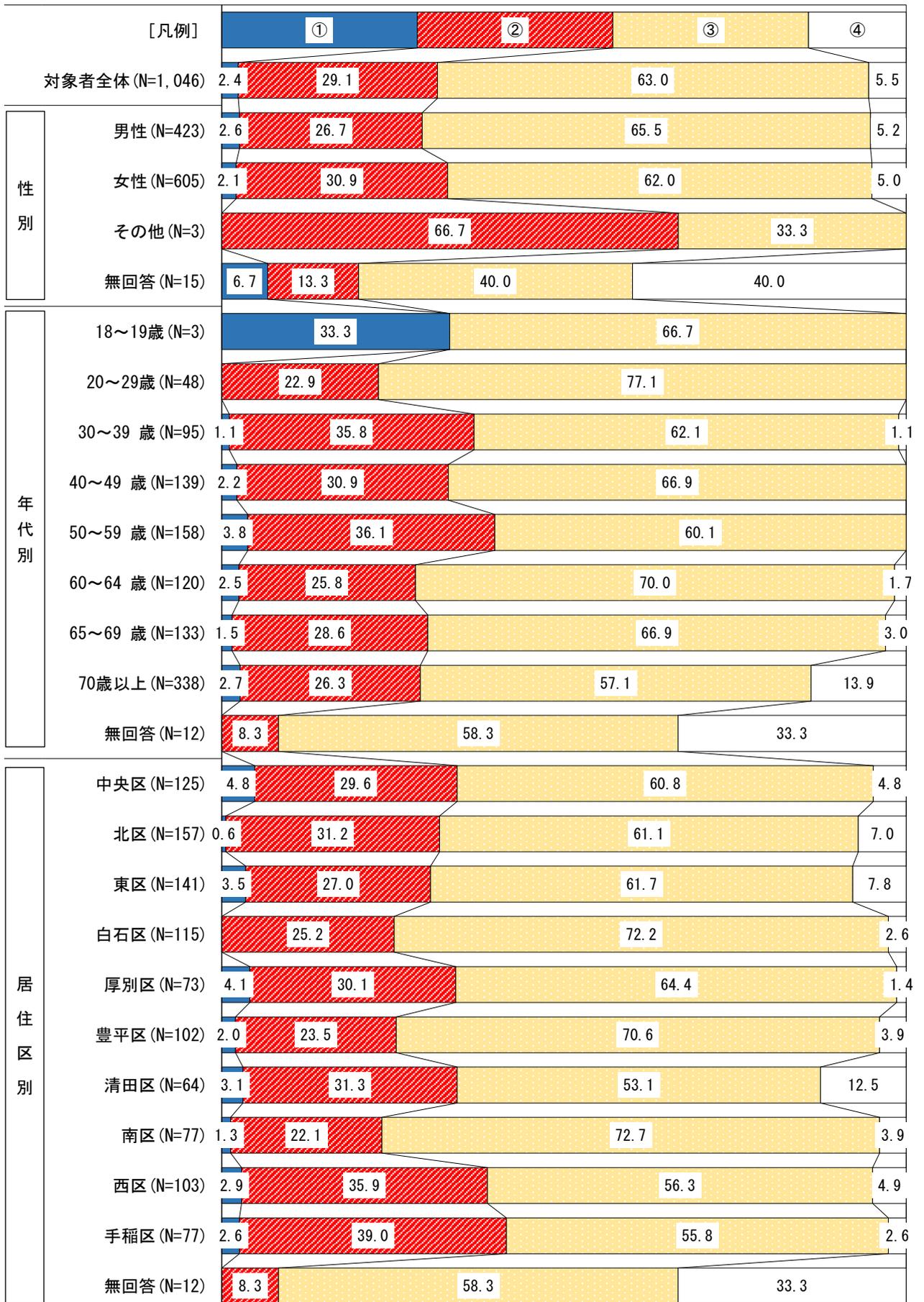
「知っているが参加したことはない」は50歳代で36.1%と最も高く、20歳代で22.9%と最も低い。

**【居住区別】**

「知っているが参加したことはない」は手稲区では39.0%と最も高く、南区では22.1%と最も低い。

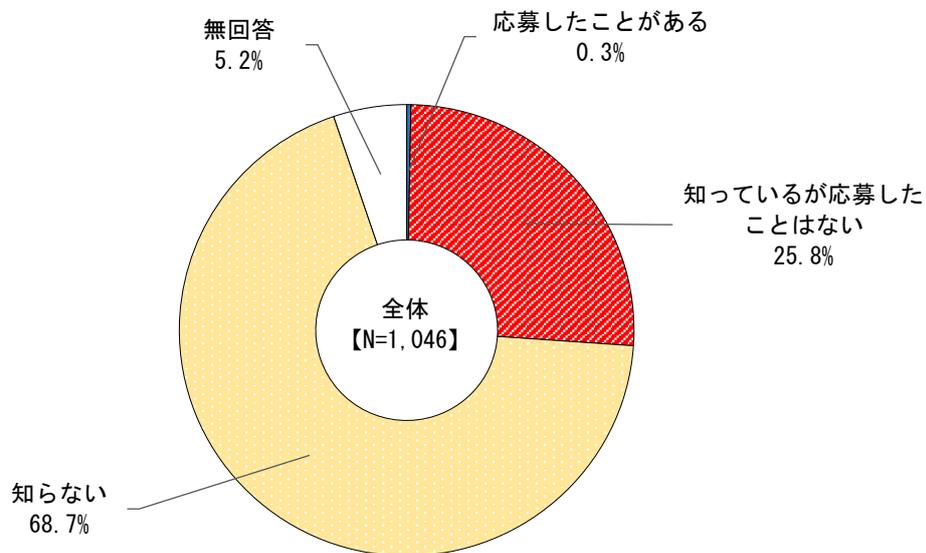
■①参加したことがある    ■②知っているが参加したことはない    □③知らない    □④無回答

0%      20%      40%      60%      80%      100%



(5) あなたは、審議会などにおける市民委員の公募に応募したことがありますか。

市民参加の公募については、「知らない」が68.7%となっている。



**【対象者全体】**

「知らない」が68.7%と最も高くなっている。次いで、「知っているが応募したことはない」が25.8%、「応募したことがある」が0.3%となっている。

**【性別】** ※その他は少数のため参考値とする。

男女ともに「知らない」が最も高く、大きな差は見られない。

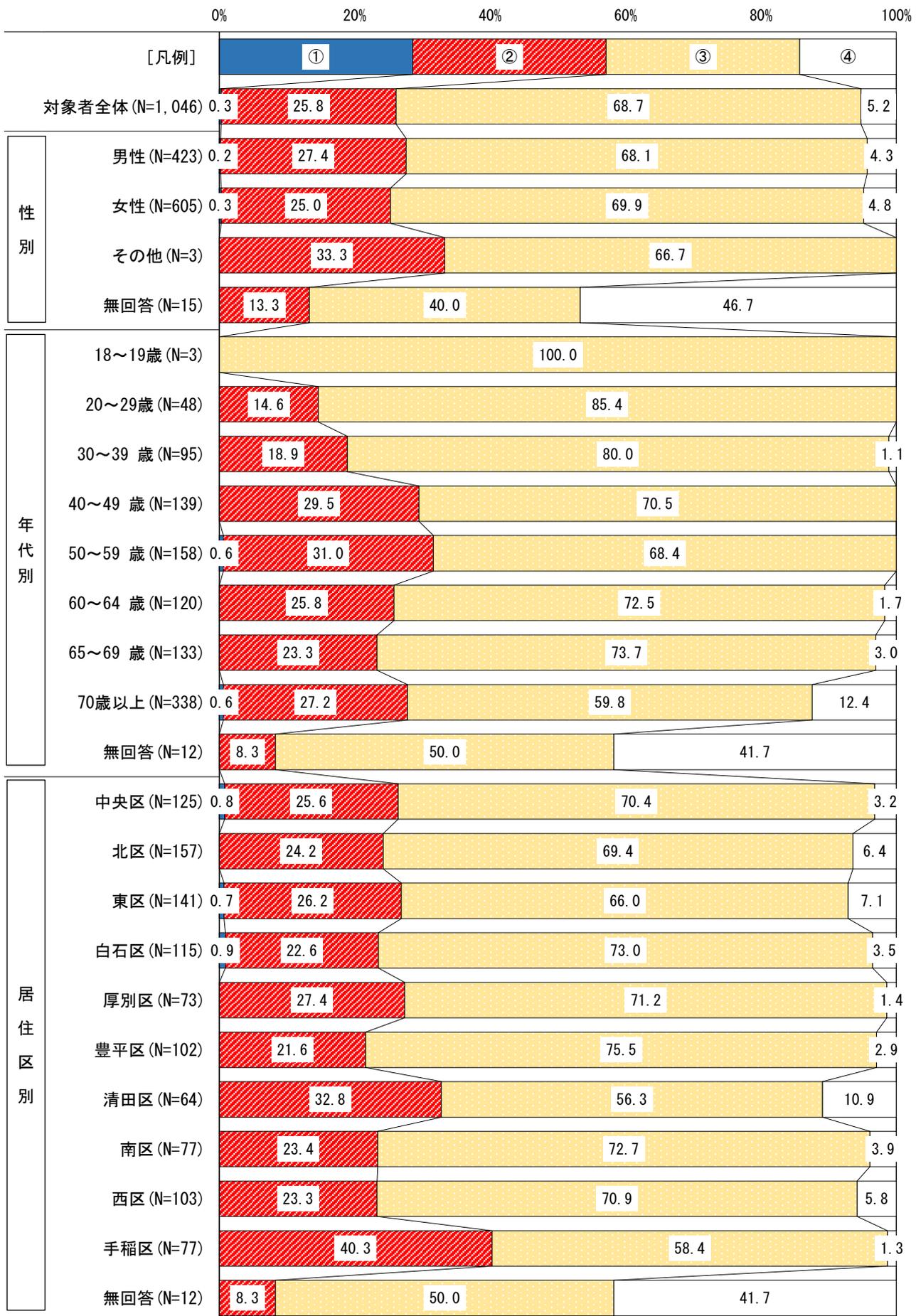
**【年代別】** ※その他は少数のため参考値とする。

「知っているが応募したことはない」は、50歳代で31.0%と最も高く、20歳代で14.6%と最も低い。

**【居住区別】**

「知っているが応募したことはない」は、手稲区で40.3%と特に高くなっている。

■①応募したことがある    ■②知っているが応募したことはない    □③知らない    □④無回答



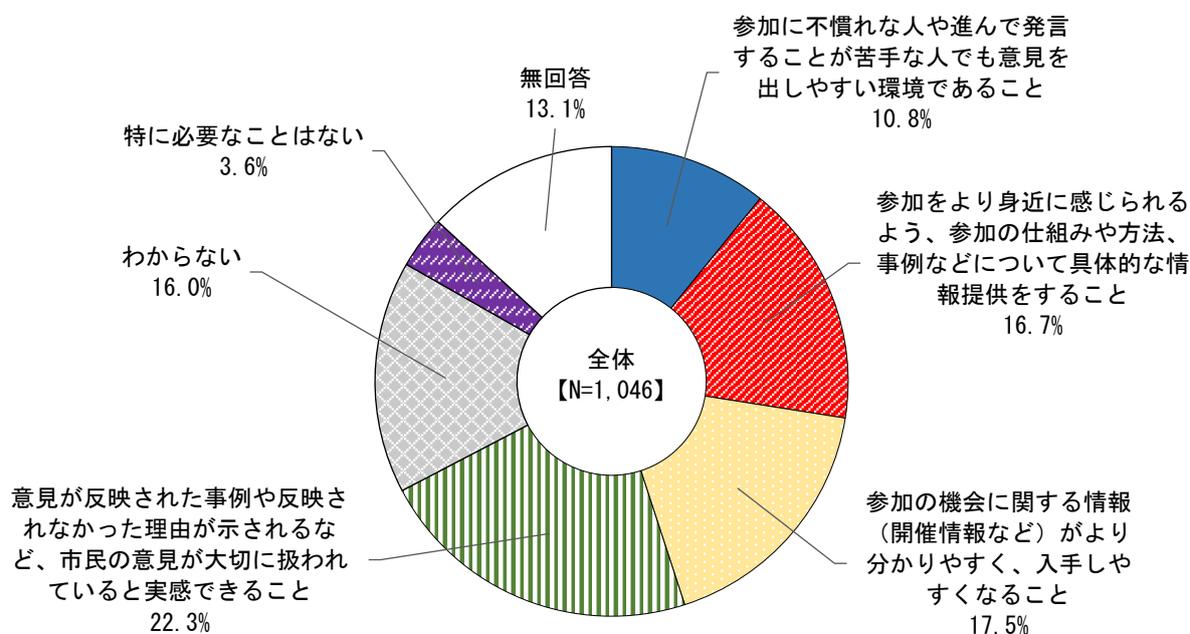
※(参考)札幌市が設けている市民参加の機会

説明会・意見交換会	皆様に集まっていただき、市民と市が直接向き合って、説明や意見交換を行うもの
パブリックコメント	市が作成した施策に関する素案をホームページや冊子などで公表し、皆様から意見をいただくもの
シンポジウム・フォーラム	大勢の出席者が参加して行う公開での討論を行うもの
ワークショップ	皆様に集まっていただき少人数のグループで話し合い、意見や提案をまとめるもの
審議会	学識経験者や地域住民、公募市民などから構成される委員が、議論や検討を行うもの

## 市政への参加しやすさに必要な事柄

【問 36】あなたは、今後、より多くの市民が市政に参加しやすくなるためには、どのようなことが必要であると思いますか。もっともあてはまるもの一つに○をつけてください。

市政への参加しやすさに必要な事柄については、「意見が反映された事例や反映されなかった理由が示されるなど、市民の意見が大切に扱われていると実感できること」が 22.3%、「参加の機会に関する情報(開催情報など)がより分かりやすく、入手しやすくなること」が 17.5%となっている。



### 【対象者全体】

「意見が反映された事例や反映されなかった理由が示されるなど、市民の意見が大切に扱われていると実感できること」が 22.3%と最も高くなっている。次いで、参加の機会に関する情報がより分かりやすく、入手しやすくなること」が 17.5%、「参加をより身近に感じられるよう、参加の仕組みや方法、事例などについて具体的な情報提供をすること」が 16.7%、「わからない」が 16.0%、「参加に不慣れな人や進んで発言することが苦手な人でも意見を出しやすい環境であること」が 10.8%、「特に必要なことはない」が 3.6%となっている。

### 【性別】 ※その他は少数のため参考値とする。

男女ともに「意見が反映された事例や反映されなかった理由が示されるなど、市民の意見が大切に扱われていると実感できること」が最も高く、男性が 21.7%、女性が 23.0%となっている。

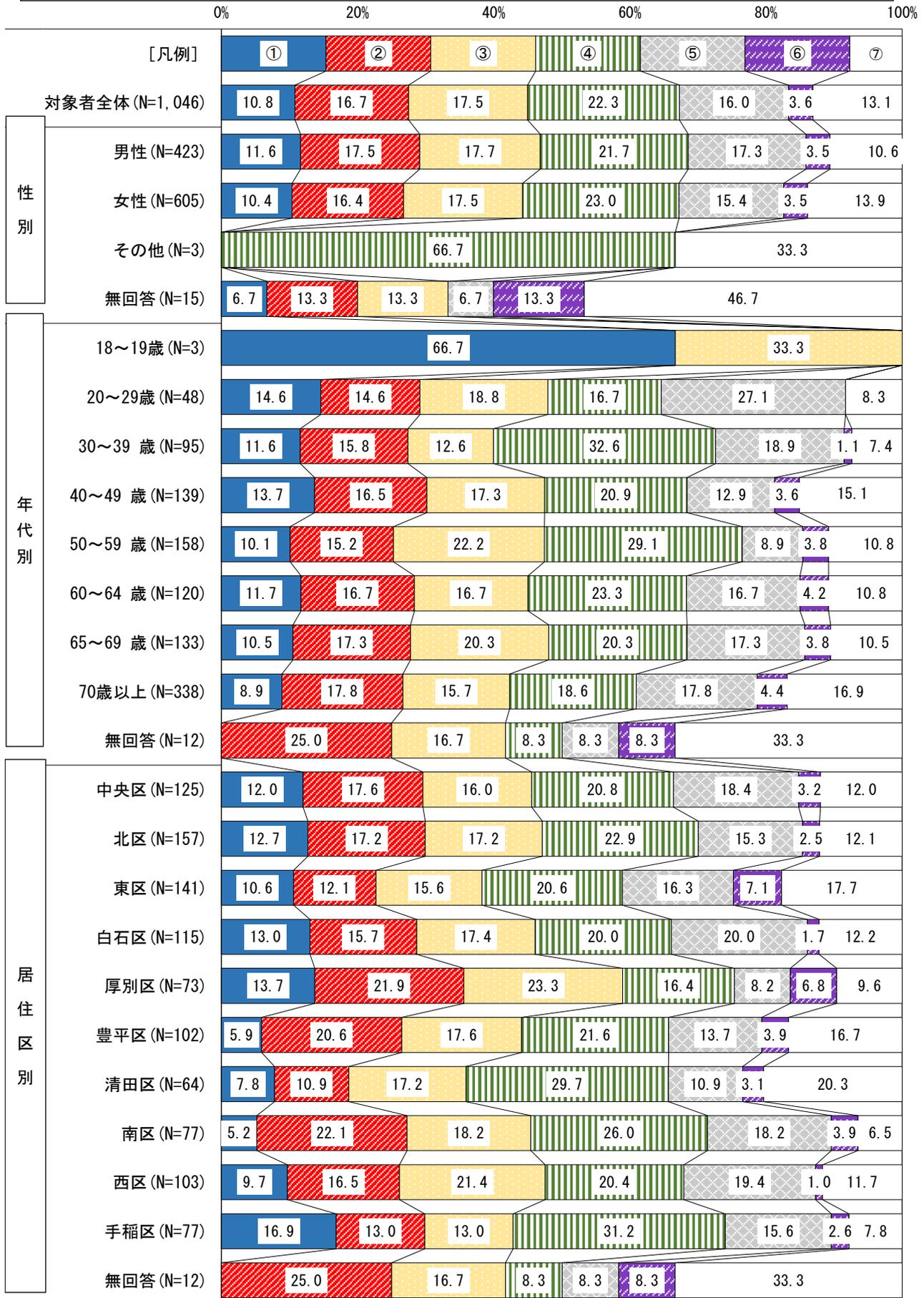
### 【年代別】

「意見が反映された事例や反映されなかった理由が示されるなど、市民の意見が大切に扱われていると実感できること」は 30 歳代で 32.6%と最も高く、20 歳代で 16.7%と最も低い。

### 【居住区別】

厚別区、西区を除いて、「意見が反映された事例や反映されなかった理由など市民の意見が大切に扱われていると実感できること」が最も高く、白石区では同率で「わからない」が最も高くなっている。厚別区、西区では「参加の機会に関する情報がより分かりやすく、入手しやすくなること」が最も高くなっている。

- ①参加に不慣れな人や進んで発言することが苦手な人でも意見を出しやすい環境であること
- ②参加をより身近に感じられるよう、参加の仕組みや方法、事例などについて具体的な情報提供をすること
- ③参加の機会に関する情報（開催情報など）がより分かりやすく、入手しやすくなること
- ④意見が反映された事例や反映されなかった理由が示されるなど、市民の意見が大切に扱われていると実感できること
- ⑤わからない
- ⑥特に必要なことはない
- ⑦無回答

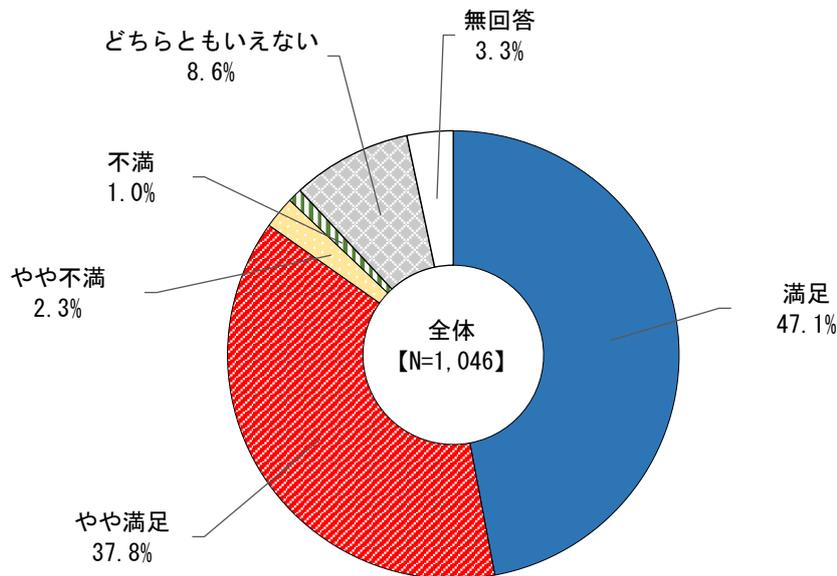


## 札幌の水道

【問 37】札幌の水道についてお聞きします。各項目にお答えください。また、「3. やや不満」「4. 不満」に○をつけた方は具体的な理由もお答えください。

(1)あなたは、水道局が施設・水道管の適切な更新などを実施し、水道水を安定してお届けしていることについて、どのくらい満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

水道水の安定供給については、「満足」(47.1%)と「やや満足」(37.8%)を合わせた割合が84.9%となっている。



### 【対象者全体】

「満足」が47.1%と最も高くなっている。次いで「やや満足」が37.8%、「どちらともいえない」が8.6%、「やや不満」が2.3%、「不満」が1.0%となっている。

### 【性別】 ※その他は少数のため参考値とする。

男女ともに「満足」が最も高くなっており、男性は45.2%、女性は48.8%である。

### 【年代別】

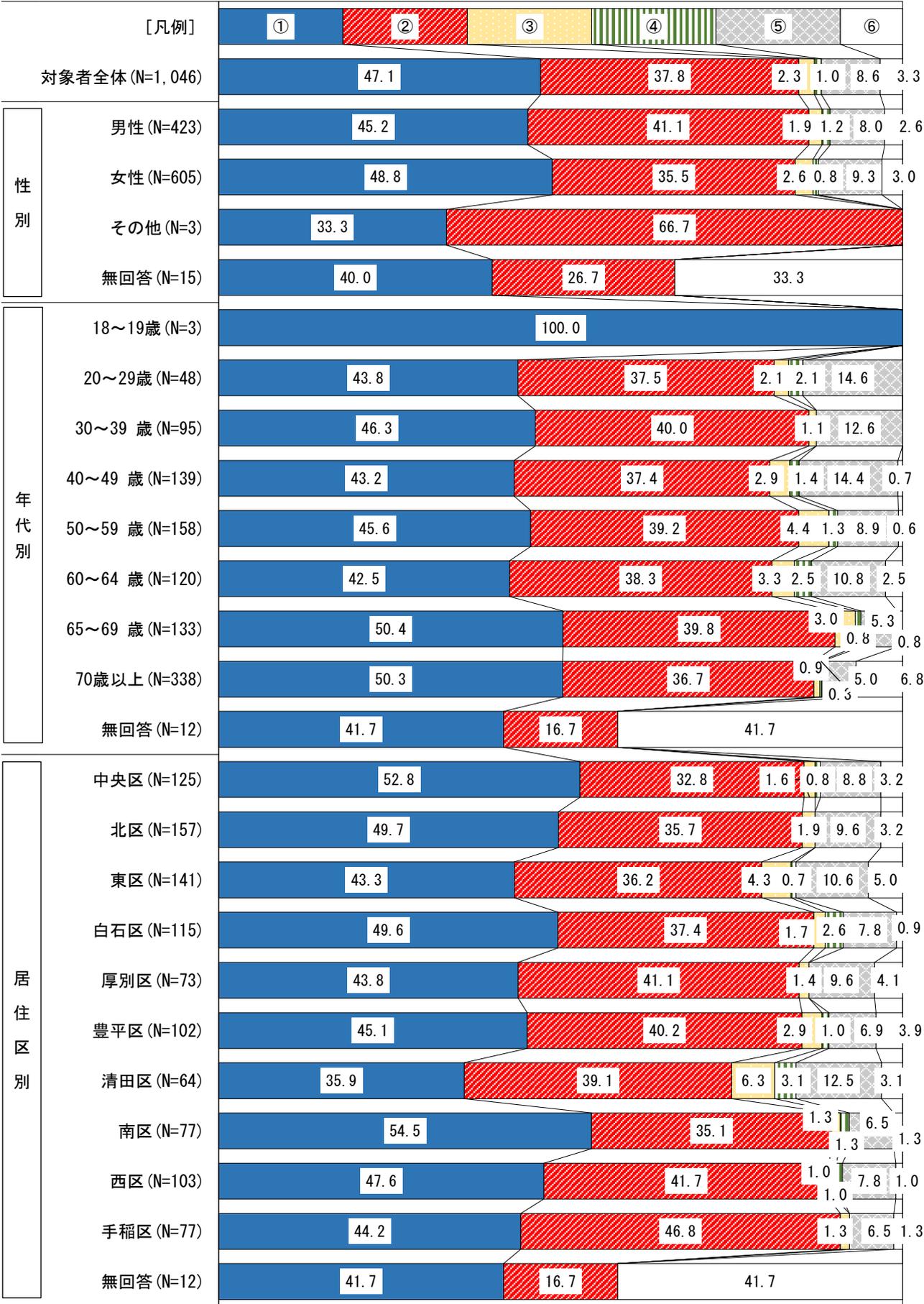
全ての年代において「満足」が最も高くなっており、年代による差は特にみられない。

### 【居住区別】

「満足」は南区で54.5%と最も高く、清田区で35.9%と最も低くなっている。

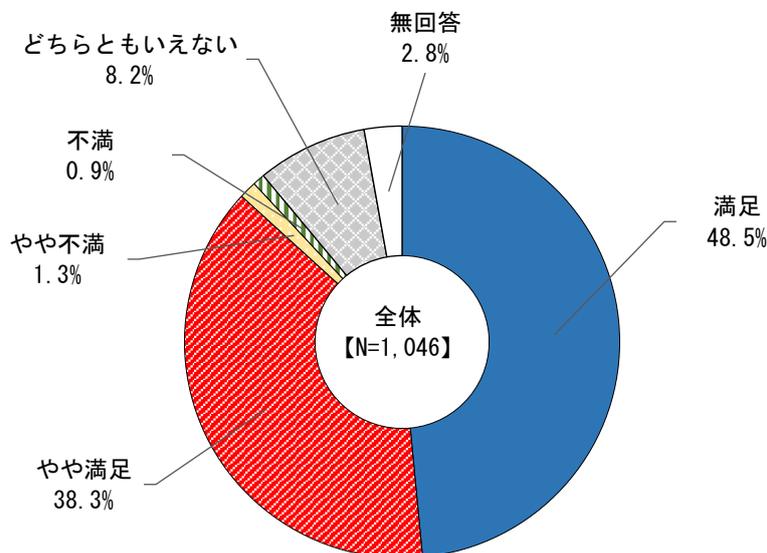


0%   20%   40%   60%   80%   100%



(2) あなたは、水道局が水源の保全や水質監視・管理などに取り組み、安全で良質な水道水をお届けしていることについて、どのくらい満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

安全で良質な水道水の供給については、「満足」(48.5%)と「やや満足」(38.3%)を合わせた割合が86.8%となっている。



**【対象者全体】**

「満足」が48.5%、「やや満足」が38.3%、「どちらともいえない」が8.2%、「やや不満」が1.3%、「不満」が0.9%となっている。

**【性別】** ※その他は少数のため参考値とする。

男女ともに「満足」が最も高く、男性が45.6%、女性が50.7%となっている。

**【年代別】**

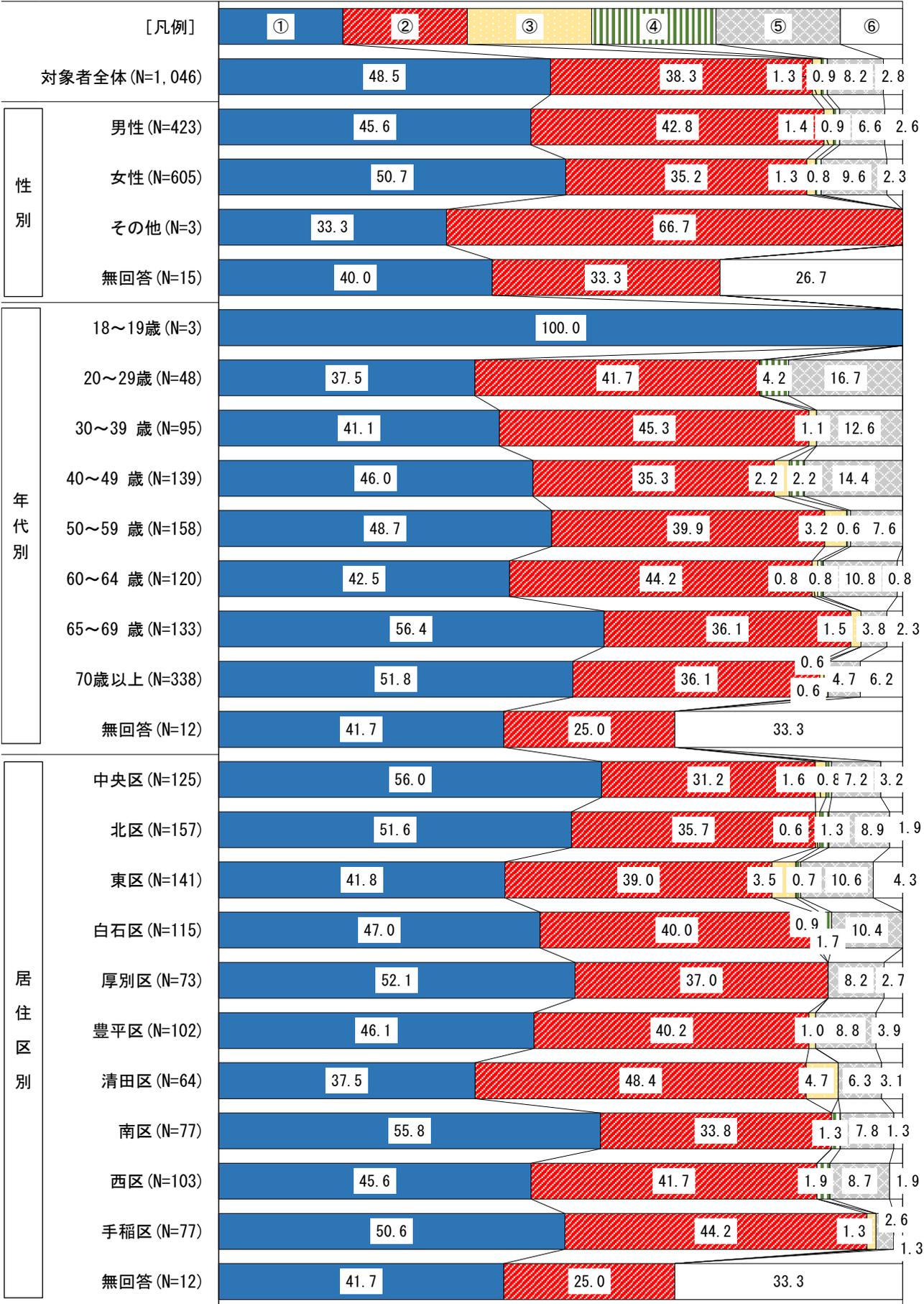
すべての年代で「満足」と「やや満足」を合わせた割合が80%前後と高くなっている。

**【居住区別】**

「満足」は中央区で56.0%と最も高く、清田区で37.5%と最も低くなっている。

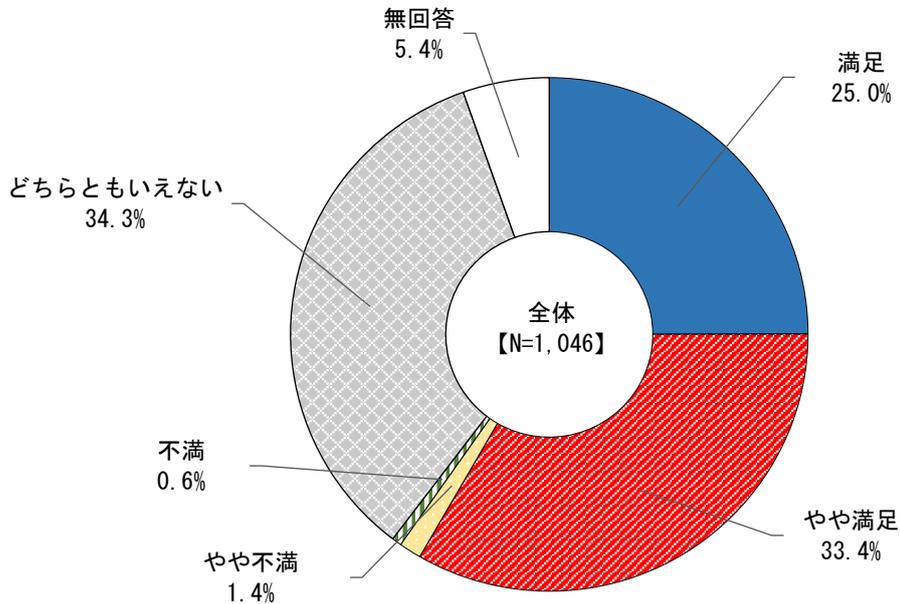


0% 20% 40% 60% 80% 100%



(3) あなたは、水道局電話受付センターでの対応や、水道事業についての広報活動など、水道局が行っているお客さまサービスについて、どのくらい満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

お客様サービスについては、「満足」(25.0%)と「やや満足」(33.4%)を合わせた割合が58.4%となっている。



**【対象者全体】**

「どちらともいえない」が34.3%と最も高くなっている。次いで、「やや満足」が33.4%、「満足」が25.0%、「やや不満」が1.4%、「不満」が0.6%となっている。

**【性別】** ※その他は少数のため参考値とする。

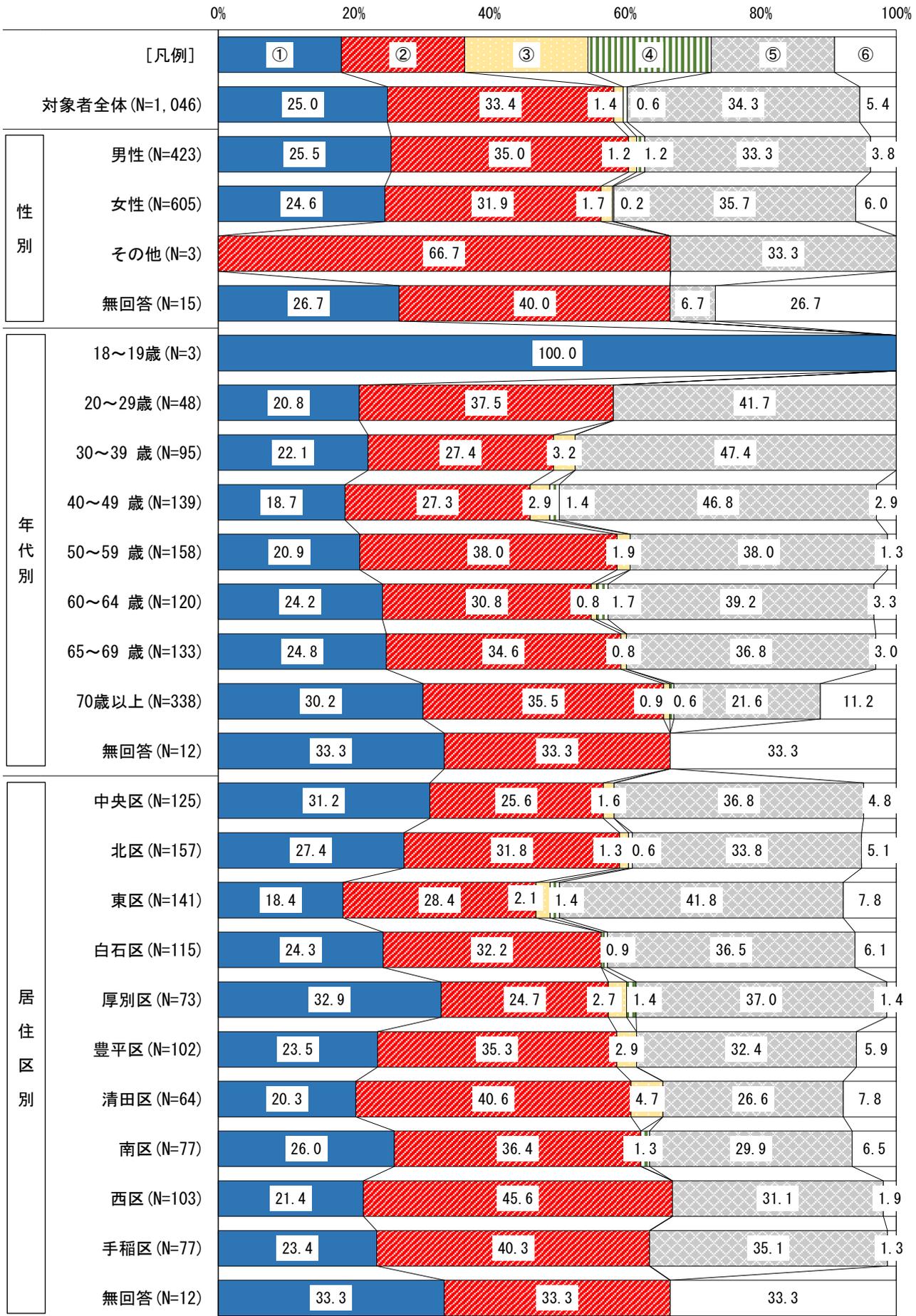
男性では「やや満足」が最も高く、35.0%となっている。女性では「どちらともいえない」が最も高く、35.7%となっている。

**【年代別】**

「満足」が70歳以上で30.2%と最も高く、40歳代で18.7%と最も低い。

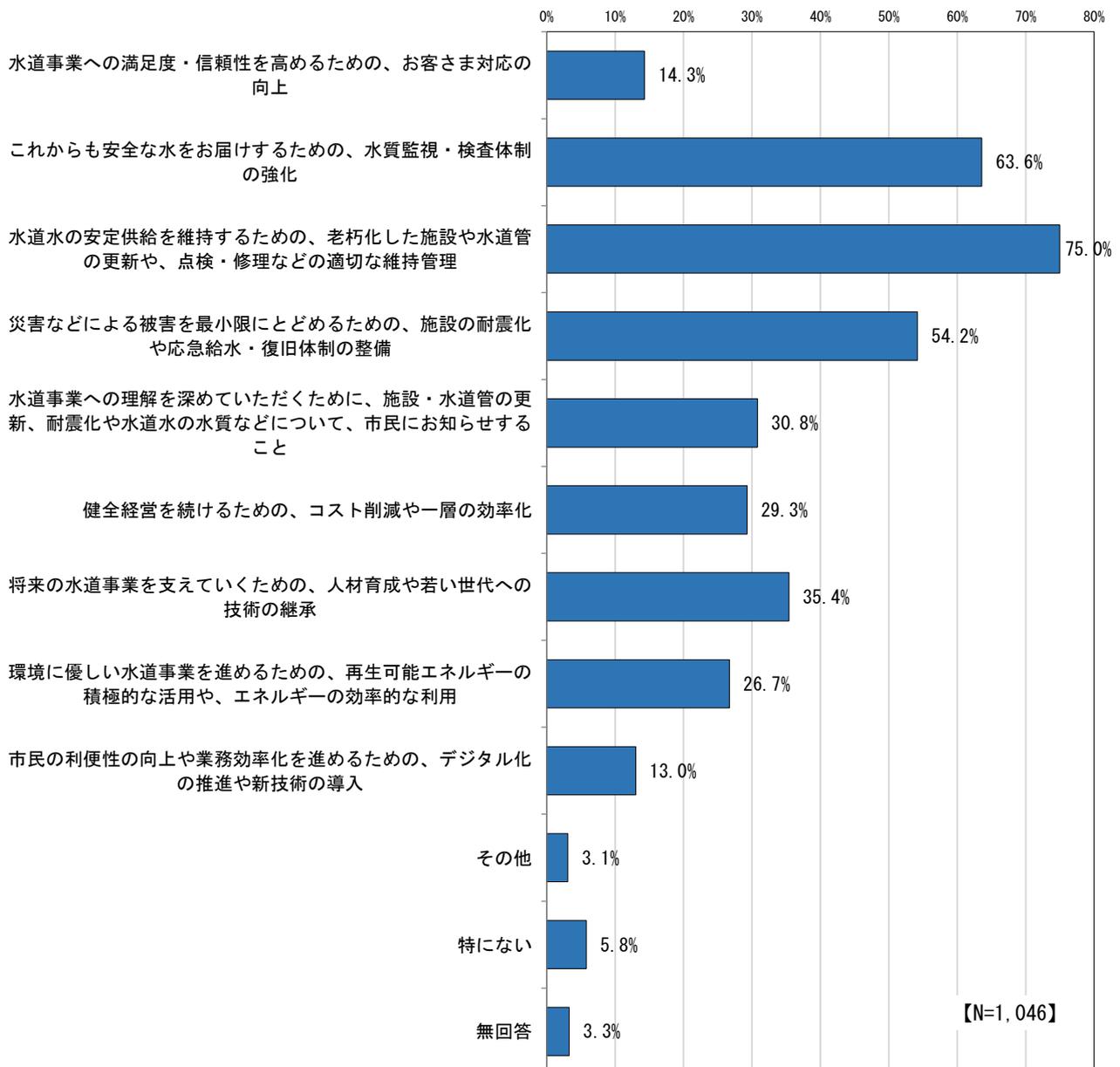
**【居住区別】**

「満足」と「やや満足」を合わせた割合が西区で67.0%と最も高く、東区で46.8%と最も低い。



(4) あなたが、札幌の水道に関して、今後、一層力を入れるべきだと思う取組は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

水道に関する取り組みについては、「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新や、点検・修理などの適切な維持管理」が75.0%と最も高くなっている。次いで、「これからも安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化」が63.6%となっている。



#### 【対象者全体】

「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新や、点検・修理などの適切な維持管理」が75.0%と最も高い。次いで「これからも安全な水をお届けするための、水質監視・検身体制の強化」が63.6%、「災害などによる被害を最小限にとどめるための、施設の耐震化や応急給水・復旧体制の整備」が54.2%である。

#### 【性別】 ※その他は少数のため参考値とする。

男女ともに「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新や、点検・修理などの適切な維持管理」が最も高く、男性は78.3%、女性は73.2%となっている。男性では「健全経営を続けるための、コスト削減や一層の効率化」(34.5%)や「市民の利便性の向上や業務効率化を進めるための、デジタル化の推進や新技術の導入」(16.3%)、女性では「災害などによる被害を最小限にとどめるための、施設の耐震化や応急給水・復旧体制の整備」(57.0%)、「環境に優しい水道事業を進めるための、再生可能エネルギーの積極的な活用や、エネルギーの効率的な利用」(28.9%)が、それぞれ異性よりも5ポイント以上高くなっている。

#### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

「将来の水道事業を支えていくための、人材育成や若い世代への技術の継承」、「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新や、点検・修理などの適切な維持管理」など、多くの項目で20歳代では全体よりも低い傾向となっている。「災害などによる被害を最小限にとどめるための、施設の耐震化や応急給水・復旧体制の整備」は30歳代で66.3%と、特に高くなっている。

#### 【居住区別】

全居住区で「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新や、点検・修理などの適切な維持管理」が最も高く、手稲区では85.7%と特に高くなっている。

		回答者数	水道事業への満足度・信頼性を高めるための、お客さま対応の向上	これからも安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化	水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新や、検・修理などの適切な維持管理	水道水の安定供給を維持するための、復旧体制の整備	災害などによる被害を最小限にとどめるための、施設の耐震化や応急給水・復旧体制の整備	水道事業への理解を深めていただくために、施設・水道管の更新、耐震化や水道水の水質などについて、市民に知らせること	健全経営を続けるための、コスト削減や一層の効率化	将来の水道事業を支えていくための、人材育成や若い世代への技術の継承	環境に優しい水道事業を進めるための、再生可能エネルギーの積極的な活用や、エネルギーの効率的な利用	市民の利便性の向上や業務効率化を進めるための、デジタル化の推進や新技術の導入	その他	特になし	無回答
		(%)													
全体		1,046	14.3	63.6	75.0	54.2	30.8	29.3	35.4	26.7	13.0	3.1	5.8	3.3	
性別	男性	423	14.9	64.3	78.3	51.1	31.0	34.5	35.9	23.9	16.3	3.1	6.1	2.8	
	女性	605	13.9	63.3	73.2	57.0	31.2	25.8	35.4	28.9	10.9	3.0	5.6	3.0	
	その他	3	33.3	66.7	66.7	66.7	-	33.3	-	33.3	-	33.3	33.3	-	
	無回答	15	13.3	53.3	60.0	26.7	13.3	26.7	26.7	13.3	6.7	-	-	33.3	
年代別	18～19歳	3	-	66.7	100.0	66.7	33.3	66.7	33.3	66.7	-	-	-	-	
	20～29歳	48	12.5	47.9	54.2	43.8	14.6	29.2	22.9	12.5	8.3	-	22.9	-	
	30～39歳	95	18.9	67.4	73.7	66.3	23.2	24.2	25.3	23.2	16.8	2.1	5.3	1.1	
	40～49歳	139	17.3	67.6	74.1	63.3	28.1	28.1	35.3	25.2	15.8	5.0	7.2	0.7	
	50～59歳	158	14.6	62.0	72.2	56.3	30.4	30.4	38.6	32.9	11.4	5.7	5.7	0.6	
	60～64歳	120	10.8	62.5	77.5	51.7	27.5	28.3	30.8	23.3	7.5	1.7	4.2	1.7	
	65～69歳	133	9.0	68.4	82.0	48.1	30.1	27.8	34.6	23.3	8.3	3.0	5.3	1.5	
	70歳以上	338	15.7	62.7	76.9	51.5	38.8	31.7	40.8	29.9	16.3	2.4	4.1	6.8	
	無回答	12	8.3	50.0	58.3	33.3	8.3	25.0	25.0	16.7	8.3	-	-	41.7	
居住区別	中央区	125	14.4	62.4	75.2	55.2	27.2	27.2	36.8	28.0	12.0	4.0	7.2	3.2	
	北区	157	11.5	70.7	70.1	58.0	26.1	29.9	31.8	26.1	13.4	4.5	3.2	1.9	
	東区	141	14.9	61.0	73.0	53.9	33.3	31.2	29.1	24.1	7.8	3.5	9.2	2.8	
	白石区	115	23.5	65.2	71.3	57.4	30.4	35.7	33.9	29.6	20.9	2.6	6.1	1.7	
	厚別区	73	6.8	60.3	79.5	56.2	24.7	19.2	41.1	17.8	6.8	4.1	4.1	4.1	
	豊平区	102	12.7	59.8	72.5	50.0	33.3	30.4	34.3	22.5	12.7	2.9	4.9	4.9	
	清田区	64	17.2	68.8	79.7	54.7	39.1	37.5	40.6	34.4	17.2	3.1	6.3	4.7	
	南区	77	10.4	53.2	80.5	49.4	24.7	24.7	36.4	28.6	10.4	3.9	5.2	3.9	
	西区	103	13.6	66.0	75.7	53.4	35.9	28.2	33.0	27.2	13.6	1.0	8.7	1.9	
	手稲区	77	18.2	66.2	85.7	53.2	40.3	27.3	49.4	32.5	16.9	-	2.6	1.3	
	無回答	12	8.3	50.0	58.3	33.3	8.3	25.0	25.0	16.7	8.3	-	-	41.7	

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い  
■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

### 3. 調査票

## 令和4年度 札幌市 事業の効果に関する市民意識調査 ～ アンケート調査へのご協力のお願い ～

日ごろから、札幌市政にご協力いただきまして誠にありがとうございます。

札幌市では、様々な事業を実施しておりますが、より良い事業推進のためには、その取組の効果を的確に把握し、今後の改善や見直しにつなげていく必要があります。

効果の把握として、市民の皆様にお聞きしなければ把握できないものもあることから、このたび、アンケートにより市民の皆様にお伺いさせていただくものです。

突然のお願いで恐縮ではありますが、趣旨をご理解いただき、可能な限りご回答くださいますようお願いいたします（なお、ご事情により回答できない場合は、ご回答いただかなくて構いません）。

### ◆◆◆市民の皆様にご協力いただきたいこと◆◆◆

本調査票の設問について、**オンライン又は郵送のどちらかの方法**でご回答ください。

#### ● 今回のアンケートの対象者の選び方

市民の皆様の中から4,000人を、くじびきのような方法（無作為抽出）で選ばせていただきました。

#### ● 今回お送りしたもの

事業の効果に関する市民意識調査（この冊子）、返信用封筒

#### ● プライバシーの保護には十分配慮します

この調査は、皆様から無記名でご回答いただくものであり、その結果は統計的に処理し、「このようなご意見が何%」というように数値や表としてまとめますので、個人のお名前を公表することはございません。また、調査をお願いした方の名簿は、この調査以外には使用しません。

### ◆◆◆回答方法◆◆◆

オンライン 又は 郵送のうち、どちらか片方をお選びいただき、ご回答ください。

（オンラインと郵送の両方に回答することはできませんのでご了承ください。オンラインで回答する場合は、回答終了後、この調査票は破棄していただいて構いません。）

#### オンラインで回答する。

お使いのスマートフォンにて、右のコードを読み取り、

画面に表示される回答フォームから、

令和5年3月3日（金）までに回答を送信してください。

※通信料は自己負担となります。



#### 郵送で回答する。

本調査票にご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れて返信してください。

ご使用いただく筆記用具は、どのようなものでもかまいません。

ご回答にあたっては、あてはまるところ（番号）に○印をつけるか、あるいは具体的な内容をご記入ください。

記入された調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに令和5年3月3日（金）までに郵便ポストへ投函してください。

本調査についてご不明な点などがございましたら

札幌市総務局改革推進室推進課 担当：横山・中館 まで TEL：011-211-2061 FAX：011-218-5194

令和4年度 札幌市  
事業の効果に関する市民意識調査 調査票

問1 あなたは、生活や健康福祉に関して困っていることや相談したいことについてどこに相談していますか。または、どこに相談しようと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 市の窓口（区役所や保健センターなど） | 2. 地域包括支援センター   |
| 3. 介護予防センター           | 4. 健康づくりセンター    |
| 5. 病院などの医療機関          | 6. ケアマネジャー      |
| 7. ホームヘルパー            | 8. 入居中の住宅の相談員など |
| 9. 民生委員               | 10. 福祉のまち推進センター |
| 11. 町内会               | 12. 家族          |
| 13. 親戚                | 14. 知人          |
| 15. 人権擁護委員            | 16. 老人福祉センター    |
| 17. その他（具体的に _____ ）  |                 |
| 18. わからない             | 19. 特にない        |

問2 あなたは、毎日食べている食品の安全性に関心を持ち、注意を払っていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- |                       |  |
|-----------------------|--|
| 1. 特に関心があり、よく注意を払っている |  |
| 2. 関心があり、ある程度注意を払っている |  |
| 3. 関心はあるが、注意を払っていない   |  |
| 4. 関心がない              |  |

問3 あなたは、孤立死<sup>※</sup>について心配がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※孤立死とは、周囲との交流が無く、自宅等で誰にも看取られずに一人で亡くなり、亡くなった後何日間か経過した状態で発見されることです。

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 心配である     | 2. 少し心配である    |
| 3. どちらともいえない | 4. あまり心配していない |
| 5. 心配していない   | 6. わからない      |

問4 障がいのある方にとっての地域での暮らしやすさについてお聞きします。各項目についてお答えください。

- |   |                 |                     |                |          |
|---|-----------------|---------------------|----------------|----------|
| (1) あなた、またはあなたの同居のご家族で障がいのある方はいますか。あてはまるもの <u>すべて</u> に○をつけてください（ここでいう「障がいのある方」とは、障害者手帳の有無に関わりません）。 |                 |                     |                |          |
| 1. 本人   | 2. 配偶者          | 3. 子（19歳以上）または子の配偶者 | 4. 子のうち18歳以下の子 |          |
| 5. 親または配偶者の親  | 6. その他（祖父母・孫など） | 7. いない              |                |          |
| (2) あなたは、札幌市が、障がいのある方にとって地域で暮らしやすいまちであると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。                                  |                 |                     |                |          |
| 1. そう思う   | 2. まあそう思う       | 3. あまりそう思わない        | 4. 全くそう思わない    | 5. わからない |

問5 あなたは、現在の消防・救急体制についてどのように感じますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

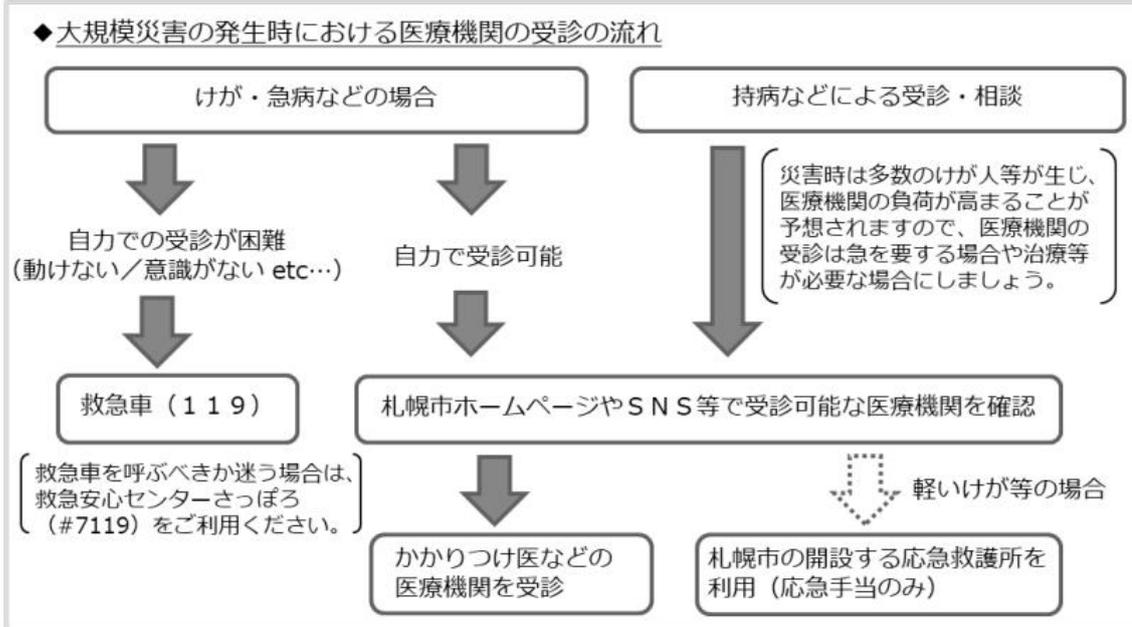
- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1. 安心できる            | 2. どちらかというときと安心できる |
| 3. どちらかというときと安心できない | 4. 安心できない          |
|                     | 5. わからない           |

問6 災害の際の医療機関受診についてお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) あなたは、災害発生時にけが等をした場合、どのように医療機関等にかかれればよいか知っていましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 知っていた    2. 少し知っていた    3. 知らなかった

※札幌市内で大規模な災害等が発生した場合、医療機関においてもインフラ被害や従事者の被災等により診療を続けることが困難となる恐れがあります。このため、札幌市では、災害の発生時に、その時点で受診可能な医療機関を随時、ホームページ等で発信することとしています。また、災害の規模によって各区保健センター等に応急救護所を設置し、負傷者への応急手当等を行う場合があります。



(2) あなたは、「札幌市災害時基幹病院※」の役割について知っていましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 知っていた    2. 少し知っていた    3. 知らなかった

※「札幌市災害時基幹病院」とは、札幌市内で災害が発生したとき、重症の傷病者に対し緊急手術等の必要な医療を提供する病院として札幌市長が指定した病院です。現在、市内に16か所あります。

問7 あなたは、住んでいる地域の住環境に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- |               |             |              |
|---------------|-------------|--------------|
| 1. 満足している     | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり満足していない | 5. 満足していない  |              |

問8 あなたの住んでいる地域では、買い物・通院などの生活利便性の高い暮らしの場が形成されていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- |         |           |            |           |          |
|---------|-----------|------------|-----------|----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. あまり思わない | 4. 全く思わない | 5. わからない |
|---------|-----------|------------|-----------|----------|

問9 札幌市は、多様なライフスタイルを実現できる※市街地が形成されていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※「多様なライフスタイルを実現できる」とは、利便性の高い暮らしや、自然と調和したゆとりある暮らしなど、様々なニーズに応えることができるまちであることを指しています。

- |         |           |            |           |          |
|---------|-----------|------------|-----------|----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. あまり思わない | 4. 全く思わない | 5. わからない |
|---------|-----------|------------|-----------|----------|

問10 地域の拠点についてお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) あなたは、普段利用している地域交流拠点※がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

※地域交流拠点とは、交通結節点である主要な地下鉄・JR 駅の周辺で、都市基盤の整備状況や機能集積の現況・動向などから、地域の生活を支える拠点としての役割を担う地域のほか、区役所を中心に生活利便機能が集積するなどして区の拠点としての役割を担う地域のことで、具体的には下記の17か所を指します。

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 1. 麻生・新琴似 | 2. 北24条     |
| 3. 平岸     | 4. 澄川       |
| 5. 真駒内    | 6. 宮の沢      |
| 7. 琴似     | 8. 白石       |
| 9. 大谷地    | 10. 新さっぽろ   |
| 11. 栄町    | 12. 光星      |
| 13. 月寒    | 14. 福住      |
| 15. 清田    | 16. 手稲      |
| 17. 篠路    | 18. 利用していない |
| 19. わからない |             |



(2) (1)で「1.」から「17.」までのいずれかに○をつけた方のみにお聞きします。あなたは、普段利用している地域交流拠点が便利だと思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- |         |           |              |             |          |
|---------|-----------|--------------|-------------|----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. あまりそう思わない | 4. 全くそう思わない | 5. わからない |
|---------|-----------|--------------|-------------|----------|

(3) あなたは、下記の高次機能交流拠点※が、北海道・札幌の魅力と活力の向上に役立っていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※高次機能交流拠点とは、産業や観光、文化芸術、スポーツなど、国際的・広域的な広がりをもって利用され、北海道・札幌の魅力と活力の向上に資する高次な都市機能が集積する下記のエリアのことです。

① 観光・集客交流に資する拠点	
円山動物園周辺、藻岩山麓周辺、 モエレ沼公園・サッポロさとらんど周辺、 札幌ドーム周辺、定山溪	1. そう思う                      2. まあそう思う 3. あまり思わない            4. 全く思わない 5. わからない
② 上記以外の拠点	
北海道大学周辺、大谷地流通業務団地、 札幌テクノパーク、芸術の森周辺、苗穂、 東雁来、東札幌	1. そう思う                      2. まあそう思う 3. あまり思わない            4. 全く思わない 5. わからない

問 11 あなたは、公共交通による日常の移動に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- |               |             |              |
|---------------|-------------|--------------|
| 1. 満足している     | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり満足していない | 5. 満足していない  | 6. 利用しない     |

問 12 まちの景観※に関してお聞きします。各項目でそれぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。

※「景観」とは、生活の中で目に映る景色のことです。ここでは、「札幌の景観」と聞いてあなたがイメージする景色（都会の街並みや賑わいのある景色、閑静な住宅街の景色、山並みや自然に囲まれた場所の景色など）についてお答えください。

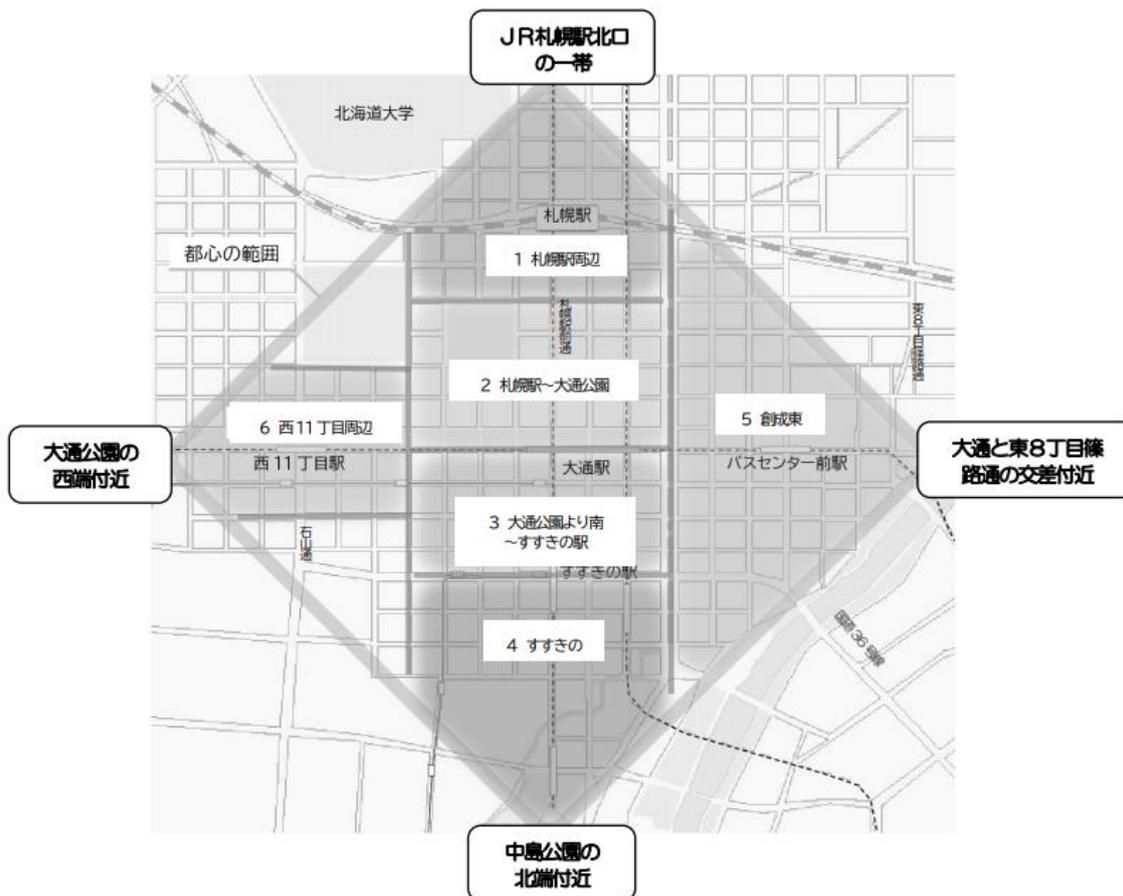
- |                               |           |             |           |          |
|-------------------------------|-----------|-------------|-----------|----------|
| (1) あなたは、札幌の景観をどう思いますか。       |           |             |           |          |
| 1. 魅力的だ                       | 2. やや魅力的だ | 3. やや魅力に欠ける | 4. 魅力に欠ける | 5. わからない |
| (2) あなたは、まちの景観をよりよくしたいと思いますか。 |           |             |           |          |
| 1. そう思う                       | 2. まあそう思う | 3. あまり思わない  | 4. 全く思わない | 5. わからない |
| (3) あなたは、札幌市内に好きな景観がありますか。    |           |             |           |          |
| 1. はい                         | 2. いいえ    | 3. わからない    |           |          |

問 13 札幌の都心についてお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) あなたが、札幌の都心※内でよく訪れるエリアはどこですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 札幌駅周辺
2. 札幌駅～大通公園
3. 大通公園より南～すすきの駅
4. すすきの
5. 創成東
6. 西 11 丁目周辺
7. その他 ( )
8. ほとんど都心へは行かない

※都心とは、JR 札幌駅北口の一帯、大通と東 8 丁目篠路通の交差付近、中島公園の北端付近、大通公園の西端付近を頂点として結ぶ、北海道・札幌の魅力と活力をけん引し、国際競争力を備えた高次な都市機能が集積するエリアのことです。(下図をご参照ください。)



(2) あなたは、札幌の都心が魅力的であると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う
2. まあそう思う
3. あまり思わない
4. 全く思わない
5. わからない

(3) あなたは、①札幌の都心の何が魅力的であると感じていますか。また、②今後、より魅力的になるためには何が必要だと思いますか。それぞれ回答欄にあてはまるものすべて、次ページにある回答枠内に番号でご記入ください。

1. まち歩きが楽しめる通りや場所が多いこと（買い物、飲食、休憩できるなど）
2. 気軽に休憩・滞在できる場所が充実し、利用しやすいこと
3. バリアフリーになっていること
4. 建物の更新（建替え）など、まちのリニューアルが進んでいること
5. 人が多く賑わっていること
6. みどりが豊かにあること
7. 木の温もりを感じる建物があること
8. 地下通路が充実していること
9. 都心内の移動がしやすいこと（公共交通や自転車等）
10. 駐車場が利用しやすいこと
11. 行ってみたいくなるような物販店があること
12. 行ってみたいくなるような飲食店があること
13. 行ってみたいくなるようなイベント（ビアガーデン、雪まつりなど）が開催されていること
14. 企業や働く場所が充実していること
15. 個性や魅力を感じられる場所や建物があること
16. 個性や魅力を感じられる街並みがあること（札幌駅前通、大通など）
17. 文化・芸術を感じられる場所や建物があること（札幌文化芸術劇場 hitaru など）
18. 家族連れで過ごしやすいこと
19. 観光スポットがあること
20. その他
21. 特にない
22. わからない

①魅力的であると感じるもの	<p>番号をご記入ください。※いくつでも</p> <p>[ ]</p> <p>「20. その他」を選択の場合は、魅力的であると感じるものを具体的にご記入ください。</p> <p>[ ]</p>
②より魅力的になるために必要だと思うもの	<p>番号をご記入ください。※いくつでも</p> <p>[ ]</p> <p>「20. その他」を選択の場合は、より必要だと思うものを具体的にご記入ください。</p> <p>[ ]</p>

問 14 市内のみどりについてお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) あなたは、札幌市内の公園や森林等のみどりのある場所で「訪れたい」「お気に入り」「よく利用する」場所がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 訪れたい場所がある
2. お気に入りの場所がある
3. よく利用する場所がある
4. そういった場所はない

(2) (1)で「1. 訪れたい場所がある」「2. お気に入りの場所がある」「3. よく利用する場所がある」と答えた方のみにお聞きします。具体的な場所としてあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 公園
2. 森林（登山道や散策路）
3. 河川
4. 農地（市民農園）
5. 街路樹
6. 花壇
7. 庭（庭園）
8. 商業施設などの民間で設置されたみどり
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問 15 あなたは、「生物多様性<sup>※</sup>」という言葉の意味を知っていましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※「生物多様性」とは、多種多様な生き物が存在し、それらが食べたり食べられたり、競争したり、助け合ったりして互いにつながりを持っていることを表す言葉です。この生き物たちのつながりにより、地球上では豊かな生態系が保たれています。

1. 意味を知っていた
2. 言葉は知っていたが、意味までは知らなかった
3. 知らなかった

問 16 環境配慮活動についてお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) 次の再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器などのうち、あなたが導入しているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 次世代自動車<sup>※1</sup>
2. 消費電力量見える化機器、HEMS<sup>※2</sup>
3. 太陽光発電
4. 太陽熱利用
5. ペレットストーブ、薪ストーブ
6. エネファーム・コレモ（コージェネレーション<sup>※3</sup>）
7. 地中熱ヒートポンプ
8. エコフィール（灯油式高効率給湯・暖房機）
9. エコジョーズ  
（ガス式高効率給湯・暖房機）
10. エコキュート・ヒートポンプ温水暖房  
（電気式高効率給湯・暖房機）
11. 導入しているものはない

※1次世代自動車：具体的には、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、電気自動車、燃料電池自動車、クリーンディーゼル自動車、天然ガス自動車など。

※2HEMS：Home Energy Management Systemの略。家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム。

※3コージェネレーション：燃料電池やガスエンジンによって、電気と給湯・暖房用の熱を生み出すシステム。

(2) 次のエコライフの取組のうち、あなたが常々実践しているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。なお、車を所有していないなど、車を運転する機会がない方は、「22」に○をつけてください。

1. 使用していない部屋の灯りをこまめに消す
2. テレビの明るさ設定を変えたり（明るくしすぎない）、見る時間を短くしたりする
3. 冷蔵庫の温度設定を変えたり（冷たくしすぎない）、ドアの開け閉めを短くしたりする
4. 家電製品（照明を含む）の買い替え時には、省エネに配慮した製品を選ぶ（または既に選んだ）
5. 衣服などにより温度調節し、冷房もしくは暖房を使いすぎない
6. 夏は外気を入れて室温を下げたり、冬はカーテンを閉めて熱が逃げないようにする
7. 温水洗浄便座の保温を切るか、保温機能を使う場合は温度を低めに設定する（または温水洗浄便座は使っていない）
8. 電気ポットや炊飯ジャーの保温時間を短くする
9. 積極的に公共交通機関を利用したり、短い距離は自転車や徒歩で移動したりする
10. 駐停車中はなるべくアイドリングストップをする（またはアイドリングストップ機能がある）
11. 車の発進時はおだやかなアクセル操作でゆっくりと加速する
12. 車の走行時は速度変化の少ない運転をする（無駄にアクセルやブレーキを踏まない）
13. 車の減速時はエンジンプレーキを使用する
14. カーエアコンの使用を控えめにする
15. 食器は余分な汚れをふき取ってから洗う
16. 洗濯は、まとめ洗いをする
17. 風呂の残り湯を洗濯などに利用する
18. 入浴時にはシャワーを出しっぱなしにせず、こまめに止める
19. 買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない
20. 食材は無駄なく買って使い切る
21. 実践しているエコライフの取組はない
22. 車を運転する機会がない

問17 生ごみ減量・リサイクルの取組として、次の中にあなたのご家庭で行っているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 水を切ってから生ごみを捨てている
2. 使い切れる量だけの食材を購入するよう気をつけている
3. 食材の使い忘れ、作り置きした料理の食べ忘れに気をつけている
4. 食べ残しをしないよう気をつけている
5. ダンボール箱やコンポスター容器などによる堆肥化を行っている
6. 電動生ごみ処理機を使用している
7. その他の生ごみ減量・リサイクルの取組を行っている  
(具体的に： )
8. 特に何もしていない

問 18 あなたは、日常の中で同居家族以外に、下記の人と交流※する機会がありますか。(1)(2)それぞれ、あてはまるもの一つずつに○をつけてください。

※学校、職場等における交流を含みます。また、ここではあいさつ程度も交流を含みます。

(1) 自分の世代とは異なる、 他世代の人	1. よくある	2. たまにある	3. あまりない	4. 全くない
(2) 外国人	1. よくある	2. たまにある	3. あまりない	4. 全くない

問 19 札幌市においても国際社会との関係が深まる中、あなたは、姉妹・友好都市※1をはじめとした海外諸都市との往来や外国人との交流※2等を通して、異文化を理解し、世界の都市と友好を深めていくことに関心がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※1札幌市の「姉妹・友好都市」は、ポートランド（アメリカ）、ミュンヘン（ドイツ）、瀋陽（中国）、ノボシビルスク（ロシア）、大田（韓国）の5都市です。

※2「海外諸都市との往来や外国人との交流」とは、スポーツ、文化芸術、教育、観光、経済など様々な分野における交流を指します。

1. 関心がある	2. どちらかといえば関心がある	3. あまり関心がない	4. 関心がない
----------	------------------	-------------	----------

問 20 あなたは、現在の札幌市が、子どもにとって、自然・社会・文化などの体験をしやすい環境であると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う	2. まあそう思う	3. あまりそう思わない	4. 全くそう思わない	5. わからない
---------	-----------	--------------	-------------	----------

問 21 「子どもの権利※」についてお聞きします。各項目についてお答えください。

※「子どもの権利」とは、子どもがのびのびと過ごし、健やかに成長・発達していくために大切にされなければならない子どもにとっての基本的な権利であり、札幌市では「安心して生きる権利」「自分らしく生きる権利」「豊かに育つ権利」「参加する権利」の4つとしています。

(1) あなたは、「子どもの権利」について知っていましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。				
1. 「子どもの権利」という言葉を聞いたことがあり、内容も知っている				
2. 「子どもの権利」という言葉を聞いたことがあり、内容も少しだけ知っている				
3. 「子どもの権利」という言葉を聞いたことはあるが、内容までは知らなかった				
4. 「子どもの権利」という言葉を知らなかった				
(2) あなたは、今の札幌市では、「子どもの権利」が大切にされていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。				
1. そう思う	2. まあそう思う	3. あまりそう思わない	4. 全くそう思わない	5. わからない

問22 あなたは、札幌市の子ども・子育て支援施策について、どの程度充実していると思いますか。各項目についてあてはまるもの一つに○をつけてください。

子ども・子育て支援施策	← 充実している ← どちらでもない → 充実していない →				
	5	4	3	2	1
子育てしやすい環境について					
①子連れでも出かけやすく楽しめる場の確保	5	4	3	2	1
②放課後の子どもの生活の場など居場所づくり	5	4	3	2	1
③子育てしやすい環境に向けた企業に対する改善の働きかけ	5	4	3	2	1
子ども支援・子育て支援サービスについて					
④待機児童対策や子育て支援サービスの提供	5	4	3	2	1
⑤いじめや虐待から子どもを守る取組	5	4	3	2	1
経済的支援について					
⑥幼児教育・保育、医療費など子育て支援にかかる費用の軽減	5	4	3	2	1

問23 あなたは、札幌市が、子どもを生み育てやすい環境にあると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問24 以下のうち、まちなかで子ども連れを見かけたときに、あなたが実践しているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 子どもが泣いていても嫌な顔をしない
2. 出入口やエレベーターの扉を開けてあげる
3. 地下鉄やバスなどでは親子や妊婦に席をゆずる
4. 公園や道路にゴミを捨てない
5. 自転車の乗り方のマナーなど、交通ルールを守る
6. マンションや駅の階段などでベビーカーや荷物を運んであげる
7. 危険な行動をしている子どもを見かけた時は声をかける
8. 親子にあいさつをする
9. 困っている様子の親子や妊婦には「どうしましたか?」「手伝いましょうか?」と声をかける
10. 子どもや妊婦の近くでたばこを吸わない(※未成年の方は、将来実践できそうか)
11. その他(具体的に: )
12. 実践しているものはない



問28 あなたは、今の仕事にやりがいと充実感を感じていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. 感じている          | 2. どちらかというと感じている |
| 3. どちらかというと感じていない | 4. 感じていない        |
| 5. わからない          | 6. 今は仕事をしていない    |

問29 スポーツに関してお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) あなたは、この1年間に運動・スポーツを行いましたか。行った場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。

※運動・スポーツには、健康づくりを意識して日常生活で行う軽い運動（徒歩通勤、自転車通勤、階段の積極的な利用など）も含まれます。運動・スポーツを行わなかった場合は、「39.」または「40.」のいずれかに○をつけてください。

※障がいに応じた用具やルールの修正などがある競技は、もとの競技に含まれます。

例：車いすマラソン → 2. ランニング（ジョギング、マラソン）

ブラインドサッカー → 25. サッカー、フットサル

- |  |                                      |
|--|--------------------------------------|
| 1. ウォーキング、散歩<br>(健康づくりを意識した階段の上り下りなどを含む) | 2. ランニング（ジョギング、マラソン）                 |
| 3. 自転車、サイクリング                            | 4. トレーニング（自宅で行う筋トレ、ストレッチなどの運動を含む）    |
| 5. 体操（ラジオ体操、エアロビクス、ヨガ、器械体操などを含む）         | 6. なわとび                              |
| 7. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、民謡踊りなどを含む）           | 8. 登山、ハイキング（オリエンテーリングなどを含む）          |
| 9. フリークライミング、ボルダリング                      | 10. 陸上競技                             |
| 11. スキー                                  | 12. スノーボード                           |
| 13. スケート                                 | 14. カーリング                            |
| 15. アイスホッケー                              | 16. その他のウィンタースポーツ<br>(具体的に： )        |
| 17. キャンプ、海水浴                             | 18. 釣り                               |
| 19. マリンスポーツ（ボート、スキューバダイビングなどを含む）         | 20. 水泳（水中ウォーキング、アクアエクササイズを含む）        |
| 21. 卓球                                   | 22. バドミントン                           |
| 23. テニス、ソフトテニス                           | 24. 野球（キャッチボールなどを含む）                 |
| 25. サッカー、フットサル                           | 26. バレーボール（ソフトバレーボールなどを含む）           |
| 27. バasketボール                            | 28. ソフトボール                           |
| 29. ドッジボール                               | 30. ラグビー、タグラグビー                      |
| 31. ボウリング                                | 32. パークゴルフ（グラウンドゴルフなどを含む）            |
| 33. 弓道、アーチェリー、射撃                         | 34. ゲートボール                           |
| 35. ゴルフ（練習場、シミュレーションゴルフなどを含む）            | 36. ローラースポーツ（スケートボード、インラインスケートなどを含む） |
| 37. 武道・格闘技（柔道、剣道、空手など）                   | 38. その他<br>(具体的に： )                  |
| 39. スポーツを行えなかった                          | 40. スポーツをする気がなかった                    |

(2) (1)で「1.」から「38.」までのいずれかに○をつけた方のみにお聞きします。あなたが、(1)で答えた運動・スポーツを行った日数を全部合わせると、1年間で何日くらいになりますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- |                           |                          |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 週に5日以上 (年 251 日以上)     | 2. 週に3日以上 (年 151～250 日)  |
| 3. 週に2日以上 (年 101 日～150 日) | 4. 週に1日以上 (年 51 日～100 日) |
| 5. 月に1～3日 (年 12 日～50 日)   | 6. 3ヶ月に1～2日 (年 4 日～11 日) |
| 7. 年に1～3日                 |                          |

(3) (1)で「1.」から「38.」までのいずれかに○をつけた方のみにお聞きします。あなたが(2)で答えた運動・スポーツを行った日数のうち、「汗をかく運動・スポーツを30分以上実施した日数」は1年間で何日くらいになりますか。

- |                           |                          |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 週に5日以上 (年 251 日以上)     | 2. 週に3日以上 (年 151～250 日)  |
| 3. 週に2日以上 (年 101 日～150 日) | 4. 週に1日以上 (年 51 日～100 日) |
| 5. 月に1～3日 (年 12 日～50 日)   | 6. 3ヶ月に1～2日 (年 4 日～11 日) |
| 7. 年に1～3日                 | 8. 実施していない               |

問30 あなたは、この1年間に(テレビなどではなく)直接スポーツを観戦しましたか。観戦したスポーツについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。なお、直接スポーツを観戦しなかった場合は「16」に○をつけてください。

- |                                  |                               |               |
|----------------------------------|-------------------------------|---------------|
| 1. プロ野球                          | 2. プロサッカー                     | 3. プロバスケットボール |
| 4. フットサル (Fリーグ)                  | 5. マラソン                       | 6. ゴルフ        |
| 7. 相撲                            | 8. 格闘技                        | 9. ラグビー       |
| 10. ウィンタースポーツ                    | 11. その他のプロスポーツ (具体的に: _____ ) |               |
| 12. アマチュアの野球 (児童、生徒、学生を含む)       | 13. アマチュアのサッカー (児童、生徒、学生を含む)  |               |
| 14. アマチュアのバスケットボール (児童、生徒、学生を含む) |                               |               |
| 15. その他のアマチュアスポーツ (具体的に: _____ ) |                               |               |
| 16. 直接には何も観戦しなかった                |                               |               |

問 31 文化芸術についてお聞きします。各項目にお答えください。

(1) あなたは、札幌市が、誰もが文化芸術に親しむことができる環境であると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. とてもそう思う 2. まあそう思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない 5. わからない

(2) あなたは、住んでいる地域での文化的な環境※に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※文化的な環境とは、文化芸術を鑑賞したり、習い事など文化芸術活動に参加したりする機会のほか、まちの文化財の保存・整備など、住んでいる地域の文化的な環境のことです。

1. 満足している 2. まあ満足している  
3. あまり満足していない 4. 満足していない 5. わからない

問 32 あなたは、ご自身が「社会や他人の役に立っている」、「社会や他人から必要とされている」など、社会の一員として役割を担っていると感じることがありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- |               |                |                |
|---------------|----------------|----------------|
| 1. 日頃から感じている  | 2. たまに感じることもある | 3. あまり感じることはない |
| 4. 全く感じることはない | 5. わからない       |                |

問 33 次にあげるまちづくり活動\*のうち、あなたが継続的に行っていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

※まちづくり活動とは、町内会や老人クラブ、PTA、商店街、ボランティア団体、NPO等の市民まちづくり団体が行う活動に参加するなど、快適な生活空間の確保、地域社会における安全及び安心の推進など、暮らしやすいまちを実現するための活動全般を指します。

- |  |
|--|
| 1. ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守  |
| 2. 近隣のごみ拾い・清掃  |
| 3. 地域交流行事（お祭りや運動会、盆踊り、地域サロン）への参加                               |
| 4. 雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき   |
| 5. 自宅周辺道路の除雪や、福祉除雪などによる地域住民間の除雪支援                              |
| 6. 寄附や募金   |
| 7. 通学路などでの安全確認・交通安全啓発運動への参加                                    |
| 8. 街路樹樹への花植えなど地域の緑化活動への参加                                      |
| 9. 高齢者や障がい者などへの声かけ、安否確認  |
| 10. 健康づくり活動への参加、病気を抱える人・高齢者・障がい者・要介護者への支援など、保健、医療、福祉の増進に関する取組  |
| 11. リユースやリサイクル、食品ロスの削減など、環境の保全に関する取組                           |
| 12. 子どもの見守り、声かけ、子育てサロンへの参加など、子どもの健全育成に関する取組                    |
| 13. 音楽や演芸等による地域や福祉施設での公演・発表会、伝統文化の保存、継承                        |
| 14. 防災訓練への参加   |
| 15. 上記以外で、町内会や老人クラブ、PTA、商店街、ボランティア団体、NPO等、市民まちづくり活動団体が行う活動への参加 |
| 16. その他（具体的に： _____ )  |
| 17. 参加・活動していることはない   |

札幌市では、市の政策や条例などを作る過程において、市民の皆さまに参加していただく「市民参加」の機会を設けています。

※（参考）札幌市が設けている市民参加の機会

説明会・意見交換会	皆様に集まっていただき、市民と市が直接向き合って、説明や意見交換を行うもの
パブリックコメント	市が作成した施策に関する素案をホームページや冊子などで公表し、皆様から意見をいただくもの
シンポジウム・フォーラム	大勢の出席者が参加して行う公開での討論を行うもの
ワークショップ	皆様に集まっていただき少人数のグループで話し合い、意見や提案をまとめるもの
審議会	学識経験者や地域住民、公募市民などから構成される委員が、議論や検討を行うもの

問 34 あなたの市政への関心や参加について、もっともあてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 関心があり、ある程度の時間や労力をかけても積極的に参加したい
2. 関心があり、負担が少なく手軽に参加できるものであれば参加したい
3. 関心はあるが、参加したいとは思わない
4. 関心はないが、魅力的と思える条件や参加の依頼・誘い等、きっかけがあれば参加を考えても良い
5. 関心がなく、参加したいとも思わない
6. わからない

問 35 市政への参加の機会についてお聞きします。各項目にお答えください。

(1)～(5) 札幌市が設けている市民参加の機会※について、それぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。※市民参加の機会についてはページ上部の表をご覧ください。

(1) あなたは、説明会・意見交換会に参加したことがありますか。

1. 参加したことがある    2. 知っているが参加したことはない    3. 知らない

(2) あなたは、パブリックコメントに意見を提出したことがありますか。

1. 意見を提出したことがある    2. 知っているが意見を提出したことはない    3. 知らない

(3) あなたは、シンポジウム・フォーラムに参加したことがありますか。

1. 参加したことがある    2. 知っているが参加したことはない    3. 知らない

(4) あなたは、ワークショップに参加したことがありますか。

1. 参加したことがある    2. 知っているが参加したことはない    3. 知らない

(5) あなたは、審議会などにおける市民委員の公募に応募したことがありますか。

1. 応募したことがある    2. 知っているが応募したことはない    3. 知らない

問 36 あなたは、今後、より多くの市民が市政に参加しやすくなるためには、どのようなことが必要であると思いますか。もっともあてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 参加に不慣れな人や進んで発言することが苦手な人でも意見を出しやすい環境であること
2. 参加をより身近に感じられるよう、参加の仕組みや方法、事例などについて具体的な情報提供をすること
3. 参加の機会に関する情報（開催情報など）がより分かりやすく、入手しやすくなること
4. 意見が反映された事例や反映されなかった理由が示されるなど、市民の意見が大切に扱われていると実感できること
5. わからない
6. 特に必要なことはない

問37 札幌の水道についてお聞きします。各項目にお答えください。また、「3. やや不満」「4. 不満」に○をつけた方は具体的な理由もお答えください。

(1) あなたは、水道局が施設・水道管の適切な更新などを実施し、水道水を安定してお届けしていることについて、どのくらい満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 満足      2. やや満足      3. やや不満      4. 不満      5. どちらともいえない

▼  
[具体的な理由： \_\_\_\_\_ ]

(2) あなたは、水道局が水源の保全や水質監視・管理などに取り組み、安全で良質な水道水をお届けしていることについて、どのくらい満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 満足      2. やや満足      3. やや不満      4. 不満      5. どちらともいえない

▼  
[具体的な理由： \_\_\_\_\_ ]

(3) あなたは、水道局電話受付センターでの対応や、水道事業についての広報活動など、水道局が行っているお客さまサービスについて、どのくらい満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 満足      2. やや満足      3. やや不満      4. 不満      5. どちらともいえない

▼  
[具体的な理由： \_\_\_\_\_ ]

(4) あなたが、札幌の水道に関して、今後、一層力を入れるべきだと思う取組は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 水道事業への満足度・信頼性を高めるための、お客さま対応の向上
2. これからも安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化
3. 水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新や、点検・修理などの適切な維持管理
4. 災害などによる被害を最小限にとどめるための、施設の耐震化や応急給水・復旧体制の整備
5. 水道事業への理解を深めていただくために、施設・水道管の更新、耐震化や水道水の水質などについて、市民にお知らせすること
6. 健全経営を続けるための、コスト削減や一層の効率化
7. 将来の水道事業を支えていくための、人材育成や若い世代への技術の継承
8. 環境に優しい水道事業を進めるための、再生可能エネルギーの積極的な活用や、エネルギーの効率的な利用
9. 市民の利便性の向上や業務効率化を進めるための、デジタル化の推進や新技術の導入
10. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
11. 特にない

最後にあなたご自身のことについてお聞きします。あてはまるものに○をつけてください。

**F 1 あなたの性別は**

1. 男性            2. 女性            3. その他

**F 2 あなたの年齢は（令和4年2月1日現在）**

1. 18～19歳            2. 20～29歳            3. 30～39歳            4. 40～49歳  
5. 50～59歳            6. 60～64歳            7. 65～69歳            8. 70歳以上

**F 3 あなたは現在何区にお住まいですか。**

1. 中央区            2. 北区            3. 東区            4. 白石区            5. 厚別区  
6. 豊平区            7. 清田区            8. 南区            9. 西区            10. 手稲区

**F 4 18歳以下の家族と同居していますか（あなた本人は含みません）。**

1. はい            2. いいえ

ご協力ありがとうございました。郵送で回答する場合は、同封の封筒に入れて、3月3日(金)までに投函してください。

オンラインで回答する場合は、3月3日(金)までに本調査票の1ページ目に掲載されている二次元コードから回答してください。

